

土器観察表

○法量の欄にカッコのあるものは、図上復元による推定値である。

○焼成、保存の欄は、不良、やや不良、普通、やや良好、良好の五段階で示してある。

○その他の欄に弥生土器、土師器と注記のあるもの以外は、すべて須恵器である。

○その他の欄に註とあるものは、欄末に別記してある。

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
A-2号 横穴墓	1	杯身	9.5			4.5	○立ち上がりは内湾ぎみで、 端部にやや面をもつ。 ○受部は外上方向で短い。 ○全体に厚手で器高は深い。	○底部外面へらおこし後 へらケズリ。 ○底部内面は不整方向の ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○(外) 淡緑灰色 ○(内) 淡 灰 色	良好	○へら記号 ○A-10
	2	杯身	10.7			4.3	○立ち上がりは内傾し、端部 にやや面をもつ。 ○受部は長く水平方向へのび る。	○外面へらおこし後、体 部中位以下へらケズリ。 ○内面体部中位以下不整 方向のナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○淡緑灰色 ～灰色	やや 良好	○杯蓋14と セットか ○A-19
	3	杯身	10.4			4.6	○立ち上がりは内傾し、端部 にやや面をもつ。 ○受部は外上方向。 ○全体に厚手で器高は深い。	○外面へらおこし後、体 部中位以下へらケズリ。 ○底部内面は不整方向の ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒多く含む。	○(外) 明青灰色 ○(内) 淡青灰色	やや 良好	○杯蓋18と セットか ○へら記号 ○A-32
	4	杯身	10.4			4.6	○立ち上がりは内傾し、端部 はとがる。 ○受部は外上方向で短い。 ○受部以下は厚手で深い。	○底部外面へらケズリ後 横ナデ。 ○底部内面は不整方向の ナデ。	○石英、長石 の砂粒など 著しく多く 含む。	○灰色	良好	○A-26
	5	杯身	11.2			4.3	○立ち上がりは内湾ぎみで、 端部は丸くおさめる。 ○受部は外上方向で短い。 ○全体に厚手。	○外面体部中位以下へら ケズリ。 ○底部内面は不整方向の ナデ。	○長石砂粒、 石英、角閃 石微砂粒な ど含む。	○(外) 暗灰色 ○(内) 青灰色	良好	○A-27
	6	杯身	10.3			4.6	○立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 ○受部はやや外上方向。 ○全体に厚手で器高は深い。	○外面底部へらケズリ。 ○内面体部中位以下不整 方向のナデ。	○長石、石英、 角閃石など 微砂粒少し 含む。	○(外)黄灰 色～濃青 灰色(内) 紫灰色	やや 不良	○A-28
	7	杯身	11.5			4.4	○立ち上がりはやや内湾し、 端部を丸くおさめる。 ○受部は水平ないやや外上 方へのびる。薄手。 ○体部中位以下は厚手。	○外面体部中位以下へら ケズリ。 ○底部内面は不整方向の ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒著しく多 い。	○灰色～暗 灰色	良好	○外面一部 自然釉が かかる。 ○A-29
	8	杯身	10.2			3.9	○立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 ○受部は外上方向。 ○体部以下は厚手。	○外面底部へらケズリ。 ○内面体部中位以下に不 整方向のナデ。	○長石、石英、 角閃石など 微砂粒少し 含む。	○暗青灰色	良好	○A-20
	9	杯身	10.4			3.8	○立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 ○受部はやや外上方向。	○外面体部下位以下へら ケズリ。底部中央付近 はへら切り後未調整。 ○底部内面は不整方向の ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○青灰色	良好	○A-22
	10	杯身	(11.1)				○立ち上がりは内傾し、端部 を丸くおさめる。 ○受部は外上方へのびる。		○長石、石英、 角閃石など 微砂粒含む	○淡緑灰色	良好	○A-36

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
	11	杯身	11.3			3.7	◦立ち上がりはやや内湾し、 端部を丸くおさめる。 ◦受部はやや外上方向。 ◦全体に厚手。	◦外面体部下位以下をヘ ラケズリ。 ◦底部内面は不整方向の ナデ。	◦長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒多く含む。	◦青灰色	◦良好	◦ヘラ記号 ◦外面一部 に自然釉 かかる。 ◦A-25
	12	杯身	10.8			3.4	◦立ち上がりはやや内湾し、 端部を丸くおさめる。 ◦受部はやや外上方向へのびる。 ◦全体に厚手。	◦外面体部下位以下をヘ ラケズリ。 ◦底部内面は不整方向の ナデ。	◦長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒を含む。	◦(外)青灰 色～淡緑 灰色 ◦(内)淡緑 灰色	◦普通	◦A-30
	13	杯身	(12.5)			3.7	◦立ち上がりはやや内湾し、 端部は外上方向にとがる。 ◦受部は外上方向へ短い。 ◦体部より上は厚手。	◦外面底部をヘラケズリ。 ◦内面底部は不整方向の ナデ。	◦長石、石英、 角閃石など 微砂粒含む。	◦青灰色～ 灰色	◦良好	◦外面一部 に自然釉 かかる。 ◦A-36
	14	杯蓋	12.3			4.8	◦天井部と口縁部の境に2条 の凹線。 ◦天井部丸く、器高は深い。	◦天井部上半をヘラケズ リ。 ◦天井頂部内面は不整方 向のナデ。	◦長石、石英 の砂粒多く 含む。	◦淡緑灰色 ～黄灰色	◦普通	◦A-3
	15	杯蓋	(13.4)			(4.5)	◦天井部と口縁部の境に2条 の浅い凹線。 ◦天井部丸く、器高は深い。	◦天井部上半をヘラケズ リ後ナデ。 ◦天井頂部内面は不整方 向のナデ。	◦長石、石英、 角閃石など 微砂粒含む。	◦明青灰色 ～暗灰色	◦良好	◦A-13
	16	杯蓋	11.4			3.7	◦天井部と口縁部の境に凹線 を1条。	◦天井部上半をヘラおこ し後ヘラケズリ。 ◦天井頂部付近はヘラお こしのまま。 ◦天井頂部内面は不整方 向のナデ。	◦長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	◦明青灰色	◦良好	◦A-1
	17	杯蓋	12.4			3.9	◦天井部と口縁部の境に凹線 を1条。	◦天井部上半ヘラケズリ。 ◦天井頂部内面は不整方 向のナデ。	◦長石、石英 など砂粒、 微砂粒含む。	◦青灰色～ 淡緑灰色	◦やや 良好	◦A-4
	18	杯蓋	12.4			4.2	◦天井部と口縁部の境に鈍い 稜。その直上に凹線を1条。 ◦天井部の器壁厚手。	◦天井部ヘラケズリ。 ◦内面天井部は不整方向 のナデ。	◦長石の砂粒 顕著。	◦暗青灰色 ～青灰色	◦良好	◦A-5
	19	杯蓋	12.6			3.7	◦天井部と口縁部の境とその 直上に凹線を各1条。	◦天井部上半ヘラケズリ。 ◦内面頂部付近は不整方 向のナデ。	◦長石、石英 など微砂粒 少量含む。	◦(外)紫灰 色～灰色 ◦(内)暗灰 色	◦良好	◦A-12
	20	杯蓋	13.3			3.9	◦天井部と口縁部の境に鈍い 稜をもつ。 ◦天井部の器壁厚手。	◦天井部上半ヘラケズリ。 ◦天井頂部は内外面とも 不整方向のナデ。	◦長石の砂粒 顕著。	◦淡青灰色 外は口縁 部が灰色	◦良好	◦A-23
	21	杯蓋	12.6			4.2	◦天井部と口縁部の境に浅い 凹線を1条。 ◦全体に厚手。	◦天井部上半ヘラケズリ。 ◦内面頂部付近は不整方 向のナデ。	◦長石の砂粒 微砂粒顕著。	◦青灰色	◦良好	◦A-21
	22	杯蓋	12.9			3.6	◦天井部と口縁部の境とその 直下に凹線を各1条。 ◦全体に厚手。	◦天井部ヘラケズリ。 ◦口縁端部にハケメ。 ◦内面頂部に不整ナデ。	◦石英、角閃 石など微砂 粒少量含む。	◦暗青灰色 ～青灰色	◦良好	◦A-31
	23	甗	11.1	9.4	4.7	14.3	◦頸部中位にごく浅い凹線を	◦胴部下半をヘラケズリ。	◦長石、石英、	◦暗青灰色	◦良好	◦A-44

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
							1条、胴部上半に凹線2条、 口縁部下端に凹線1条。 ◦ハケ状工具で頸部上半に16 条の波状文、胴部凹線の間 に7条の刺突列点文。		角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。			
	24	高杯	14.3		10.6	10.3	◦三角形透かしを二方向。	◦内外面とも回転ナデ。 但し、杯部内面は不整 方向のナデ。	◦長石、石英 など砂粒少 量含む。	◦乳灰色	◦普通	◦A-35
	25	平瓶	9.8	25.3	5.3	21.3	◦肩部に一对の円形浮文を貼 りつける。 ◦肩部はほとんど偏平だが、 口縁部に向けてやや窪んで いる。	◦体部は平行タタキ（一 部残る）後、細いカキ メを巡らし、最後に軽 くナデ調整。	◦長石砂粒、 石英、角閃 石など微砂 粒少量含む。	◦黒灰色～ 青灰色	◦良好	◦口縁部内 外面～体 部上半に 自然釉。 ◦A-45
	26	甕	(42.5)	64.7		87.8	◦有段口縁。 ◦頸部に3条と1条の凹線を 巡らし、その直上及びその 間にハケ状工具による波状 文。	◦胴部外面は格子目タタ キ。 ◦胴部内面は青海波文タ タキ後、下半を横方向 のハケ目調整。	◦長石、石英、 角閃石、赤 色酸化粒な ど砂粒含む。	◦淡灰色～ 淡緑灰色	◦やや 不良	◦尻床 ◦A-36他
	27	甕	24.6	48.0		53.8	◦有段口縁から短い頸部。 ◦肩がはり底部はいびつな丸 底。	◦胴部外面は平行タタキ 後、あらいカキメ調整。 ◦胴部内面は青海波文タ タキ。	◦長石、石英、 角閃石など 砂粒含む。	◦青灰色～ 灰色	◦良好	◦口縁部～ 肩部に自 然釉。 ◦A-36他
B-1号 横穴墓	28	壺	6.6	8.5			◦底部を欠く。 ◦胴部下半は厚手。	◦内外面とも回転ナデ。	◦長石の砂粒 やや顕著。	◦灰色	◦良好	◦B-99
	29	高杯	14.4		10.5	10.2	◦三角形透かしを2方向。 ◦口縁部外面に凹線を2条。	◦内外面とも回転ナデだ が、杯部内面はその後 不整方向のナデ。	◦長石の砂粒、 微砂粒顕著。	◦青灰色～ 暗青灰色	◦良好	◦B-77
	30	高杯	14.2		9.4	10.1	◦三角形透かしを2方向。 ◦口縁部外面に凹線を2条。	◦内外面とも回転ナデだ が、杯部内面はその後 不整方向のナデ。	◦長石、石英 など砂粒、 微砂粒含む。	◦青灰色～ 暗灰色	◦良好	◦B-78
	31	高杯	9.1		7.2	12.0	◦二段三方向透かしだが、上 段は切りこみだけ。 ◦口縁部に2条と1条、杯部 に1条ずつ、脚部透かしの 間に2条の凹線。 ◦杯部凹線の上に5条のハケ 状工具で刺突列点文。	◦内外面とも回転ナデだ が、杯部内面はその後 不整方向のナデ。	◦長石、石英 など砂粒、 微砂粒やや 多く含む。	◦暗青灰色	◦良好	◦口縁部～ 杯部一部 に自然釉 かかる。 ◦B-97
	32	甕	9.9	10.0	4.2	12.7	◦頸部は太く短かく、下端に 凹線1条が巡る。 ◦口縁部下端にも凹線1条。 ◦櫛状工具で頸部上半に雑な 波状文、体部中央に5条単 位の刺突列点文。	◦体部下半以下を丁寧に ヘラケズリ。	◦長石、石英、 赤色酸化粒 など砂粒、 微砂粒含む。	◦青灰色	◦良好	◦B-98
	33	提瓶	8.8	16.7		23.0	◦両肩に把手一对。 ◦表面の方が裏面より丸みが あり、口縁部は裏面寄りに 立ちあがる。	◦体部は丁寧にヘラケズ リ後、表面のみナデ。 ◦口縁部は丁寧にナデ。	◦長石砂粒目 だつが全体 に砂粒、微 砂粒少なめ。	◦緑灰色	◦良好	◦体部上半 以上一部 に自然釉 ◦B-83

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
	34	提瓶	14.7	28.5		28.8	◦両肩に把手一對。 ◦短くあまり外反しない頸部から口縁帯を形成。 ◦体部最大径は下位にある。	◦体部外面は格子状タタキ後雑なカキメ調整。 ◦体部内面は円弧状タタキ。	◦長石、石英など微砂粒少量含む。	◦暗青灰色	◦良好	◦B-84
	35	横瓶		48.3				◦外面は格子状タタキ後雑にカキメ、内面は円弧状タタキ。	◦長石、石英、角閃石など微砂粒含む。	◦淡灰色～暗青灰色	◦良好	◦一部自然釉。 ◦B-100他
	36	甕		50.6			◦最大径は胴部中位にあり、底部はいびつな丸底。	◦口縁部内外面ともナデ。 ◦胴部外面は平行タタキの後ナデ、内面は青海波文タタキ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦暗灰色	◦良好	◦一部に自然釉。 ◦屍床 ◦B-49他
B-2号 横穴墓	37	杯身	12.0			4.6	◦立ち上がりはほぼ垂直、端部は丸くおさめる。 ◦受部は極端に短い。 ◦全体に厚手で器高は深い。	◦外面底部ヘラケズリだが、底部未調整。 ◦内面体部下半以下は不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石、火山ガラスなど含む。	◦暗灰色 ◦外面土壌による褐色化。	◦普通	◦外面自然釉がかかる。 ◦B-61
	38	杯身	11.8			4.7	◦立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。 ◦受部は極端に短い。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。	◦外面底部ヘラケズリ。 ◦内面体部下半以下は不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒多く含む	◦暗灰色 ◦外面土壌による褐色化。	◦良好	◦外面自然釉。 ◦B-62
	39	杯身	10.9			4.3	◦立ち上がりはほぼ直立し、端部は丸くおさめる。 ◦受部は水平方向に長い。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。	◦外面底部付近はヘラケズリだが、中心はヘラおこしのまま。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦淡緑灰色	◦やや不良	◦48とセット ◦B-28
	40	杯身	11.5			4.4	◦立ち上がりはやや内傾し、端部は丸くおさめる。 ◦受部は外上方へ直線的。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。 ◦全体に厚手。	◦外面底部ヘラケズリだが、中心付近はヘラおこしのまま。 ◦内面体部下半以下は不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石、火山ガラスなど砂粒、微砂粒含む。	◦(外)灰色 ◦(内)緑灰色	◦やや良好	◦54とセット ◦B-29
	41	杯身	11.7			3.9	◦立ち上がりは途中からほぼ直立し、端部は丸い。 ◦受部は外上方へ短い。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。	◦外面体部下半以上ヘラケズリ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦青灰色	◦良好	◦外面一部自然釉がかかる。 ◦B-32
	42	杯身	11.2			4.2	◦立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 ◦受部は外上方へ短い。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。	◦外面ヘラおこしのまま。 ◦内面体部下半以下は不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦灰色 ◦外面は土壌により褐色化。	◦やや良好	◦B-60
	43	杯身	10.6			4.5	◦立ち上がりは内湾、端部は丸く、受部は外上方向。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。 ◦全体に厚手で器高は深い。	◦外面体部下半以下ヘラケズリ。 ◦内面体部下半以下一部不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦暗青灰色 ◦一部土壌による褐色化。	◦良好	◦52とセット ◦B-67
	44	杯身	10.8			3.7	◦立ち上がりは内湾、端部は丸く、受部は外反気味。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。 ◦全体に厚手。	◦外面体部下半以下ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石、火山ガラスなど含む。	◦灰色	◦良好	◦外面一部に自然釉 ◦B-70
	45	杯身 (最大)				4.6 (最大)	◦平面形、立面形ともいびつ。 ◦立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は短い。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。	◦外面底部ヘラケズリだが、中心付近にヘラおこし痕残る。 ◦内面体部下半以下不整	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦(外)淡緑灰色～灰色 ◦(内)暗灰	◦良好	◦B-71

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
						◦全体に厚手。	方向のナデ。		色			
	46	杯身	10.7 (最大)			4.2 (最大)	◦立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部端部に面をもつ。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。 ◦特に体部以下厚手。	◦外面体部下半ヘラケズリだが、中心付近にヘラおこし痕残る。 ◦内面体部下半不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など微砂粒多く含む。	◦灰色～淡緑灰色。	◦良好	◦外面一部に自然釉 ◦50とセットか。 ◦B-72
	47	杯蓋	11.5			4.2	◦天井頂部は扁平、天井部と口縁部の境に稜をもつ。 ◦内面口縁部直上に凹線。 ◦全体に厚手。	◦外面天井部上半ヘラケズリ。 ◦内面天井頂部不整方向のナデ。	◦長石砂粒顕著。他、石英、角閃石の微砂粒。	◦青灰色 ◦外面は土壌により褐色化。	◦良好	◦外面一部に自然釉 ◦B-66
	48	杯蓋	12.9			4.8	◦天井部と口縁部の境に2条の凹線。 ◦内面口縁部中位に有段。 ◦天井部厚手で器高は深い。	◦天井部中位ヘラケズリ。 ◦天井頂部ヘラおこし後ナデ。 ◦内面天井頂部回転ナデ後、不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦淡緑灰色 ◦内面一部土壌により褐色化	◦やや不良	◦B-25
	49	杯蓋	12.1			4.2	◦天井頂部は扁平、天井部と口縁部の境に浅い凹線。 ◦内面口縁部中位に浅い凹線。 ◦全体に厚手。	◦天井部上半ヘラケズリ後ナデだが、頂部付近ヘラおこし痕残す。 ◦内面頂部不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦(外)淡緑灰色 ◦(内)灰色	◦普通	◦B-27
	50	杯蓋	12.0			4.2	◦天井頂部は扁平、天井部と口縁部の境に浅い凹線2条。 ◦全体にやや厚手。	◦天井部上半ヘラケズリで、頂部はさらにナデ。 ◦内面頂部不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など含む。	◦青灰色	◦良好	◦B-30
	51	杯蓋	13.2			4.6	◦天井部と口縁部の境に浅い凹線1条。 ◦内面口縁部下位にごく浅い凹線1条。 ◦特に天井部厚手で器高深い。	◦天井部上半ヘラケズリだが、頂部付近にヘラおこし痕残す。 ◦内面頂部不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦(外)暗青灰色 ◦(内)淡青灰色	◦良好	◦61か62とセット ◦外面一部に自然釉 ◦B-26
	52	杯蓋	12.8			4.4	◦天井部と口縁部の境に凹線。特に天井部厚手。	◦天井部上半ヘラケズリ後、ナデ。 ◦内面天井部上半はヨコナデ後、不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦青灰色 ◦一部、土壌により褐色化。	◦良好	◦B-65
	53	杯蓋	13.5			3.9	◦天井頂部は扁平、天井部と口縁部の境に沈線1条。	◦天井部上半ヘラケズリ。 ◦内面頂部不整方向ナデ。	◦長石、石英砂粒顕著。	◦濃青灰色 ◦～青灰色	◦良好	◦B-31
	54	杯蓋	12.6			4.2	◦天井頂部は扁平、天井部と口縁部の境に凹線1～2条。 ◦内面口縁部下位に有段。 ◦全体に厚手。	◦天井部ヘラケズリ。 ◦内面頂部回転ナデ後、不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒多く含む。	◦緑灰色	◦普通	◦ヘラ記号 ◦B-33
	55	壺	8.5	12.8	5.8	10.5	◦頸部から垂直に立ちあがり、口縁端部は丸くおさめる。 ◦胴部最大径は中位にあり、底部はほぼ平底。	◦胴部下半以下ヘラケズリ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒やや多い。	◦濃青灰色	◦良好	◦胴一部に自然釉。 ◦ヘラ記号 ◦B-35
	56	壺	6.2	9.1	6.5	8.0		◦底部ヘラケズリ。	◦55に同じ。	◦緑灰色	◦良好	◦B-20
	57	高杯	13.5			11.8 (最大)	◦口縁部中位に段をもち、その直上に1条、下に2条の凹線を巡らせる。 ◦脚部に三角形透かしを3方向、その直下に凹線を1条。	◦杯底部に不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦淡緑灰色	◦やや良好	◦B-24
	58	高杯	15.8			9.8	◦口縁端部はやや外反、口縁	◦杯底部に不整方向ナデ。	◦長石、石英	◦(外)灰色	◦良好	◦B-36

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
						(最大)	部中位に凹線1条。 ◦脚部に三角形透かしを2方向。		角閃石、火山ガラスなど含む。	◦(内)淡緑灰色		
	59	高杯	14.7		11.1	10.2 (最大)	◦口縁部中位に凹線1条。 ◦脚部に三角形透かしを2方向。	◦杯部内面に不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石、金雲母など。	◦淡緑灰色	◦良好	◦B-34
	60	甗	11.4	8.6	4.0	13.7	◦外湾する口縁下端に1条、頸部中位に2条、体部の肩と中位に各1条の凹線。 ◦体部凹線間に刺突列点文。 ◦頸部上半に波状文。	◦体部下半以下を丁寧なヘラケズリ。	◦長石、石英、角閃石など特に砂粒が多い。	◦青灰色	◦良好	◦B-69
	61	甗	10.6	8.3	3.2	12.7	◦外傾する口縁下部と頸部中位に各1条の凹線。 ◦頸部上半に波状文。 ◦体部上位に刺突列点文。	◦体部中位以下を丁寧なヘラケズリ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒多く含む。	◦濃緑灰色 ～緑灰色	◦やや良好	◦B-37
	62	提瓶	11.1	17.5		21.8	◦外反する頸部と口縁帯。 ◦体部肩に三角形突起を一对。	◦体部表裏面とも丁寧なカキメ調整。	◦長石、石英、角閃石など。	◦灰色～緑灰色	◦良好	◦B-68
	63	甗	(48.2)	(35.6)			◦径の大きい有段口縁と、やや長めの頸部をもつ。頸部外面2ヶ所に2条ずつの凹線、その間及び上部に波状文を施す。 ◦胴部下半はかなりいびつ。	◦胴部外面は平行タタキ。 ◦胴部内面は青海波文タタキ。	◦長石、石英、角閃石などの砂粒、微砂粒含む。	◦濃青灰色	◦良好	◦外面一部に自然釉 ◦B-5他
C-1号 横穴墓	64	杯身	(12.6)			(4.4)	◦立ち上がりは内湾し、端部は丸く、受部は短い。 ◦内面体部上端に沈線状凹み。 ◦底部は厚手。	◦外面底部ヘラケズリ。 ◦内面体部下半以下、不整方向ナデ。	◦長石、石英など微砂粒少量含む。	◦(外)濃青灰色 ◦(内)淡青灰色	◦良好	◦約1/3残存 ◦C-8
	65	杯身	13.0			3.9	◦立ち上がりは短く内傾し、受部も外上方へごく短い。 ◦内面体部上位に有段。 ◦底部は厚手。	◦外面底部ヘラおこしのみ。 ◦内面体部下半不整方向ナデ。	◦長石、角閃石など微砂粒多く含む。	◦濃青灰色 ◦外面一部土壌により褐色化。	◦良好	◦68とセット ◦C-106
	66	杯身	10.6			4.2	◦立ち上がりはごく短く、受部も外上方へ短い。 ◦内面体部上端に浅い段。 ◦全体に厚手。	◦外面底部ヘラおこしのみ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英など微砂粒少量含む。	◦青灰色 ◦外面土壌により褐色化。	◦良好	◦69とセット ◦自然釉 ◦C-33
	67	杯蓋	(13.6)				◦天井部と口縁部の境に凹線2条。	◦外面天井部上半ヘラケズリ。	◦長石微砂粒ごく少量。	◦濃青灰色	◦良好	◦C-6
	68	杯蓋	12.0			4.3	◦天井部と口縁部の境不明瞭。	◦外面天井部ヘラケズリ。 ◦内面天井部不整ナデ。	◦各種微砂粒多く含む。	◦灰色	◦やや良好	◦C-107
	69	杯蓋	12.1			4.7	◦天井部と口縁部の境不明瞭。	◦外面天井部ヘラおこし。 ◦内面天井部不整ナデ。	◦各種砂粒、微砂粒含む。	◦青灰色 ◦褐色化	◦良好	◦C-34
	70	高杯	8.6		7.1	8.7	◦口縁部に浅い凹線を3条。 ◦脚部3方向に長い切り目。	◦杯部内面不整方向ナデ。 ◦脚部内面に絞り痕。	◦長石の砂粒顕著。	◦灰色	◦良好	◦C-32
	71	平瓶	6.8	15.4	5.8	15.8	◦口縁部と体部の境がやや窪み、肩がはり、最大径は体部上位にある。 ◦底部はほぼ平底。	◦体部下位以下は丁寧なヘラケズリ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦灰色	◦良好	◦肩部と内面底部に自然釉。 ◦C-30
	72	平瓶	12.6	31.5		32.4	◦体部最大径は中位にあり、	◦体部肩の内面に成形時	◦長石、石英、	◦(外)暗灰	◦良好	◦外面一部

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
							底部はややいびつな丸底。	孔の痕跡。 ○口縁部内面に接合痕。 ○外面体部下半は格子文 タタキ、体部内面は青 海波文タタキで調整。	角閃石など 微砂粒含む。	色～緑灰 色 ○(内)淡灰 色		○に自然釉 ○C-22
C-3号 横穴墓	73	杯身	10.9			3.6	○立ち上がりは内傾し、端部 は丸い。 ○内面体部上端に浅い沈線状 凹み。	○外面底部ヘラケズリ。 ○内面底部不整方向ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 微砂粒含む。	○(外)青灰 色～濃青 灰色、(内) 濃青灰色	○良好	○外面に自 然釉。 ○C-84
	74	杯身	10.6			3.8	○立ち上がりは内湾し、端部 は丸い。 ○全体に厚手。	○外面底部ヘラケズリ。 ○内面底部不整方向ナデ。	○各種砂粒、 微砂粒含む。	○(外)濃青 灰色、(内) 紫灰色	○良好	○77とセッ ト ○C-83
	75	杯身	11.6			4.3	○立ち上がりはやや内湾、端 部は丸く、受部は短い。	○体部下半以下をヘラケ ズリ。 ○内面体部下半以下を不 整方向のナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○(外)灰色 ○(内)青灰 色	○良好	○外面一部 に自然釉 ○C-87
	76	杯蓋	12.5			3.4	○天井部と口縁部の境に凹線 を2条。 ○口縁部内面下位に有段。	○外面天井部上半をヘラ ケズリ。 ○内面天井部上半を不整 方向ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○(外)濃緑 灰色 ○(内)紫灰 色	○良好	○C-86
	77	杯蓋	11.8			4.3	○天井部と口縁部の境あいま いで、ごく浅い凹線1条。 ○口縁部内面下位に有段。	○外面天井頂部をヘラケ ズリ。 ○内面天井部を不整方向 ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	○(外)青灰 色、(内) 淡紫灰色 ○褐色化	○良好	○C-85
	78	杯蓋	12.1			4.6	○天井部と口縁部の境不明瞭。	○外面天井部上半をヘラ ケズリ。 ○内面天井頂部を不整方 向ナデ。	○各種砂粒、 微砂粒多く 含む。	○青灰色	○やや 良好	○C-82
	79	壺	10.1	12.3	6.3	13.5		○胴部下位以下を丁寧な ヘラケズリ。	○長石、石英 の砂粒顕著。	○青灰色	○良好	○C-88
	80	提瓶	8.1	15.5		21.9	○なで肩に把手一对。口縁部 への立ち上がりも屈曲鋭く なくなだらか。	○体部丁寧なカキメ調整 のあと裏面に雑に平行 タタキ。	○長石、石英 の砂粒顕著。	○淡青灰色 ○表面一部 土壌によ る褐色化	○良好	○C-89
C-4号 横穴墓	81	杯身	10.8			4.2	○立ち上がりは内傾し、端部 は丸く、受部は短い。 ○内面体部と口縁部の境が有 段化。	○外面体部下半以下ヘラ ケズリだが、底部中央 はヘラおこしのまま。 ○内面底部不整方向ナデ。	○長石、石英 の砂粒顕著。	○(外)青灰 色 ○(内)濃灰 色	○良好	○外面自然 釉。 ○C-121
	82	杯身	10.9			4.2	○立ち上がりは内傾、端部は 丸い。 ○内面体部上端に沈線状凹み。	○外面体部下半以下ヘラ ケズリ。 ○内面底部不整方向ナデ。	○長石、石英、 角閃石など 含む。	○青灰色	○良好	○外面自然 釉。 ○C-122
	83	杯身	10.7			4.0	○立ち上がりは内傾、端部に やや面をもち、受部は短い。 ○全体にやや厚手。	○体部下半ヘラケズリ、 底部中央付近は未調整。 ○内面底部不整方向ナデ。	○各種砂粒、 微砂粒含む。	○(外)黒灰 色 ○(内)灰色	○良好	○外面自然 釉。 ○C-203
	84	杯身	10.2			4.4	○内面体部と口縁部の境に沈 線状の凹み。 ○全体に厚手。	○体部下半ヘラケズリ、 底部は未調整。 ○内面底部不整方向ナデ。	○各種砂粒、 微砂粒少量 含む。	○青灰色	○良好	○C-119
	85	杯身	11.2			3.8	○立ち上がりは内傾、端部は	○外面体部下半以下ヘラ	○長石、石英、	○暗青灰色	○良好	○外面一部

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
							丸い。 ◦受部は外上方へ厚手。	ケズリだが、底部中央 付近にヘラおこし痕残 る。 ◦内面底部不整方向ナデ。	角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。			◦に自然釉。 ◦C-163
	86	杯身	11.4			4.6	◦立ち上がりは内傾、端部 は丸く、受部は短い。 ◦体部下半以下は厚手。	◦体部下半以下ヘラケズ リ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種砂粒、 微砂粒含む。 ◦(外)淡灰 色 ◦(内)灰色	◦良好	◦外面一部 に自然釉 ◦C-205	
	87	杯身	10.8			4.2	◦立ち上がりは途中で屈曲し 垂直に伸び、端部は丸い。 ◦底部はやや厚手。	◦外面底部ヘラケズリだ が、中央付近は未調整。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英 の砂粒顕著。	◦良好	◦外面一部 に自然釉 ◦C-202	
	88	杯身	10.4			4.2	◦立ち上がりは内傾、端部は 丸い。 ◦内面体部上端をヘラ状工具 のおさえて沈線状化。	◦外面体部下位以下ヘラ ケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英、 角閃石など 砂粒、微砂 粒含む。	◦良好	◦C-128	
	89	杯身	10.0			3.5	◦立ち上がりは内傾、端部に やや面をもつ。	◦外面底部ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦良好	◦C-125	
	90	杯身	10.9			3.7	◦立ち上がりはやや短く内傾 端部は丸い。 ◦全体にやや厚手。	◦外面底部ヘラおこし後 ナデ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英 の砂粒がや や目立つ。 ◦(内)紫灰 色	◦良好	◦ヘラ記号 ◦94とセッ ト ◦自然釉。 ◦C-165	
	91	杯身	10.6			4.0	◦立ち上がりは短く内湾し、 端部は尖る。 ◦受部は外上方へ短く外湾。	◦外面底部ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦良好	◦C-126	
	92	高杯	14.3		11.2	21.0	◦三角形透かしを2方向。 ◦口縁部下端と脚部透かし下 に沈線を各1条。	◦杯部内面不整方向ナデ 他は回転ナデ。	◦長石、石英 の砂粒顕著。 ◦(内)青灰 色	◦良好	◦C-118	
	93	高杯	(14.4)						◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦濃青灰色	◦良好	◦約1/4残存 ◦C-123
	94	杯蓋	12.9			4.3	◦口縁部と天井部の境に上下 2条の浅い沈線。	◦外面天井頂部ヘラおこ し後ナデ調整。 ◦内面天井頂部不整方向 のナデ。	◦各種微砂粒 赤色酸化粒、 火山ガラス 含む。	◦濃灰色 ◦一部土壌 による褐 色化。	◦良好	◦天井部に ヒダスキ ◦C-166
	95	杯蓋	(11.4)				◦天井部と口縁部の境に浅い 沈線1条。		◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦青灰色	◦良好	◦約1/4残存 ◦C-124
	96	杯蓋	12.1			4.1	◦天井部と口縁部の境に沈線 1条。	◦外面天井部上半ヘラケ ズリ。 ◦内面天井部不整方向の ナデ。	◦長石、石英 の砂粒顕著。	◦緑灰色	◦良好	◦C-164
	97	提瓶	8.3	15.1		23.2	◦口縁部中位に沈線1条、そ の上に浮文4個はりつけ。 ◦肩に円形浮文1対。	◦体部表面はヘラケズリ 後ナデ、体部裏面はヘ ラケズリのまま。	◦長石砂粒や や目立つ。	◦暗灰色～ 黒灰色	◦良好	◦C-137
	98	提瓶	9.2	19.0		24.5	◦肩に把手1対。 ◦体部下位はいびつ。	◦体部ナデ調整後、やや 雑にカキメ調整。	◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦赤灰色～ 黒灰色	◦不良	◦C-136
	99		(12.0)							◦灰色	◦良好	◦約1/4残存 ◦C-120
	100	甕	15.6				◦底部はいびつな丸底。	◦胴部外面タタキの後カ キメ調整。	◦長石、石英、 角閃石など	◦青灰色	◦やや 良好	◦屍床と前 庭部床面。

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 その 他
			口径	胴径	底径	器高						
							◦ 胴部内面青海波文タタキ。	砂粒、微砂粒含む。			◦ C-130	
	101	甕	20.2	42.0		◦ 最大径は胴部中位。	◦ 胴部外面タタキの後、横方向のカキメ調整。 ◦ 胴部内面青海波文タタキ	◦ 長石、石英、角閃石など砂粒含む。	◦ 淡灰色	◦ 不良	◦ 尻床 ◦ C-144	
C-5号 横穴墓	102	杯蓋	(13.0)			◦ 天井部と口縁部の境に沈線を2条。	◦ 天井部中位以上ヘラケズリ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 灰色	◦ 良好	◦ 約1/4残存 C-357	
	103	甕					◦ 外面、格子状タタキ。 ◦ 内面は青海波文タタキ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 灰色	◦ 良好	◦ C-264	
	104	杯	13.8		6.5	4.2		◦ 外面底部回転糸切り。 ◦ 内面底部水ひき痕。	◦ 各種砂粒含む。	◦ 淡燈色	◦ やや不良	◦ 土師器 ◦ C-263
C-6号 横穴墓	105	杯身	10.8			4.3	◦ 立ち上がりは内湾し、端部は丸い。	◦ 外面体部下半以下ヘラケズリだが、底部にヘラおこし時の擦痕。 ◦ 内面底部不整方向ナデ。	◦ 各種砂粒、微砂粒、火山ガラスなど含む。	◦ (外)青灰色 ◦ (内)灰色	◦ 良好	◦ C-157
	106	杯身	10.5			3.9	◦ 立ち上がりは内湾し、端部は丸い。 ◦ 内面体部と口縁部の境に沈線状凹み。	◦ 外面体部下位以下ヘラケズリ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 灰色	◦ やや良好	◦ 外面に自然釉。 ◦ C-159
	107	杯身	10.4			3.5	◦ 立ち上がりはやや短く内傾し、端部は丸い。 ◦ 内面体部と口縁部の境に沈線状凹み。	◦ 外面体部下位以下ヘラケズリ。 ◦ 内面体部下位以下、不整方向のナデ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 淡緑灰色	◦ 良好	◦ 112とセツト ◦ C-189
	108	杯身	10.6			3.6	◦ 立ち上がりは内傾し、端部はやや面をもつ。 ◦ 受部は折り返し残る。 ◦ 全体に厚手。	◦ 外面体部下位以下ヘラケズリ。 ◦ 内面体部下位以下、不整方向ナデ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 緑灰色	◦ 良好	◦ 113とセツト ◦ C-190
	109	杯身	10.6			3.7	◦ 立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 ◦ 内面体部と口縁部の境に段をもつ。	◦ 外面底部ヘラケズリだが、ほとんど未調整。 ◦ 内面底部不整方向のナデ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 濃灰色	◦ 良好	◦ 外面一部に自然釉。 ◦ C-161
	110	杯身	10.8			3.9	◦ 立ち上がりは外湾し、端部は丸い。 ◦ 内面体部と口縁部の境に沈線状凹み。	◦ 外面体部下半以下ヘラケズリ。 ◦ 内面底部不整方向ナデ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 淡緑灰色	◦ 良好	◦ 114とセツト ◦ C-188
	111	杯身	10.0			3.7	◦ 立ち上がりは極端に短い。 ◦ 全体に厚手。	◦ 外面底部ヘラおこし後未調整。 ◦ 内面体部下半以下、幅11mmの工具で断続的に右上りのナデ調整。	◦ 長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦ 淡黄灰色	◦ やや良好	◦ C-153
	112	杯蓋	12.5			3.6	◦ 天井部と口縁部の境にあまり稜をもつ。	◦ 外面天井部中位以上ヘラケズリ。 ◦ 内面天井部不整方向のナデ。	◦ 各種砂粒、微砂粒含む。	◦ 緑灰色	◦ 良好	◦ C-13
	113	杯蓋	12.7			3.8	◦ 天井部と口縁部の境にごく浅い沈線1条。 ◦ 内面口縁部下位に有段。	◦ 外面天井部中位以上ヘラケズリ。 ◦ 内面天井部不整方向のナデ。	◦ 角閃石多い。	◦ 暗青灰色	◦ 良好	◦ C-160

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
	114	杯蓋	13.1			3.9	<ul style="list-style-type: none"> 天井部と口縁部の境に沈線1条。 内面口縁部下位に沈線1条。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面天井部上位ヘラケズリ。 内面天井部不整方向のナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑灰色 	<ul style="list-style-type: none"> やや良好 	<ul style="list-style-type: none"> C-191
	115	台付鉢蓋	6.5			4.9	<ul style="list-style-type: none"> 宝珠つまみは形状がやや弛緩。 内面天井部とかえりの境に沈線状の凹み。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面天井部上半ヘラケズリ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 灰色～濃灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 外面一部に自然釉。 C-154
	116	台付鉢	7.9	8.9	8.2	9.0	<ul style="list-style-type: none"> 体部外面にヘラ状工具で二重～三重の刺突文。 鉢底部外面にヘラ状工具で三重～五重の刺突文。 脚台部に三角形透かしを2方向。 	<ul style="list-style-type: none"> 鉢底部内面は不整方向ナデ、それ以外は回転ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒(角閃石やや多い)を含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 灰色～黒色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 外面一部に自然釉 115とセット C-141
	117	杯	(14.0)			4.5			<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒、赤色酸化粒多く含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 淡黄褐色 	<ul style="list-style-type: none"> 不良 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 約3%残存 C-23
	118	杯	14.8			4.4		<ul style="list-style-type: none"> 底部に回転糸切り痕。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒、赤色酸化粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 淡黄褐色 	<ul style="list-style-type: none"> 不良 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 C-25
	119	甕	(22.0)				<ul style="list-style-type: none"> 短く外反する有段口縁から屈曲して幅広にはった肩に至る。胴部最大径は上位にあるものと思われ、底部はいびつな丸底。 	<ul style="list-style-type: none"> 胴部外面は縦方向の平行タタキ。 胴部内面は青海波文タタキ。 	<ul style="list-style-type: none"> 長石、石英、角閃石など各種砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 淡灰色～青灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 外面一部に自然釉。 C-14他 註①
	120	横瓶						<ul style="list-style-type: none"> 外面は平行タタキ後、雑にカキメ。 内面は青海波文タタキ。 	<ul style="list-style-type: none"> 長石、石英など微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 淡黄灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> C-16
C-7号 横穴墓	121	杯身	10.6			4.2	<ul style="list-style-type: none"> 体部と受部の境に浅い沈線。 内面体部と口縁部の境は有段化。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面体部下位以下ヘラケズリ。 内面底部不整方向ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種微砂粒、砂粒、火山ガラス含む。 	<ul style="list-style-type: none"> (外)濃青灰色、(内)青灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> C-111
	122	杯身	10.4			4.4	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がりは内湾し、端部は丸い。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面体部中位以下ヘラケズリ。 内面底部不整方向ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒など少し含む。 	<ul style="list-style-type: none"> (外)青灰色、(内)黄灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 143とセットか C-114
	123	杯身	10.8			4.1	<ul style="list-style-type: none"> 内面体部と口縁部の境に沈線状凹み。 全体にやや厚手。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面体部下位以下ヘラケズリ。 内面底部不整方向ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種微砂粒(石英多い)を含む。 	<ul style="list-style-type: none"> (外)黄灰色 (内)淡青灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 142とセット 約3%残存 C-109他
	124	杯身	10.4			4.4	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がりは内傾し、端部は丸い。 内面体部と口縁部の境に浅い沈線状凹み。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面体部下半以下ヘラケズリだが、底部中央付近に板目痕残る。 内面底部不整方向ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種微砂粒少量含む。 	<ul style="list-style-type: none"> (外)濃青灰色 (内)青灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 138とセット C-110
	125	杯身	11.2			4.4	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がりはやや短く内湾し端部は丸い。 内面体部と口縁部の境に浅い沈線状の凹み。 	<ul style="list-style-type: none"> 外面体部中位以下ヘラケズリ後、軽くナデ。 内面底部不整方向ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 長石、石英砂粒の他、各種微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> (外)灰色 (内)黒灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 137とセットか C-284

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
	126	杯身	9.8			3.6	◦立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は長い。 ◦内面体部と口縁部の境が有段化。	◦外面体部下位以下ヘラケズリ。 ◦内面体部下位以下、不整方向ナデ。	◦各種微砂粒、砂粒少し含む。	◦青灰色～灰色	◦良好	◦C-289
	127	杯身	10.3			3.9	◦立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部はごく厚手。	◦外面体部下位以下ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ	◦長石の砂粒、微砂粒顕著	◦緑灰色～青灰色	◦良好	◦145とセ ットか ◦C-290
	128	杯身	10.3			4.0	◦立ち上がりは内傾、端部は丸く、受部は短い。	◦外面体部下位以下ヘラケズリだが、底部にヘラおこし痕が残る。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種砂粒、微砂粒少し含む。	◦(外)濃青灰色 ◦(内)淡青灰色	◦良好	◦C-353
	129	杯身	(10.8)			3.8	◦立ち上がりは内湾、端部は丸い。	◦外面体部下位以下ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種微砂粒、砂粒、火山ガラス含む。	◦緑灰色	◦良好	◦約1/3残存 ◦C-354
	130	杯身	(11.4)			4.2	◦立ち上がりは内傾、端部は丸い。 ◦底部は厚手。	◦外面体部下位以下ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種微砂粒、火山ガラス少し含む。	◦淡灰色～黄灰色	◦良好	◦約1/2残存 ◦C-4
	131	杯身	(11.4)				◦立ち上がりは内傾し、端部はやや面をもつ。		◦各種微砂粒少し含む。	◦緑灰色	◦良好	◦約1/3残存 ◦C-354
	132	杯身	(11.6)			(4.6)	◦体部と受部の境は軽く屈曲。 ◦内面体部と口縁部の境にごく浅い沈線状凹み。	◦外面体部下位以下ヘラケズリ。	◦各種微砂粒、火山ガラス少し含む。	◦青灰色	◦良好	◦約1/3残存 ◦C-113 他
	133	杯身	11.4			4.4	◦立ち上がりは断面三角形でやや短く、端部は丸い。 ◦丸底で不安定。	◦外面底部はヘラおこし。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種微砂粒、火山ガラス少し含む。	◦青灰色	◦良好	◦一部自然 釉。 ◦C-227
	134	杯身	10.8			4.1	◦立ち上がりは断面三角形で短い。	◦外面体部下位以下ヘラケズリだが、底部はほとんどヘラおこし後未調整。 ◦体部内面は幅6mm程の指またはヘラ状工具による不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒、火山ガラスやや多く含む。	◦緑灰色	◦普通	◦144とセ ット ◦C-228
	135	杯身	10.0			4.1	◦立ち上がりはかなり内傾し、短い。	◦外面底部ヘラおこし。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石の砂粒、微砂粒やや顕著。	◦灰色		◦146とセ ット。 ◦外面一部 に自然釉 ◦C-255
	136	杯身	11.0			4.0	◦立ち上がりは短く内傾。	◦磨滅で不明瞭。	◦各種微砂粒多く含む。	◦(外)淡灰色 ◦(内)灰色	◦やや不良	◦ヘラ記号 ◦外面一部 に自然釉 ◦C-288
	137	杯蓋	12.8			4.5	◦口縁部と天井部の境に下2条の沈線。	◦外面天井頂部ヘラケズリ。 ◦内面天井頂部不整方向のナデ。	◦長石、石英の砂粒やや顕著。	◦暗灰色	◦良好	◦外面一部 に自然釉 ◦C-282
	138	杯蓋	12.4			4.4	◦口縁部と天井部の境に沈線1条。 ◦内面口縁部下位に沈線1条。	◦外面天井部中位以上ヘラケズリ。 ◦内面天井頂部不整方向	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂	◦(外)灰色～青灰色 ◦(内)淡灰	◦良好	◦C-283

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
							のナデ。	粒多く含む。	色			
	139	杯蓋	13.2			4.8	◦口縁部と天井部の境に上下2条の沈線。	◦外面天井部上位ヘラケズリ。	◦各種砂粒、微砂粒含む。	◦青灰色	◦良好	◦C-285
	140	杯蓋	12.5			4.1	◦口縁部と天井部の境に上下2条の浅い沈線。 ◦内面口縁部下位が有段化。	◦外面天井部中位ヘラケズリだが、頂部はヘラおこし後未調整。 ◦内面天井部不整方向のナデ。	◦長石、石英の砂粒顕著。	◦明灰色	◦良好	◦C-286
	141	杯蓋	11.9			4.1	◦口縁部と天井部の境に沈線を1条。 ◦内面口縁部下位が浅く有段化。	◦外面天井部中位以上ヘラケズリだが、頂部中央付近にヘラおこし痕。 ◦内面天井部不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦(外)紫灰色 ◦(内)淡灰色	◦良好	◦C-281
	142	杯蓋	12.1			4.4	◦口縁部と天井部の境に沈線を1条。 ◦内面口縁部下位に浅い有段。	◦外面天井部中位以上ヘラケズリ。 ◦内面頂部不整方向ナデ。	◦各種砂粒、微砂粒少し含む。	◦黄灰色	◦良好	◦C-355
	143	杯蓋	12.9			3.7	◦口縁部と天井部の境やや不明瞭。 ◦天井部は偏平。	◦外面天井部中位以上ヘラケズリ。 ◦内面頂部不整方向ナデ。	◦長石の砂粒、微砂粒顕著。	◦灰色～黒灰色	◦良好	◦C-112
	144	杯蓋	11.9			4.7	◦口縁部と天井部の境不明瞭。 ◦天井部は丸く深い。	◦外面天井部中位ヘラケズリだが、頂部はヘラおこしのまま未調整。 ◦内面天井部の調整方法は133と同じ。	◦各種砂粒、微砂粒、火山ガラス含む。	◦(外)緑灰色 ◦(内)明青灰色	◦やや良好	◦C-229
	145	杯蓋	12.3			4.1	◦口縁部と天井部の境不明瞭。	◦外面天井部上半ヘラおこし後、ナデ調整。 ◦内面頂部不整方向ナデ。	◦各種微砂粒砂粒、火山ガラス含む。	◦青灰色	◦良好	◦C-230
	146	杯蓋	12.3			4.9	◦口縁部と天井部の境にごくあまい凹線状凹み。	◦外面天井部上半ヘラおこしのまま。 ◦内面天井部不整方向のナデ。	◦各種砂粒、微砂粒、火山ガラス含む。	◦明灰色	◦良好	◦C-254
	147	杯蓋	11.9			4.8	◦口縁部と天井部の境不明瞭。 ◦天井部は丸く深い。	◦外面天井頂部ヘラおこしのまま。 ◦内面天井部不整方向ナデ後、幅5mmのヘラ状工具で雑にナデ調整。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒、火山ガラス含む。	◦(外)淡緑灰色 ◦(内)青灰色	◦良好	◦C-291
	148	短頸壺	5.5	12.0	4.0	8.6	◦頸は短く内傾し、肩がはり胴最大径は上位 $\frac{1}{2}$ の所にある。平底。	◦外面胴部下半以下ヘラケズリ。	◦各種砂粒、微砂粒含む。	◦暗灰色～黒灰色	◦良好	◦肩に自然釉。 ◦C-226
	149	甗	11.7	9.7	4.6	13.5	◦体部中位にハケ状工具で刺突列点文。 ◦口縁部下端に1条、頸部中位に2条、体部刺突列点文の上下に各1条の沈線文。 ◦頸部沈線と口縁部の間に、ハケ状工具で波状文。	◦体部沈線より下をヘラケズリ。	◦長石、石英、角閃石など微砂粒、火山ガラス含む。	◦黄灰色	◦良好	◦C-108
	150	提瓶	8.7	16.4		23.0	◦体部肩に一对の円形浮文。	◦体部裏面を底に粘土を巻き上げ、最後に表面	◦長石、石英、角閃石など	◦濃灰色～淡灰色	◦良好	◦C-287

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
							中央を円盤状の粘土で埋めてある。 ◦表面はナデ。裏面はヘラケズリ調整。	砂粒、微砂粒含む。				
C-8号 横穴墓	151	杯身	10.5			4.4	◦内面体部と口縁部の境に有段。	◦外面体部下半以下ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒、火山ガラス含む。	◦灰色	◦良好	◦155とセットか。 ◦外面自然釉。 ◦C-252
	152	杯身	10.8			4.0	◦内面体部と口縁部の境に有段。	◦外面体部下半以下ヘラケズリだが、板目擦痕が残る。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種微砂粒砂粒、火山ガラス含む	◦(外)濃青灰色、(内)暗灰色 ◦外面一部土壤による褐色化	◦良好	◦C-317
	153	杯身	10.4			4.1	◦立ち上がりは内傾、端部はやや面をもつ。	◦外面体部下位以下に丁寧なヘラケズリだが、底部中央付近はヘラおこしのまま。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒含む。	◦濃青灰色	◦良好	◦C-251
	154	杯身	11.2			4.3	◦立ち上がりはやや短く、端部はややとがり気味。	◦外面底部ヘラケズリ。 ◦内面底部不整方向ナデ。	◦各種微砂粒、砂粒含む。	◦明灰色～紫灰色 ◦一部土壤による褐色化。	◦良好	◦156とセットか ◦一部自然釉 ◦C-318
	155	杯蓋	12.7			4.2	◦口縁部と天井部の境に上下2条の沈線。	◦外面天井頂部ヘラおこし後ナデ調整。 ◦内面天井頂部不整方向のナデ。	◦長石の砂粒、微砂粒やや顕著。	◦青灰色	◦良好	◦ヘラ記号 ◦C-243
	156	杯蓋	13.4			4.3	◦口縁部と天井部の境不明瞭。 ◦内面口縁部下位に浅い段。	◦外面天井部ヘラケズリ。 ◦内面天井部不整方向のナデ。	◦長石の砂粒、微砂粒やや顕著。	◦(外)濃青灰色、(内)暗赤茶色 ◦外面土壤による褐色化。	◦良好	◦C-316
	157	高杯	15.7		12.8	10.8	◦脚部の2方向に三角形透かし。 ◦口縁部と杯部の境不明瞭。	◦杯部内面不整方向のナデ。	◦各種微砂粒、砂粒、赤色酸化粒、火山ガラス含む。	◦濃暗灰色	◦やや不良	◦C-241 他
	158	有蓋 高杯	13.0				◦脚部の3方向に三角形透かし。 ◦立ち上がりは短く、端部は丸い。	◦杯部下半ヘラケズリだが、脚部装着後ナデ調整。	◦長石の砂粒、微砂粒やや顕著。	◦(外)濃青灰色 ◦(内)淡青灰色	◦良好	◦C-247
	159	高杯	8.9		5.6	11.7	◦口縁部中位に2条、下端に1条、杯部に1条、脚部中位に2条の浅い沈線。 ◦杯部沈線の上方にハケ状工	◦杯部内面不整方向のナデ。	◦長石、石英、角閃石など微砂粒、赤色酸化粒含	◦淡茶灰色～灰色	◦良好	◦C-244

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
							<ul style="list-style-type: none"> 具で刺突列点文。 脚部沈線の上方に3方向の切りこみ、下方に3方向の三角形透かし。 杯部と口縁部の境が有段化。 					
	160	甗	10.1	8.3	4.1	13.7	<ul style="list-style-type: none"> 口縁部下端に1条、頸部中位1条、体部肩と中位に各1条の沈線。 頸部は細くくびれ、ラッパ状に開く。 	<ul style="list-style-type: none"> 体部中位の沈線以下をヘラケズリ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒やや多く含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> C-237
	161	高杯	11.4		9.1	9.9		<ul style="list-style-type: none"> 脚部に杯部をはめ込み。 杯部～口縁部外面は、縦方向ハケ目、脚部外面は縦方向ナデの後ヘラ磨き(剥落のため不明瞭)。 杯部内面の調整不明、脚部内面はヘラおさえ。 	<ul style="list-style-type: none"> 長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒、赤色酸化粒、火山ガラス多く含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 褐色 丹彩 	<ul style="list-style-type: none"> 不良 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 C-242
	162	高杯	17.8		10.5	12.4		<ul style="list-style-type: none"> 脚部に杯部をはめ込み。 杯部～口縁部外面はナデ後縦方向ハケ目、脚部は縦方向ナデの後脚柱は縦方向ハケ目、脚台は横方向ヘラ磨き(磨滅、剥落で不明瞭)。 杯部内面はナデ調整。 	<ul style="list-style-type: none"> 長石、石英、角閃石など砂粒、微砂粒、赤色酸化粒、火山ガラス含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 褐色 丹彩 	<ul style="list-style-type: none"> やや不良 	<ul style="list-style-type: none"> 土師器 C-239
	163	甗	43.9	68.5		97.4	<ul style="list-style-type: none"> 口頸部は長く大きく外反し、有段口縁を形成。なで肩で胴もあまり張らない。丸底。 頸部3カ所に計5条の凹線その間にハケ状工具で8～9条の波状文。 	<ul style="list-style-type: none"> 胴部外面は格子目タタキ、内面は青海波文タタキ、底部外面にはさらにカキメを巡らせる。 頸部内面に板状工具によるおさえ痕が3列。 	<ul style="list-style-type: none"> 長石、石英、角閃石など砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 暗灰色～暗紫灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 屍床と前庭部埋土中出土。 C-138他
C-5、8号横穴墓	164	提瓶	(15.0)	(25.0)			<ul style="list-style-type: none"> 体部は張りがありほぼ球形 体部肩に把手一对。 口縁帯を形成。 	<ul style="list-style-type: none"> 体部外面平行タタキの後、下半分に雑なカキメ。内面は円弧文タタキ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 約1/2残存 註② C-15他
C-6、7、8号横穴墓	165	横瓶	(14.4)	(50.0)		(36.0)	<ul style="list-style-type: none"> 口縁帯を形成し、口縁帯には沈線1条を巡らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体部中位の内面に円盤状粘土の充てん痕あり。 体部外面は格子目タタキの後、荒くカキメを巡らせ、内面は円弧文タタキ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 淡灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 約1/4残存 註③ C-17他
B区頂部不明遺構	166	甗					<ul style="list-style-type: none"> 口縁帯を形成。 器壁は厚手。 	<ul style="list-style-type: none"> 口縁部内外面横ナデ。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 褐色 	<ul style="list-style-type: none"> 普通 	<ul style="list-style-type: none"> 弥生土器 約1/2残存 B-22
	167	杯身					<ul style="list-style-type: none"> 内面体部と口縁部の境にやや段をもつ。 受部は水平方向に長い。 		<ul style="list-style-type: none"> 各種砂粒、微砂粒含む。 	<ul style="list-style-type: none"> 灰色 	<ul style="list-style-type: none"> 良好 	<ul style="list-style-type: none"> 約1/2残存 B-13

出土遺構	土器 番号	器種	法 量 (cm)				形態上の特徴	手法上の特徴	胎 土	色 調	焼成 保存	取上番号 そ の 他
			口径	胴径	底径	器高						
	168	杯?						◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦淡黄褐色	◦良好	◦土師器 ◦約1/2残存 ◦B-11	
	169	杯			6.6		◦底部は回転系切り。 ◦底部内面は不整方向の ナデ。	◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦淡黄褐色	◦良好	◦土師器 ◦約1/2残存 ◦B-16	
	170	壺		14.9	12.5	◦胴部最大径は下1/4ほどの高 さにある。 ◦高台つき。	◦高台内面に指おさえ痕。	◦各種砂粒、 微砂粒含む。	◦灰色	◦良好	◦胴部に自 然釉。 ◦B-45	

註1. C-6号横穴墓のブラック・バンド中、C-7号横穴墓のブラック・バンド中より細片として出土したものを復元。

註2. C-5号横穴墓のブラック・バンド中、C-8号横穴墓のブラック・バンド中およびI層直上、前庭床面直上より細片として出土したものを復元。

註3. C-6号横穴墓のブラック・バンド中、C-7号横穴墓のブラック・バンド中、C-8号横穴墓の表土中より細片として出土したものを復元。

鉄器観察表

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考
A-2号 横穴墓	171	A-50	刀子	8.7※	1.2	0.3	刀身長 3.4cm以上。細身のつくり。関は不均等両関。茎胴部は中細、茎尻は一文字尻。	茎部に木質が僅かに残る。
	172	A-51	刀子	8.7※	1.2	0.3	刀身長 3.4cm以上。先端部を欠く。関は均等両関。茎胴部は直。茎尻は一文字尻。	茎部に木質が僅かに残る。
	173	A-64	刀子	10.4	1.7	0.4	刀身長 5.0cm。先端部を欠き、やや湾曲する。関は不均等両関か。茎胴部は細、茎尻は粟尻。	茎部に木質が残る。
	174	A-58	鎌	13.7	3.9	0.3	鎌身長5.0 cm。平両刃、椿葉式。関は大きく開き、頸部断面方形を呈す。	
	175	A-63	鎌	9.6※	1.9	0.3	鎌身長 3.3cm以上。篋被部 4.8cmを測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉式。関を有さない。やや広がる関篋被を有す。	
	176	A-56	鎌	14.5※	1.0	0.3	鎌身長 1.1cm、篋被部 6.6cm、茎部6.8cmを測る。平両刃、三角形狭鋒長頸篋被式。関篋被を有す。	
	177	A-52	鎌	13.0※	1.1	0.2	鎌身長 2.9cm以上、篋被部 6.2cm、茎部 3.9cmを測る。平両刃、長頸篋被柳葉式か。やや広がる関篋被を有す。	茎部に木質が残る。
	178	A-71	鎌	12.5	1.0	0.3	鎌身長 3.1cm、篋被部 7.2cm、茎部 2.2cmを測る。平両刃、長頸篋被柳葉式。棘篋被を有す。	
	179	A-66	鎌	11.6※	1.1	0.2	鎌身長2.9cm、篋被部8.7cmを測る。茎部を欠く。平両刃、長頸篋被柳葉式。やや広がる関篋被を有す。	
	180	A-53	鎌	11.1※	0.9	0.2	鎌身長2.3cm、篋被部6.7cm、茎部2.1 cm以上を測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉式。棘篋被を有す。	茎部に木質残る。
	181	A-61	鎌	12.8	0.9	0.3	鎌身長2.1cm、篋被部6.7cm、茎部4.0cmを測る。平両刃、三角形狭鋒長頸篋被式。棘篋被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。
	182	A-60	鎌	14.3	1.0	0.2	鎌身長2.0cm、篋被部7.5cm、茎部4.8cmを測る。平両刃、三角形狭鋒長頸篋被式。棘篋被を有す。	
	183	A-62	鎌	13.8	0.9	0.3	鎌身長2.7cm、篋被部7.8cm、茎部3.3cmを測る。平両刃、長頸篋被柳葉式。関を有さない。棘篋被を有す。	茎部に木質が残る。
	184	A-65	鎌	17.0	0.9	0.3	鎌身長2.8cm、篋被部9.5cm、茎部4.7cmを測る。平両刃、長頸篋被柳葉式。棘篋被を有す。	
	185	A-69	鎌	17.0	0.9	0.3	鎌身長2.3cm、篋被部9.6cm、茎部5.1cmを測る。平両刃、長頸篋被柳葉式。関を有さない。棘篋被を有す。	
	186	A-68	鎌	2.4※	0.8	0.1	刃部のみ、平両刃の鎌身。	
	187	A-67	鎌	14.5	0.5	0.3	頸部のみ、棘篋被を有す。	
	188	A-54	鎌	14.5	0.5	0.3	銹のため鎌身部の形態は不明。平両刃か。棘篋被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装置したものか。
	189	A-57	鎌	14.7	0.8	0.3	銹のため鎌身部の形態は不明。平両刃か。棘篋被を有す。	茎部に木質残る。
	190	A-59	鎌	17.0	0.6	0.3	鎌身長1.5cm、篋被部9.8cm、茎部5.7cmを測る。両丸両刃、三角形狭鋒長頸篋被式。棘篋被を有す。	茎部に木質残る。
	191	A-65	鎌	18.4※	0.8	0.4	鎌身長1.4cm以上、篋被部12.5cm、茎部4.5cm以上を測る。両丸両刃、三角形狭鋒長頸篋被式か。棘篋被を有す。篋被部が大きく曲る。	茎部に木質残る。
	192	A-37	鐔	6.2	4.8	0.4	倒卵形を呈し、やや厚手の造り。中央の孔は長径2.8cm、短径1.8cmを測る。	
	193	A-37	直刀	55.7	2.6	0.7	刀身は、フクラ切先、断面二等辺三角形、平造り。関は均等両関、茎胴部は中細、茎尻は粟尻。茎に目釘孔を有す。高さ1.6cm、幅	茎部に木質が残る

※は残存値

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考	
							3.3cm、厚さ0.2cmを測り、断面「『』」字形を呈す紐が装着されている。		
B-1号 横穴墓	194	B-86	刀子	10.7※	0.9	0.3	刀身長6.5cm以上、切先を欠く。細身の刀身。関は均等両関、茎胴部は細、茎尻は粟尻。	刀身部に木質が残る。	
B-2号 横穴墓	195	B-63 81	刀子	8.3※	0.9	0.9	刀身長6.3cm以上、切先を欠く。関に近づくにつれて刃側が大きく広がる。関は不均等両関、茎胴部は直か、茎尻は不明。	茎部に木質残る。	
	196	B-52	鎌	10.4※	1.6	0.4	鎌身長2.7cm以上、篋被部5.5cm、茎部2.4cm以上を測る。両丸両刃、三角形狭鋒腸状長頸篋被式。棘篋被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。	
	197	B-74	鎌	11.5※	1.7	0.4	鎌身長3.2cm、篋被部5.7cm、茎部3.0cm以上を測る。両丸両刃、三角形狭鋒腸状長頸篋被式。棘篋被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。	
	198	B-57	鎌	11.8※	1.8	0.4	鎌身長3.2cm、篋被部6.1cm、茎部3.2cm以上を測る。両丸両刃、三角形狭鋒腸状長頸篋被式。棘篋被を有す。		
	199	B-53	鎌	12.0※	1.2	0.3	鎌身長2.8cm以上、篋被部4.9cm、茎部4.5cm以上を測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉腸状式。棘篋被を有す。		
	200	B-54	鎌	10.4※	1.3	0.4	鎌身長2.6cm以上、篋被部4.9cm、茎部3.5cm以上を測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉腸状式。棘篋被を有す。		
	201	B-55	鎌	12.9※	1.3	0.4	鎌身長3.1cm以上、篋被部5.7cm、茎部4.8cmを測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉腸状式。篋被の形態は不明。		
	202	B-56	鎌	10.0※	1.1	0.4	鎌身長1.2cm以上、篋被部4.4cm、茎部4.6cmを測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉腸状式か。やや広くなる関篋被を有す。		
	203	B-58	鎌	9.2※	1.4	0.3	鎌身長3.0cm、篋被部4.8cm、茎部1.8cm以上を測る。両丸両刃、長頸篋被柳葉腸状式。棘篋被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。	
	204	B-59	小刀	25.9	1.8	0.3	刀身長18.0cm、フクラ切先。断面二等辺三角形平造り。やや広くなる関を有す。両関か。茎胴部は中細、茎尻は粟尻。茎に幅0.3cm、長2.1cmの目釘が残る。幅2.1cmの紐が残る。	茎部に木質残る。	
	205	B-64	直刀	51.3	2.5	0.6	刀身長40.5cm、切先部を欠く。断面二等辺三角形平造り。関は不均等両関、茎胴部は中細、茎尻は一字尻。長径5.0cm、短径3.8cmの倒卵形を呈す鐔及び、幅1.8cmの鉄板を断面倒卵形に曲げた紐が装着される。	刀身・茎部に木質残る。	
	C-1号 横穴墓	206	C-56	刀子	10.7※	1.0	0.3	刀身長5.7cm以上、切先を欠く。断面二等辺三角形平造り。両関か。	茎部に木質残る。
		207	C-28	刀子	5.7※	0.7	0.2	刀身部のみ、断面二等辺三角形平造り。	
208		C-28	不明	1.8※	0.2	0.2	断面方形、一方端部がやや肥大している。	木質が付着する。	
209		C-41	釘	11.8	0.5	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面方形。木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y ₁)-a類	木棺材厚4.2cm。	
210		C-47	釘	11.5※			頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。先端部も折れ曲がり鋭状を呈す。一方方向の木目の木質が付着する。Z(Z ₂)-a類		
211		C-57	釘	11.4	0.6	0.5	頭部は「U」字状に折り曲げる。断面長方形。木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y ₂)-a類	木棺材厚4.1cm。	
212		C-103 117	釘	10.4※	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。一方方向の木目の木質が付着する。Z(Z ₁)-a類		
213		C-60 95	釘	7.6※	0.5	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。一方方向の木目の木質が付着する。Z-?類		
214		C-53	釘	4.1※	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。先端部を欠く。断面長方形。一方方向の木目の木質が付着する。?		
215		C-46	釘	7.9※	0.5	0.4	頭部を欠く。断面長方形。一方方向の木目の木質が付着する。?		
216	C-40	釘	10.0	0.5	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。木目方向が異なる木質が付着する。Y(Y ₂)-b類	木棺材厚4.4cm。 スキマ有り。		

※は残存値

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考
	217	C-49	釘	9.3	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-b 類	木棺材厚4.8cm。 スキマ有り。
	218	C-50 101	釘	9.7	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-b 類	木棺材厚4.4cm。 スキマ有り。
	219	C-51	釘	9.8	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-b 類	木棺材厚4.6cm。
	220	C-62	釘	9.1	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₁)-c 類	木棺材厚3.5cm。
	221	C-94	釘	9.1	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 ?	木質ナシ。
	222	C-28 117	釘	8.8	0.6	0.4	頭部は僅かに折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。X-c 類	木棺材厚4.2cm。
	223	C-35	釘	8.6	0.6	0.5	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₁)-c 類	木棺材厚4.8cm。
	224	C-61	釘	8.7	0.7	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-c 類	木棺材厚3.8cm。 スキマ有り。
	225	C-65	釘	8.3	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-d 類	木棺材厚4.0cm。 スキマ有り。
	226	C-28	釘	7.8	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。X-d 類	木棺材厚3.7cm。
	227	C-71	釘	8.0	0.5	0.3	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-d 類	木棺材厚4.1cm。 スキマ有り。
	228	C-48	釘	7.9	0.6	0.4	頭部の形状は錆のため不明(丸頭か)。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₁)-d 類	木棺材厚3.8cm。
	229	C-102	釘	3.8※	0.6	0.4	頭部は「O」字状に曲げる。断面長方形。 先端部を欠く。?	木質が付着する。
	230	C-64	釘	5.6※	0.6	0.4	頭部は「L」字状に折り曲げる。断面長方形。先端部を欠く。 木目方向が異なる木質が付着する。Y (Y ₂)-?	木棺材厚3.5cm。 スキマ有り。
	231	C-66	釘	5.2※	0.6	0.4	頭部は錆のために破損が著しい。「L」字状に折り曲げたものか。 断面長方形。?	木質が付着する。
	232	C-58	釘	4.0※	0.5	0.4	頭部を欠く。断面不整形。?	木質が付着する。
	233	C-59	釘	6.2※	0.4	0.4	頭部を欠く。断面方形。?	木質が付着する。
	234	C-100	釘	3.1※	0.5	0.3	頭部を欠く。断面長方形。 木目方向が異なる木質が付着する。?	
	235	C-63	釘	3.8※	0.5	0.4	頭部・先端部を欠く。断面長方形。?	木質が付着する。
	236	C-105	釘	4.0※	0.5	0.4	頭部を欠く。断面長方形。?	木質が付着する。
	237	C-38	鞘尻	4.1	3.2	0.2	両端部がやや肥大する。断面倒卵形を呈す。先端部は突き抜ける。	内面に木質が付着する。
	238	C-36	鐔	8.4	6.0	0.2	やや変形した倒卵形を呈し、薄手の造り。中央孔は長径3.5cm、 短径1.7cmを測る。	柄と思われる木質が残る。
	239	C-39	直刀	88.0※	3.2	0.6	刀身長82.6cm、カマス切先。断面二等辺三角形、平造り。幅2.3cm の鉄板を倒卵形に曲げた鍔が装着される。基部に目釘が残る。	刀身、基部に木質残る。
C-4号 横穴墓	240	C-187	刀子	13.2	1.3	0.5	刀身長8.5cm。断面二等辺三角形平造り。切先は鋭い。刃側が内湾 する。両関か。幅1.1cmの鉄板を倒卵形に曲げた鍔が残存する。	基部に木質残る。
	241	C-170	鍔	14.3	1.4	0.4	鍔身長2.6cm、箆被部7.1cm、基部5.2cmを測る。両丸両刃、三角 形広鋒脇扶長頸箆被式。やや広くなる関箆被を有す。	
	242	C-178 183	鍔	12.8※	1.4	0.3	鍔身長2.4cm以上。箆被部6.4cm、基部4.4cm以上を測る。両丸両刃、 三角形広鋒脇扶長頸箆被式。やや広くなる関箆被を有す。	

※は残存値

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考
	243	C-179	鍔	14.2※	1.4	0.3	鍔身長2.4cm以上、鍔被部7.1cm、茎部5.2cmを測る。両丸両刃、三角形狭鋒脇挟長頸鍔被式。やや広くなる関鍔被を有するか。	
	244	C-172	鍔	12.7	1.3	0.3	鍔身長2.6cm、鍔被部5.6cm、茎部4.8cmを測る。両丸両刃、三角形狭鋒脇挟長頸鍔被式。やや広くなる関鍔被を有す。	
	245	C-175	鍔	10.3※	1.3	0.3	鍔身長2.4cm以上、鍔被部5.6cm、茎部2.6cm以上を測る。両丸両刃、三角形狭鋒脇挟長頸鍔被式。やや広くなる関鍔被を有す。	
	246	C-171	鍔	8.8※	1.2	0.2	鍔身長2.6cm以上、鍔被部4.3cm、茎部2.4cm以上を測る。両丸両刃、長頸鍔被柳葉脇挟式。関鍔被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。
	247	C-176	鍔	13.5	1.3	0.3	鍔身長3.9cm、鍔被部4.5cm、茎部5.4cmを測る。両丸両刃、長頸鍔被柳葉脇挟式。やや広くなる関鍔被を有す。	
	248	C-181	鍔	11.2※	1.2	0.3	鍔身長3.3cm以上、鍔被部4.6cm、茎部3.6cm以上を測る。両丸両刃、長頸鍔被柳葉脇挟式、やや広くなる関鍔被を有す。	
	249	C-180	鍔	9.2※	1.3	0.4	鍔身長4.0cm、鍔被部4.1cm、茎部1.5cm以上を測る。両丸両刃、長頸鍔被柳葉脇挟式。やや広くなる関鍔被を有す。	
	250	C-174	鍔	2.5※	0.2	0.2	茎部のみ。断面長楕円形を呈す。	
	251	C-182	貴金具		0.4	0.3	幅0.4cmの鉄板を長径3.0cm、短径2.1cmの倒卵形に曲げる。断面長方形を呈す。	
	252	C-184	貴金具	2.8※	0.3	0.2	やや湾曲する。断面長方形を呈す。	253、254と接合するか。
	253	C-177	貴金具	3.2※	0.3	0.2	やや湾曲する。断面長方形を呈す。	
	254	C-177	貴金具	1.8※	0.3	0.2	やや湾曲する。断面長方形を呈す。	
	255	C-185	不明	径 0.7	0.7	0.2	径0.7cm、短筒状を呈す。一方端が肥大する。	直刀の付属品か
C-4号 横穴墓	256	C-169	柄頭	4.9	3.0	0.3	長径3.0cm、短径2.0cmの倒卵形を呈す。やや厚手のつくり。先端は突きぬけず、傾斜をもつ。	内面に木質残る。鞘尻の可能性もある。
	257	C-186	直刀	52.8※	2.7	0.6	刀身長43.4cm、フクラ切先。断面二等辺三角形平造り。茎部に目釘が残る。両関か。茎胴部は中細、茎尻は不明。長径4.5cm、厚さ0.6cmの倒卵形を呈す喰出鐔及び、幅2.2cmの鉄板を倒卵形に曲げた紐が装着される。	刀身・茎部に木質残る。
C-5号 横穴墓	258	C-261	刀子	5.1※	1.0	0.3	刀身から茎部にかけてのものか。錆化が著しい。	
	259	C-261	刀子	2.6※	0.9	0.4	茎部か。	
	260	C-265	鍔	10.6	2.3	0.3	鍔身長5.9cm、有頸の斧箭広根式。茎端部が折れ曲る。	茎部に木質残る。
C-5号 周辺	261	C-357	鍔	3.8※	2.4	1.5	鍔身部のみ。平両刃。	
	262	C-357	鍔	2.9※	0.8	0.1	鍔身長1.5cm。鍔身部から頸部にかけての残欠。両丸両刃、三角形狭鋒長頸鍔被式か。関を有さない。	
C-6号 横穴墓	263	C-156	刀子	7.6※	1.1	0.4	刀身長4.4cm以上。切先を欠く。断面二等辺三角形で、刃側がゆるく内湾する。関部が大きく広がる。幅0.9cmの鉄板を長楕円形に曲げた紐が装着される。	紐内に木質残る。
	264	C-193	刀子	5.2※	0.8	0.3	刀身部のみ。切先を欠く。断面二等辺三角形。関側がやや広がる。	
	265	C-193	鍔	3.9※	1.6	0.4	鍔身長2.9cm。鍔身から頸部にかけての残欠。両丸両刃、三角形狭鋒脇挟長頸鍔被式か。	
	266	C-193	鍔	4.3※	1.4	0.3	鍔身長2.6cm。鍔身から頸部にかけての残欠。両丸両刃、三角形狭鋒脇挟長頸鍔被式か。	
	267	C-148	鍔	2.1※	0.3	0.3	茎部のみ。断面方形を呈す。	木質残る。
	268	C-193	鍔	5.0※	0.6	0.3	茎部のみ。鍔被側は断面長方形、先端部は断面方形を呈す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。
	269	C-193	鍔	3.6※	0.5	0.3	茎部のみ。断面長方形を呈す。	木質残る。

※は残存値

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考
	270	C-193	鎌	2.1※	0.6	0.3	籠被部のみ。断面長方形を呈す。	
	271	C-193	鎌	4.8※	0.4	0.3	茎部のみ。断面長方形を呈す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。
	272	C-193	鎌	3.6※	0.6	0.3	籠被部から茎部にかけて残欠。断面長方形を呈す。棘籠被を有す。	木製の矢柄に樹皮を巻いて装着。
	273	C-152	鞘尻 ?	4.7	2.9	0.3	長径2.9cm、短径1.9cmの倒卵形を呈す。先端は突きぬけず、傾斜をもつ。	内面に木質残る。柄頭の可能性有。
	274	C-155	直刀	59.5※	2.8	0.7	刀身長54.1cm以上。切先を欠く。断面二等辺三角形平造り。関は均等両関、茎胴部は中細、茎尻は不明。茎部に目釘が残る。鋸と長径3.8cm、短径2.7cmの倒卵形の喰出鐙が一体となるものか。	刀身、鋸内面に木質残る。
C-7号 横穴墓	275	C-268	刀子	13.6	1.4	0.4	刀身長8.0cm、切先にはぶく、やや反りをもつ。関はやや広くなる均等両関か。茎胴部は中細、茎尻は栗尻。幅1.2cmの鉄板を倒卵形に曲げた紐が装着される。	茎部に木質残る。
	276	C-269 339	刀子	12.9※	1.1	0.4	刀身長6.0cm以上。切先を欠く。刃・背とも内湾する。片関か。茎胴部は中細、茎尻は栗尻か。幅0.5cmの鉄板を倒卵形に曲げた紐が装着される。	鋸外面に木質付着する。
	277	C-270	刀子	14.1	1.4	0.5	刀身長8.0cm。切先は鋭い。断面二等辺三角形。関は均等両関、茎胴部は直、茎尻は栗尻。	茎部に木質残る。
	278	C-273 298	鎌	8.7※	0.9	0.3	鎌身から籠被部にかけての残欠。鎌身長1.2cm。片丸両刃、三角形狭鋒長頸籠被式か。	
	279	C-298	鎌	4.9※	0.4	0.3	籠被部のみ。断面長方形。	
	280	C-339	鎌	4.2※	0.5	0.3	籠被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。棘籠被を有す。	
	281	C-339	鎌	2.8※	0.9	0.3	鎌身長1.1cm。片丸両刃、三角形狭鋒長頸籠被式か。鎌身から籠被部にかけての残欠。	
	282	C-272	鎌	3.8※	0.5	0.3	籠被部のみ。断面長方形。	
	283	C-266 298	鎌	6.4※	0.5	0.2	籠被部のみ。断面長方形。	
	284	C-271	鎌	10.8※	1.1	0.3	鎌身から籠被部にかけての残欠。鎌身長2.6cm以上。両丸両刃、長頸籠被柳葉式か。	
	285	C-274 275 298	鎌	14.2※	0.8	0.3	鎌身長1.2cm以上、籠被部9.4cm、茎部3.6cmを測る。両丸両刃、三角形狭鋒長頸籠被式。棘籠被を有す。	
	286	C-266	鎌	3.9※	2.8	0.4	鎌身部のみ。両丸両刃、有頸平根五角形式か。	
	287	C-294	鎌	11.6※	2.6	0.4	鎌身長4.3cm以上、籠被部2.8cm、茎部4.6cm以上を測る。両丸両刃、広鋒長三角形脇挾式か。関籠被を有す。	
	288	C-296	鞘尻	5.6	3.2	0.1	長径3.2cm、短径1.8cmの倒卵形を呈す。鞘口側に真金具が付く。先端は突きぬけず、平坦。	
	289	C-293	直刀	43.9	2.8	0.6	刀身長33.9cm。カマス切先。断面二等辺三角形。関は均等両関、茎胴部は中細、茎尻は栗尻。茎部には目釘が残る。幅2.1cmの鉄板を倒卵形に曲げた紐が装着される。	
C-8号 横穴墓	290	C-313	刀子	11.8※	1.2	0.3	刀身長6.4cm以上。切先を欠く。刃側が内湾する。関は均等両関か、茎胴部は中細、茎尻は栗尻か。幅1.1cmの鉄板を楕円形に曲げた紐の一部が残る。	茎部に木質残る。
	291	C-314 348	刀子	8.7※	1.2	0.2	刀身長5.2cm以上。切先を欠く。刃側がやや内湾する。関は不均等両関か、茎胴部は中細、茎尻は不明。幅1.0cmの鉄板を倒卵形に曲げた紐の一部が残る。	茎部に木質残る。
	292	C-312	刀子	7.0※	1.1	0.3	刀身長2.6cm以上。半分以上を欠く。不均等両関か、茎胴部は細、茎尻は隅切尻。	茎部に木質残る。

※は残存値

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	種類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	形態上の特徴	備考
	293	C-305	鏃	12.9	1.7	0.3	鏃身長3.1cm、箆被部5.2cm、茎部5.0cmを測る。両丸両刃、三角形 広鋒脇扶長頸箆被式。関箆被を有す。	
	294	C-310	鏃	14.4	1.1	0.3	鏃身長3.5cm、箆被部5.4cm、茎部5.7cmを測る。片丸両刃、長頸箆 被柳葉脇扶式。やや広くなる関箆被を有す。	
	295	C-304	鏃	14.9	1.1	0.3	鏃身長3.6cm、箆被部5.1cm、茎部6.2cmを測る。両平両刃、長頸箆 被柳葉式。棘箆被を有す。	
	296	C-307	鏃	14.9	1.1	0.4	鏃身長3.7cm、箆被部5.6cm、茎部5.6cmを測る。片丸両刃、長頸箆 被柳葉式。やや広がる関箆被を有す。	
	297	C-302	鏃	12.0※	0.9	0.2	鏃身長2.8cm、箆被部7.2cm、茎部2.0cm以上を測る。両丸両刃、 長頸箆被柳葉式。棘箆被を有す。	
	298	C-308	鏃	15.6※	0.9	0.4	鏃身長4.9cm、箆被部5.9cm、茎部4.8cm以上を測る。鏃身部は二段 になり、共に片丸両刃。長頸箆被柳葉式の変化。関はない。 棘箆被を有す。	茎部に木質残る。
	299	C-303	鏃	16.8	0.9	0.5	鏃身長3.0cm、箆被部8.0cm、茎部5.8cmを測る。片丸両刃、長頸箆 被柳葉式。関はない。関箆被を有す。	
	300	C-301	鏃	15.4	0.8	0.2	鏃身長2.0cm、箆被部8.3cm、茎部5.1cm以上を測る。両丸両刃、長 頸箆被柳葉式。関はない。棘箆被を有す。	木製の矢柄に樹皮 を巻いて装着。
	301	C-306	鏃	10.1※	0.5	0.3	鏃身と箆被部の一部を欠く。断面長方形。やや広がる関箆被を有 す。	
	302	C-309	鏃	8.6※	0.5	0.3	箆被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。やや広がる関箆被 を有す。	
	303	C-340	鏃	7.9※	0.5	0.4	箆被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。棘箆被を有す。	
	304	C-311	鏃	7.6※	0.4	0.3	箆被部から茎部にかけての残欠。断面長方形。やや広がる関箆被 を有す。	
	305	C-350	鏃	1.9※	0.4	0.4	茎部のみ。断面方形。	木質が残る。
	306	C-315	鏃	6.2※	0.8	0.3	鏃身部から箆被部にかけての残欠。先端を欠く。鏃身長1.2cm以 上。片丸両刃、三角形狭鋒長頸箆被式か。	
	307	C-315	鏃	4.3※	0.8	0.2	鏃身部から箆被部にかけての残欠。鏃身長2.8cm。片丸両刃、長頸 箆被柳葉式か。	
	308	C-257	鏃	3.9※	0.9	0.2	鏃身部のみ。片丸両刃。	

※は残存値

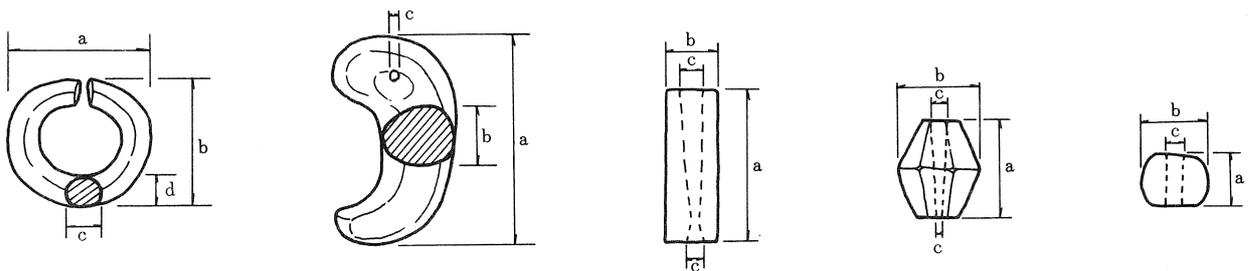
玉類観察表

出土遺構	遺物 番号	種 類	取上 番号	a	b	c	材 質	色 調	出土遺構	遺物 番号	種 類	取上 番号	a	b	c	材 質	色 調
				(mm)									(mm)				
B-1号	331	勾玉	80	28.4	7.7	3.0-1.1	メノウ	黄茶	B-1号	385	小玉	134	2.0	3.8	1.1	ガラス	青緑
B-1号	332	勾玉	115	30.8	8.0	2.5-1.6	碧玉	濃緑	B-1号	386	小玉	134	1.9	4.2	1.5	ガラス	淡青
B-1号	333	勾玉	88	27.9	7.5	2.9-1.4	メノウ	淡黄茶乳白	B-1号	387	小玉	134	3.8	3.7	1.2	ガラス	淡青
B-1号	334	勾玉	116	34.4	10.0	2.9-1.4	メノウ	赤茶	B-1号	388	小玉	134	1.8	3.9	1.2	ガラス	淡青
B-1号	335	勾玉	117	24.1	7.0	2.7-1.0	メノウ	淡黄茶	B-1号	389	小玉	134	2.6	4.0	1.5	ガラス	淡青
B-1号	336	管玉	90	25.3	8.3	3.9-2.7	碧玉	濃緑	B-1号	390	小玉	134	2.3	3.7	1.2	ガラス	淡青
B-1号	337	切子玉	91	16.2	13.2	3.5-1.3	水晶	透明	B-1号	391	小玉	134	1.0	3.4	1.1	ガラス	青緑
B-1号	338	切子玉	92	13.8	11.6	3.3-2.2	水晶	透明	B-1号	392	小玉	134	2.7	4.0	1.3	ガラス	濃青
B-1号	339	切子玉	128	21.5	15.3	3.4-1.5	水晶	透明	B-1号	393	小玉	134	2.6	4.2	1.3	ガラス	濃青
B-1号	340	切子玉	94	12.2	10.3	2.7-1.5	水晶	透明	B-1号	394	小玉	134	2.6	3.9	1.3	ガラス	濃青
B-1号	341	切子玉	112	12.3	8.4	4.4-1.6	水晶	透明	B-1号	395	小玉	134	2.0	3.2	1.7	ガラス	暗青
B-1号	342	切子玉	120	13.0	11.3	3.2-1.4	水晶	透明	B-1号	396	小玉	134	2.0	3.2	1.5	ガラス	暗青
B-1号	343	切子玉	121	9.4	8.5	2.7-1.2	水晶	透明	B-1号	397	小玉	134	2.2	3.8	1.0	ガラス	暗青
B-1号	344	切子玉	123	11.3	9.9	3.4-2.2	水晶	透明	B-1号	398	小玉	134	2.9	3.8	1.2	ガラス	濃緑
B-1号	345	切子玉	134	7.9	11.8	2.7-1.6	水晶	透明	B-1号	399	小玉	134	2.3	4.3	1.8	ガラス	淡青
B-1号	346	丸玉	95	8.9	12.7	3.7-1.6	水晶	透明	B-1号	400	小玉	134	2.0	3.3	1.4	ガラス	暗青
B-1号	347	小玉	87	10.8	7.9	2.1	ガラス	濃青	B-1号	401	小玉	137	2.7	4.0	1.8	ガラス	濃青
B-1号	348	小玉	89	8.0	9.5	1.8	ガラス	濃青	B-1号	402	小玉	138	2.0	3.8	1.0	ガラス	濃青
B-1号	349	小玉	93	8.8	8.5	2.3	ガラス	濃青	B-1号	403	小玉	139	2.9	4.0	1.0	ガラス	濃青
B-1号	350	小玉	113	5.5	7.6	1.6	ガラス	濃青	B-1号	404	小玉	140	2.9	3.6	1.0	ガラス	濃青
B-1号	351	小玉	118	—	7.4	2.5	ガラス	濃青	B-1号	405	小玉	141	2.2	—	1.5	ガラス	淡青
B-1号	352	小玉	119	5.4	7.6	1.6	ガラス	濃青	C-1号	406	切子玉	54	20.6	15.4	3.8-1.6	水晶	透明
B-1号	353	小玉	122	5.2	8.5	1.7	ガラス	濃青	C-1号	407	切子玉	104	21.5	15.4	3.8-1.1	水晶	透明
B-1号	354	小玉	124	4.6	8.3	2.1	ガラス	濃青	C-3号	408	勾玉	75	33.8	10.4	3.1-1.8	水晶	透明
B-1号	355	小玉	125	4.5	7.2	1.7	ガラス	濃青	C-3号	409	勾玉	76	33.4	9.8	3.2-1.4	水晶	透明
B-1号	356	小玉	126	6.3	8.4	2.8	ガラス	濃青	C-3号	410	勾玉	77	38.7	10.5	2.5-1.2	メノウ	黄茶~淡紫
B-1号	357	小玉	127	6.6	9.0	1.5	ガラス	濃青	C-3号	411	勾玉	78	33.4	9.4	2.7-1.2	メノウ	黄茶~乳白
B-1号	358	小玉	134	5.1	7.9	1.2	ガラス	濃青	C-3号	412	勾玉	79	30.2	9.1	2.8-1.2	メノウ	黄茶
B-1号	359	小玉	134	5.4	7.9	1.6	ガラス	濃青	C-3号	413	勾玉	80	35.9	9.9	3.1-1.0	メノウ	黄茶
B-1号	360	小玉	134	4.1	7.4	2.2	ガラス	濃青	C-3号	414	勾玉	91	32.1	10.5	2.6-1.5	メノウ	黄茶
B-1号	361	小玉	134	4.3	7.2	1.3	ガラス	濃青	C-3号	415	管玉	81	28.8	10.5	3.0-2.5	碧玉	明緑
B-1号	362	小玉	134	5.9	7.8	1.8	ガラス	濃青	C-3号	416	小玉	96	5.8	7.5	1.3	?	黒
B-1号	363	小玉	134	5.5	6.4	1.6	ガラス	濃青	C-4号	417	丸玉	145	10.4	12.9	2.9-1.9	水晶	透明
B-1号	364	小玉	135	6.2	7.3	1.6	ガラス	濃青	C-4号	418	小玉	145	6.7	6.9	1.3	ガラス	濃青
B-1号	365	小玉	136	6.0	8.8	1.8	ガラス	濃青	C-4号	419	小玉	144	3.5	4.7	1.6	ガラス	淡緑青
B-1号	366	小玉	145	3.7	—	—	ガラス	濃青	C-4号	420	小玉	144	3.7	5.5	1.5	ガラス	淡青
B-1号	367	小玉	130	2.4	4.1	1.0	ガラス	濃青	C-4号	421	小玉	144	3.5	5.3	1.6	ガラス	濃青
B-1号	368	小玉	131	2.9	4.2	1.2	ガラス	濃青	C-4号	422	小玉	149	3.1	4.8	1.0	ガラス	濃青
B-1号	369	小玉	134	2.6	3.8	1.0	ガラス	濃青	C-4号	423	小玉	149	2.7	5.7	1.7	ガラス	濃青
B-1号	370	小玉	134	2.1	4.6	1.2	ガラス	濃青	C-4号	424	小玉	149	2.3	4.2	1.0	ガラス	淡青
B-1号	371	小玉	134	2.1	5.0	1.4	ガラス	濃青	C-4号	425	土玉	149	4.4	—	1.0	土製	暗茶褐
B-1号	372	小玉	134	2.0	4.0	1.0	ガラス	濃青	C-4号	426	土玉	149	4.4	4.6	1.2	土製	暗茶褐
B-1号	373	小玉	134	1.8	3.3	1.2	ガラス	暗青	C-4号	427	土玉	149	5.8	—	—	土製	暗茶褐
B-1号	374	小玉	134	1.9	3.6	1.5	ガラス	青緑	C-4号	428	土玉	149	5.6	—	—	土製	暗茶褐
B-1号	375	小玉	134	2.8	4.3	1.2	ガラス	濃青	C-4号	429	土玉	201	5.8	6.4	0.8	土製	暗茶褐
B-1号	376	小玉	134	2.0	3.6	1.0	ガラス	濃青	C-4号	430	土玉	201	4.7	5.2	0.8	土製	暗茶褐
B-1号	377	小玉	134	2.8	3.8	1.2	ガラス	濃青	C-4号	431	土玉	201	—	6.0	—	土製	暗茶褐
B-1号	378	小玉	134	1.1	4.7	1.4	ガラス	濃青	C-4号	432	土玉	201	—	—	2.7-1.1	土製	暗茶褐
B-1号	379	小玉	134	1.8	3.2	1.0	ガラス	青緑	C-7号	433	管玉	280	24.1	8.2	2.7-1.1	碧玉	濃緑
B-1号	380	小玉	134	2.4	3.8	1.2	ガラス	青緑	C-7号	434	勾玉	278	37.4	11.0	2.6-1.8	メノウ	黄茶
B-1号	381	小玉	134	2.9	4.0	1.0	ガラス	濃青	C-7号	435	勾玉	279	34.5	9.4	3.1-1.5	碧玉	濃緑
B-1号	382	小玉	134	1.9	3.7	1.1	ガラス	濃青	C-7号	436	丸玉	338	8.6	11.2	2.9	火成岩	淡黒
B-1号	383	小玉	134	2.0	3.5	1.2	ガラス	青緑	C-7号	437	丸玉	338	8.5	10.0	3.5-2.8	ガラス	黄白
B-1号	384	小玉	134	1.0	4.1	1.9	ガラス	濃青									

耳環観察表

出土遺構	遺物 番号	取上 番号	a	b	c	d	材質 備考	出土遺構	遺物 番号	取上 番号	a	b	c	d	材質 備考
			(mm)								(mm)				
B-1号	309	B-96	27.7	25.5	8.5	6.1	銅環に銀鍍金	C-3号	320	C-90	29.6	25.8	6.1	6.2	銅環
B-1号	310	B-129	(27.5)	25.5	8.0	6.1	銅環に銀鍍金 腐蝕著しい	C-4号	321	C-204	(30.0)	(25.8)	(6.4)	(7.0)	銅環に銀鍍金 腐蝕著しい
B-2号	311	B-40	(29.2)	(24.4)	(5.2)	(5.5)	銅環 腐蝕著しい	C-4号	322	C-211	29.3	(26.9)	8.2	7.1	銅環に銀鍍金 腐蝕著しい
B-2号	312	B-73	31.2	27.9	7.2	7.4	銅環	C-6号	323	C-24	(25.5)	(22.1)	5.3	5.4	銅環に銀鍍金 腐蝕著しい
C-1号	313	C-42	19.7	17.5	5.1	3.5	銅環に金鍍金	C-6号	324	C-69	25.9	23.7	5.5	5.4	銅環に銀鍍金
C-1号	314	C-43	19.2	17.1	4.9	3.4	銅環に金鍍金	C-7号	325	C-276	23.0	21.2	6.4	4.7	銅環に銀鍍金
C-1号	315	C-44	25.9	23.8	8.0	5.6	銅環に金鍍金	C-7号	326	C-295	22.1	21.2	6.5	4.5	銅環に金鍍金
C-1号	316	C-45	25.4	23.5	7.8	5.5	銅環に金鍍金	C-7号	327	C-292	23.9	22.1	6.5	5.2	銅環に金鍍金
C-1号	317	C-52	22.1	20.7	7.1	4.7	銅環に金鍍金	C-7号	328	C-277	25.6	23.2	6.6	5.8	銅環に金鍍金
C-1号	318	C-55	21.8	20.4	6.8	4.5	銅環に金鍍金	C-8号	329	C-299	34.3	31.5	9.8	9.1	大型中空 銅環に金鍍金
C-3号	319	C-74	29.5	26.0	6.4	6.2	銅環	C-8号	330	C-300	34.8	31.9	9.8	9.0	大型中空 銅環に金鍍金

玉類・耳環計測箇所

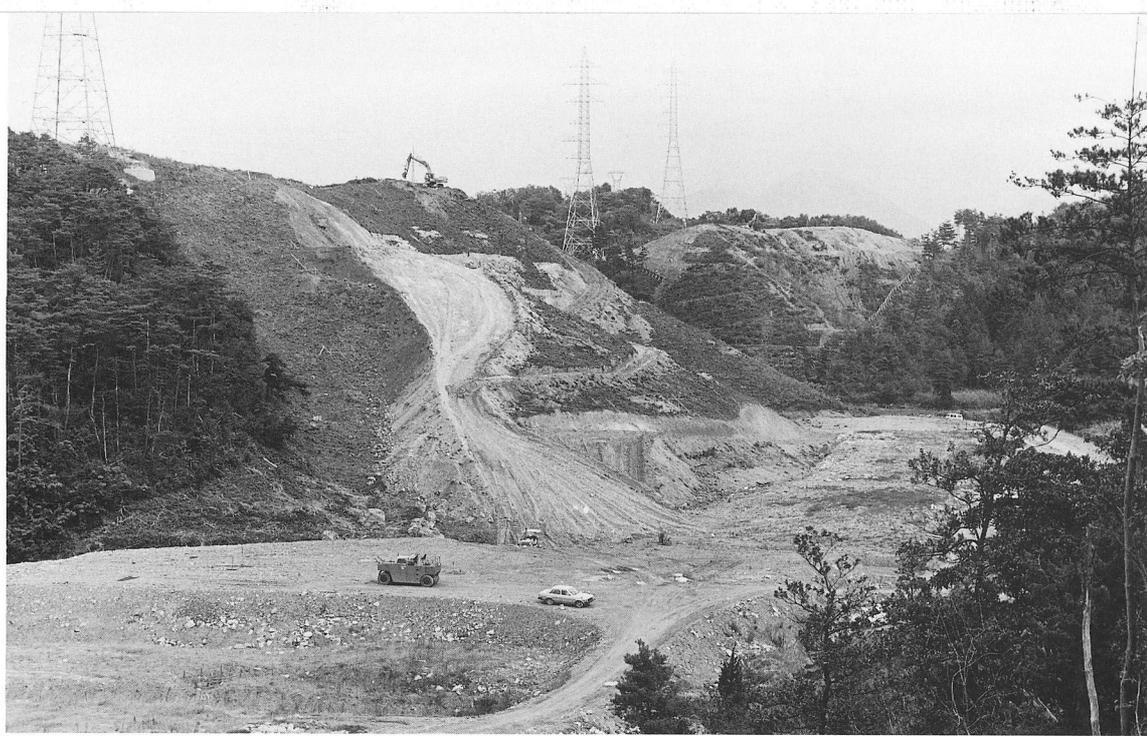


補遺 〈耳環金属鑑定について〉

大塚山B-2号横穴墓出土の耳環（遺物番号311）について、日立金属株式会社和鋼記念館・冶金研究所の協力を得て、急遽、金属鑑定を行なった。短時間に行なったため正確を期しがたい点もあるが、走査型顕微鏡を用いた分析によると、純粋な銅（Cu）地金に、銀（Ag）鍍金を行なっているという結果が得られた。無理なお願いを聞いていただいた同記念館・佐藤豊副館長および同研究所・瀬崎博史主任に改めて謝意を表します。

版 图

图版 1



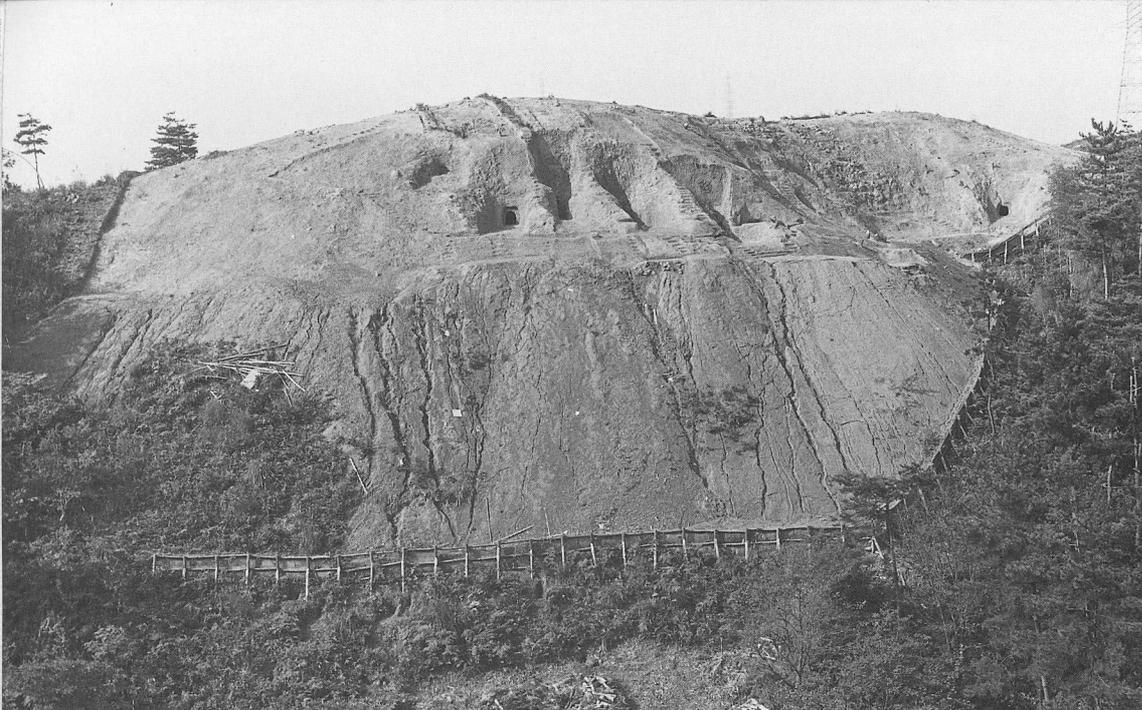
大塔山横穴墓群全景



A区遠景



B区遠景



C区遠景



C-Ⅱ小支群遠景



C-Ⅲ小支群遠景

图版 3



A-1号横穴完掘状况



土层断面



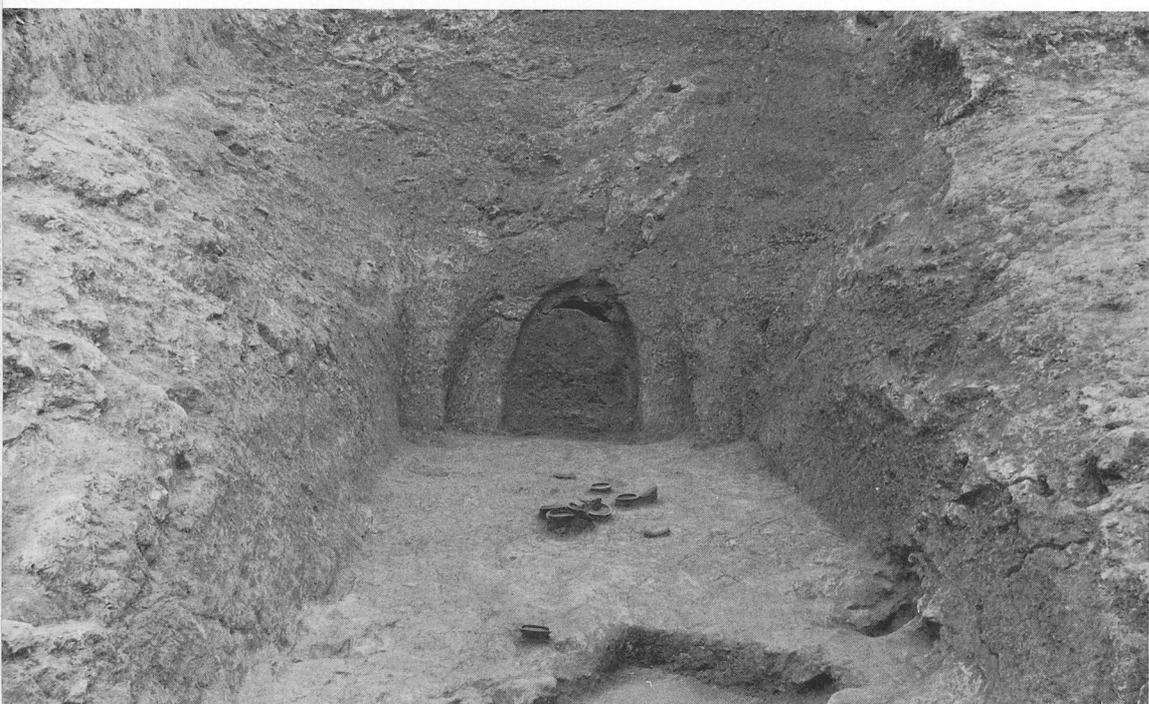
掘削工具痕



A-2号横穴墓
完掘状况



土层断面



前庭遺物出土状况

図版 5



A-2号横穴墓
前庭遺物出土状況



玄門(玄室内より)



玄室内排水溝
掘削工具痕

図版 6

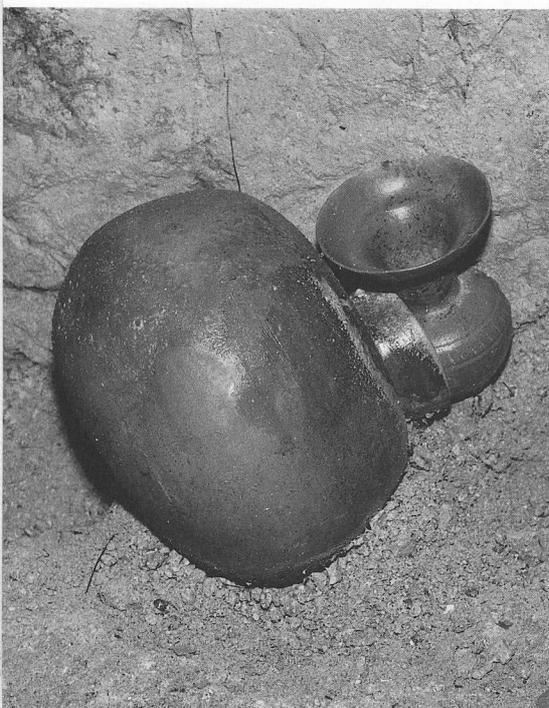


A-2号横穴墓玄室内
人骨出土状況



須恵器屍床

遺物出土状況
左—平瓶と甕の組み合わせ
右—直刀
↓



図版 7



B-1号横穴墓
完掘状況



閉塞押さえ石



前庭遺物出土状況



B-1号横穴墓
玄門・玄室内
遺物出土状況

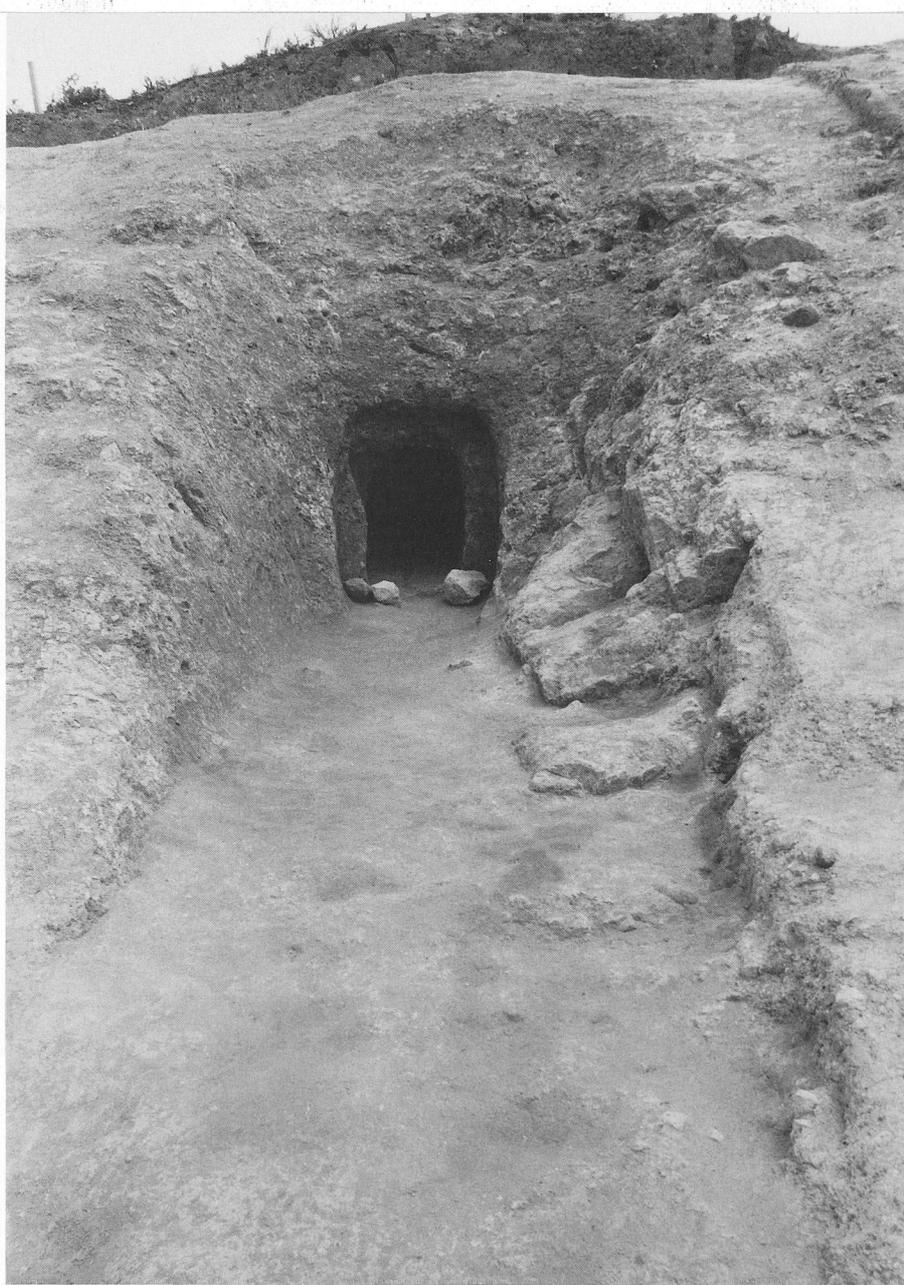


玄室内遺物出土状況
須恵器屍床

玄室内
玉類・耳環出土状況
↓



図版 9



B-2号横穴墓完掘状況

玄門・閉塞押さえ石

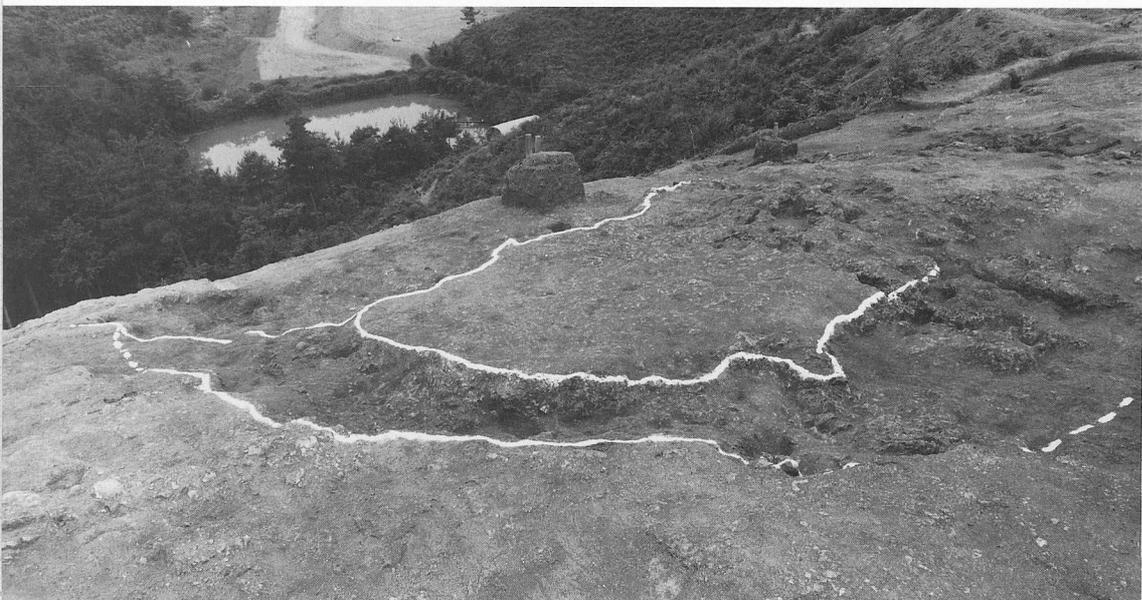




B-2号横穴墓
前庭遺物



後背周溝・盛土墳丘
土層断面



後背周溝・テラス
完掘状況

図版11



B-2号横穴墓玄室内
礫床と遺物出土状況



棺台と遺物出土状況



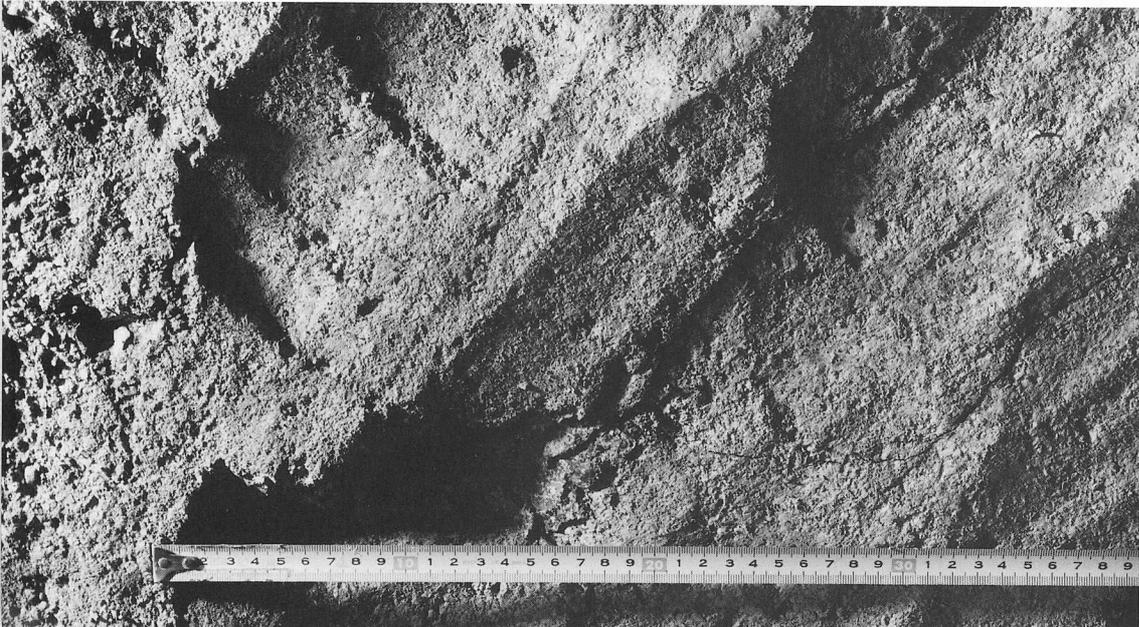
B-3号横穴完掘状況



C-1号横穴墓
完掘状况

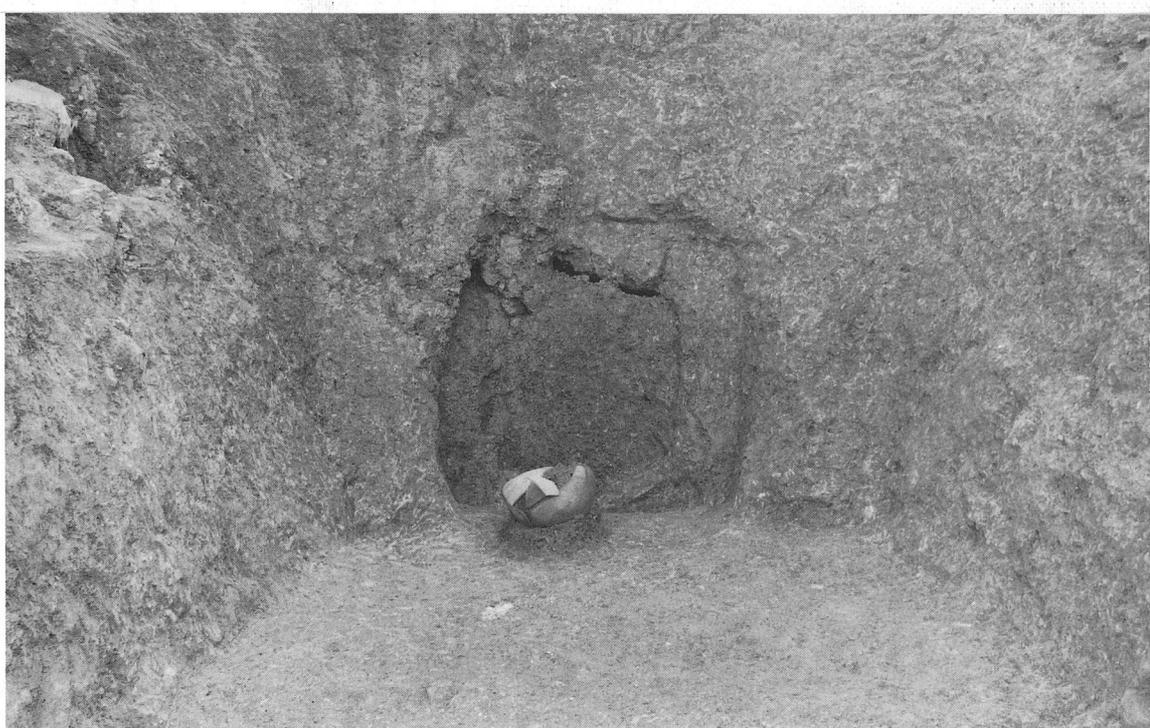


玄室奥壁



玄室侧壁
掘削工具痕

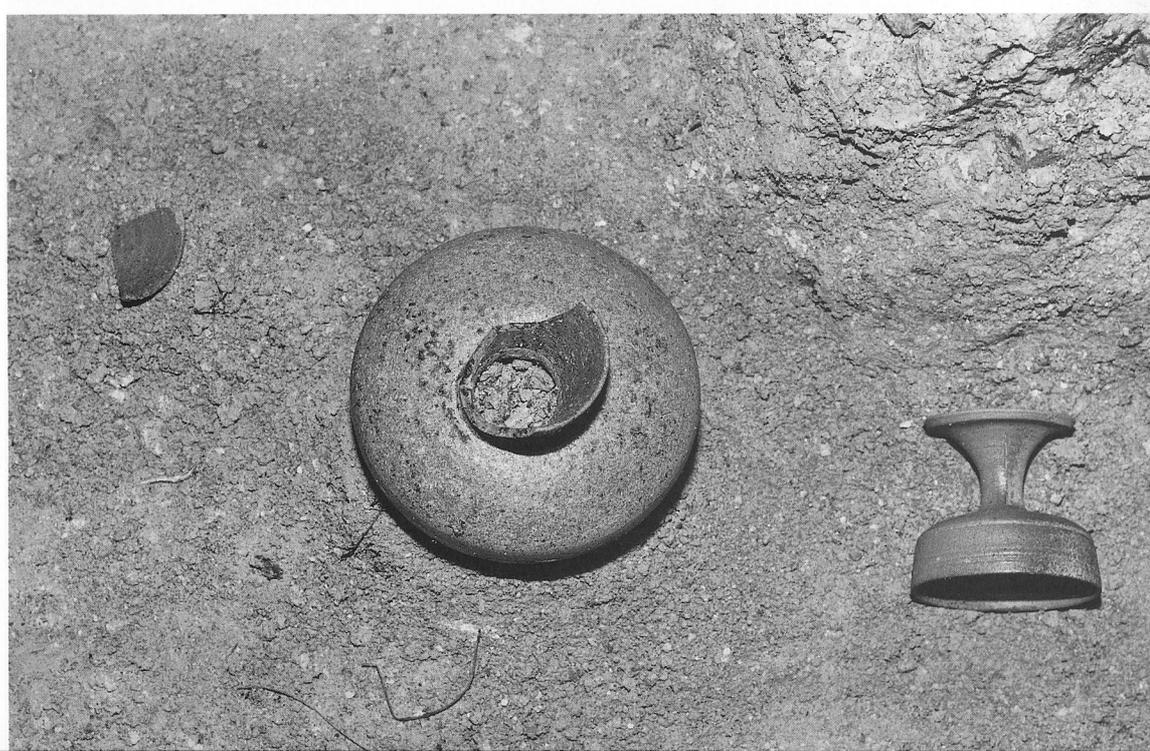
図版13



C-1号横穴墓羨道部
平瓶出土状況



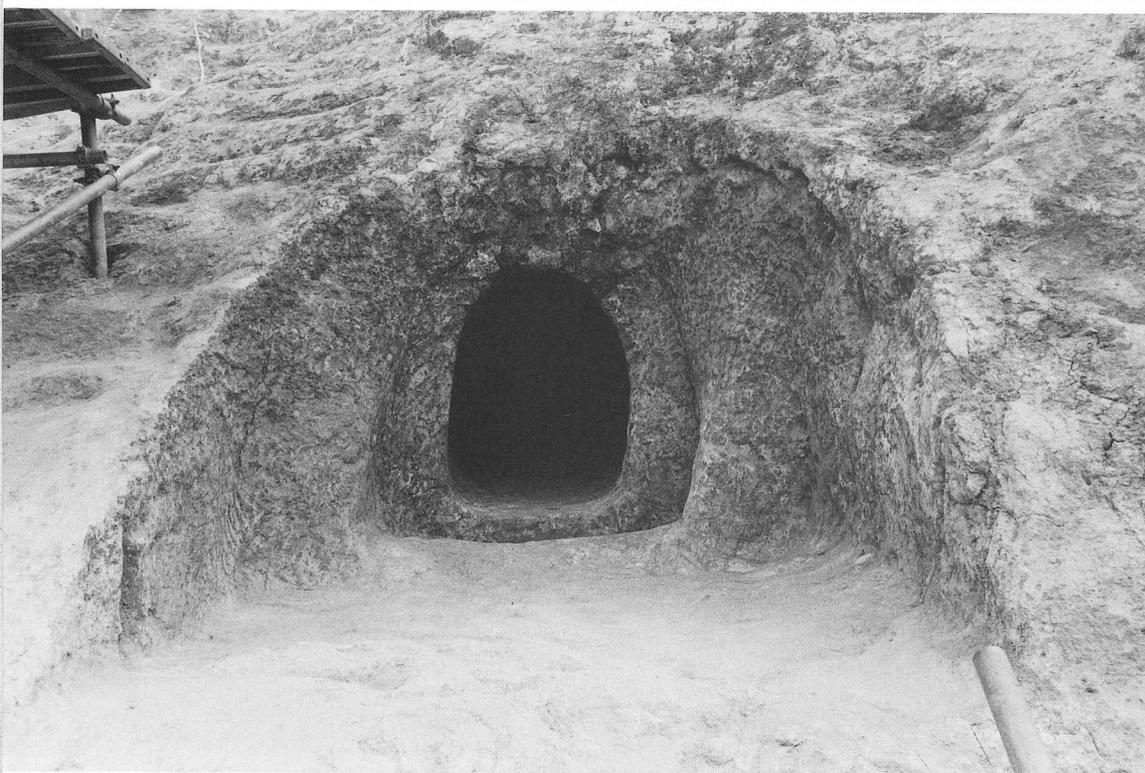
玄室内
礫床・人骨・遺物
出土状況



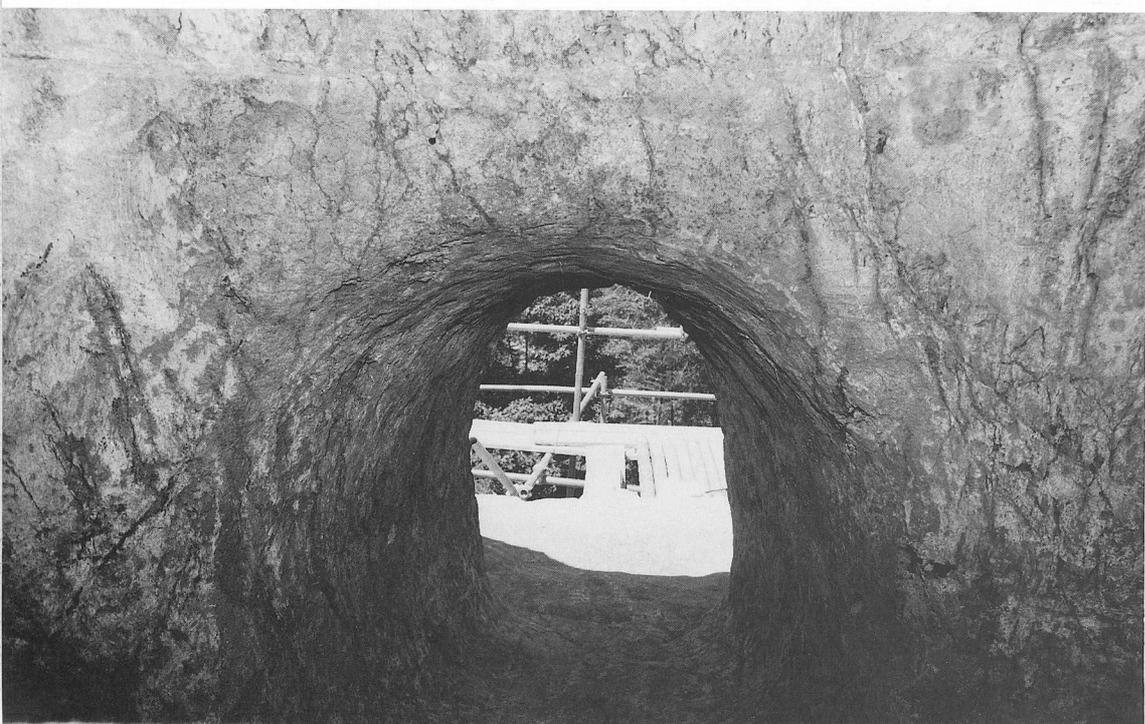
玄室内
遺物出土状況



C-2号横穴完掘状況



C-3号横穴墓
完掘状況



玄門・前壁
(玄室内より)

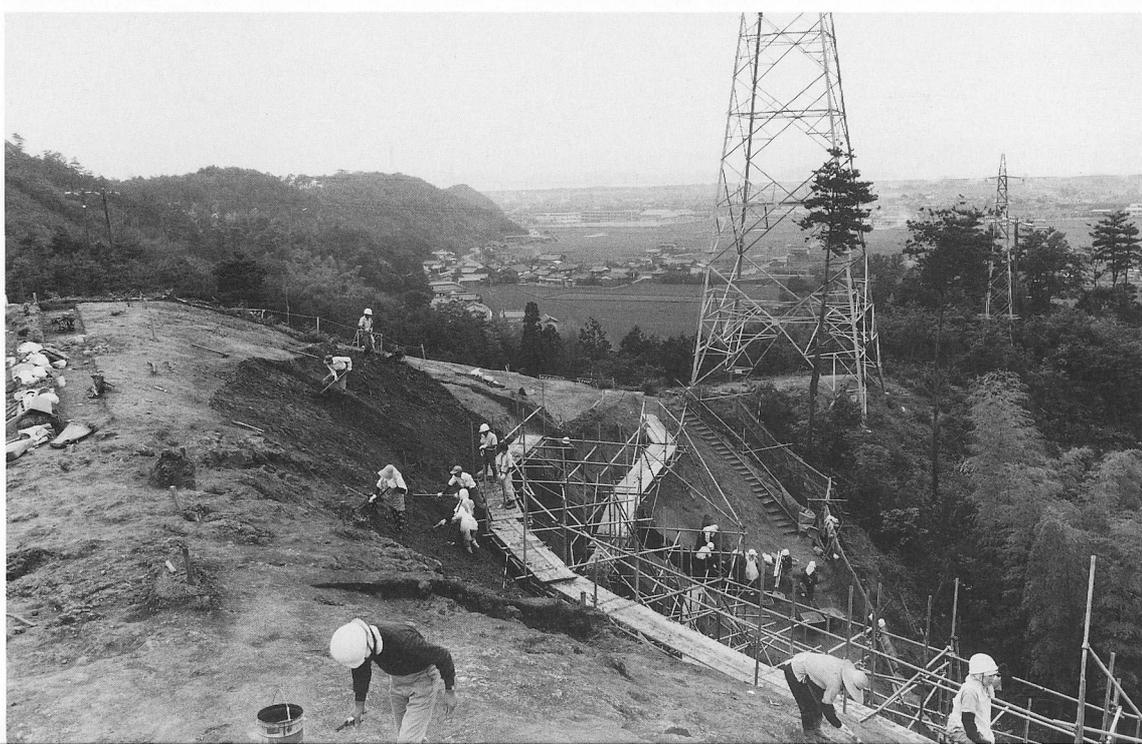
図版15



C-3号横穴墓玄室内
遺物出土状況



遺物出土状況



C区北側斜面
保安足場



C-4号横穴墓
完掘状况



↑
前庭遺物
出土状况



玄室内
遺物出土状况

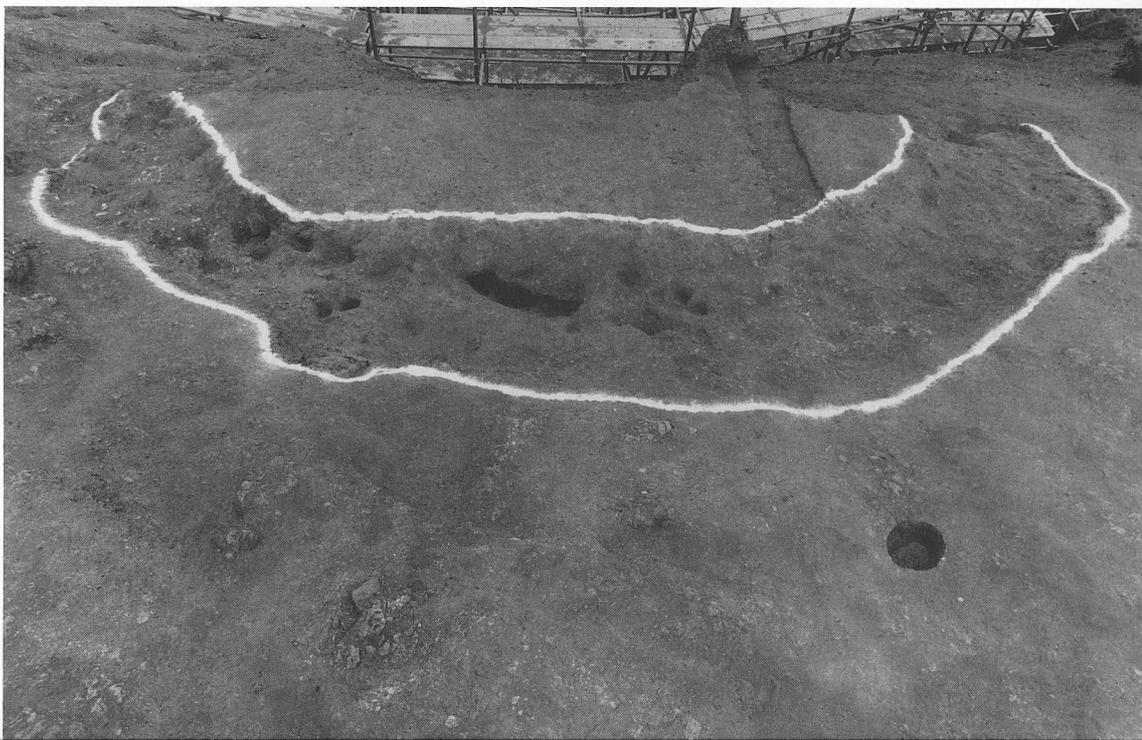
図版17



C-4号横穴墓玄室内
遺物出土状況



玄室内
遺物出土状況



後背周溝完掘状況



C-5号横穴墓
完掘状况

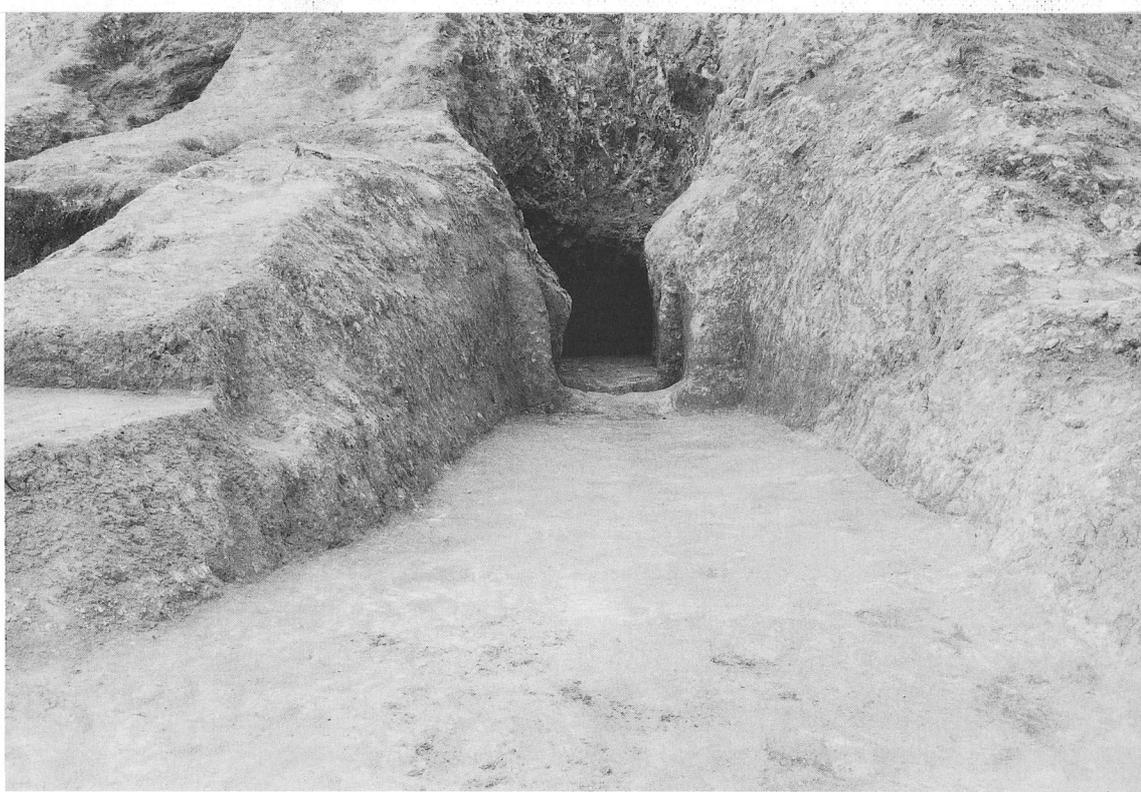


土层断面



不明遺構

図版19



C-6号横穴墓
完掘状況



前庭遺物出土状況



閉塞押さえ石

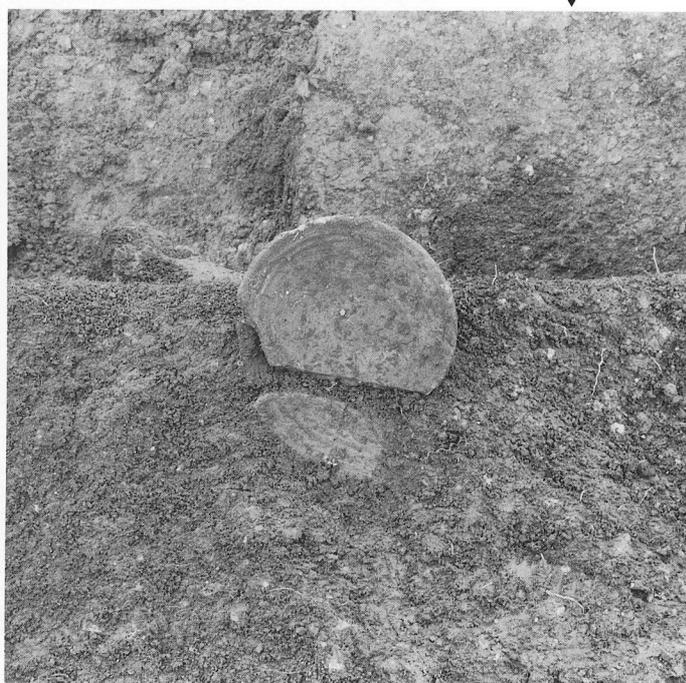


C-6号横穴墓
玄室完掘状況



玄室内
遺物出土状況

遺物出土状況



图版21



C-7号横穴墓
完掘状况



前庭土层断面及び
遺物出土状况



前庭遺物出土状况



C-7号横穴墓玄室内
遗物出土状况

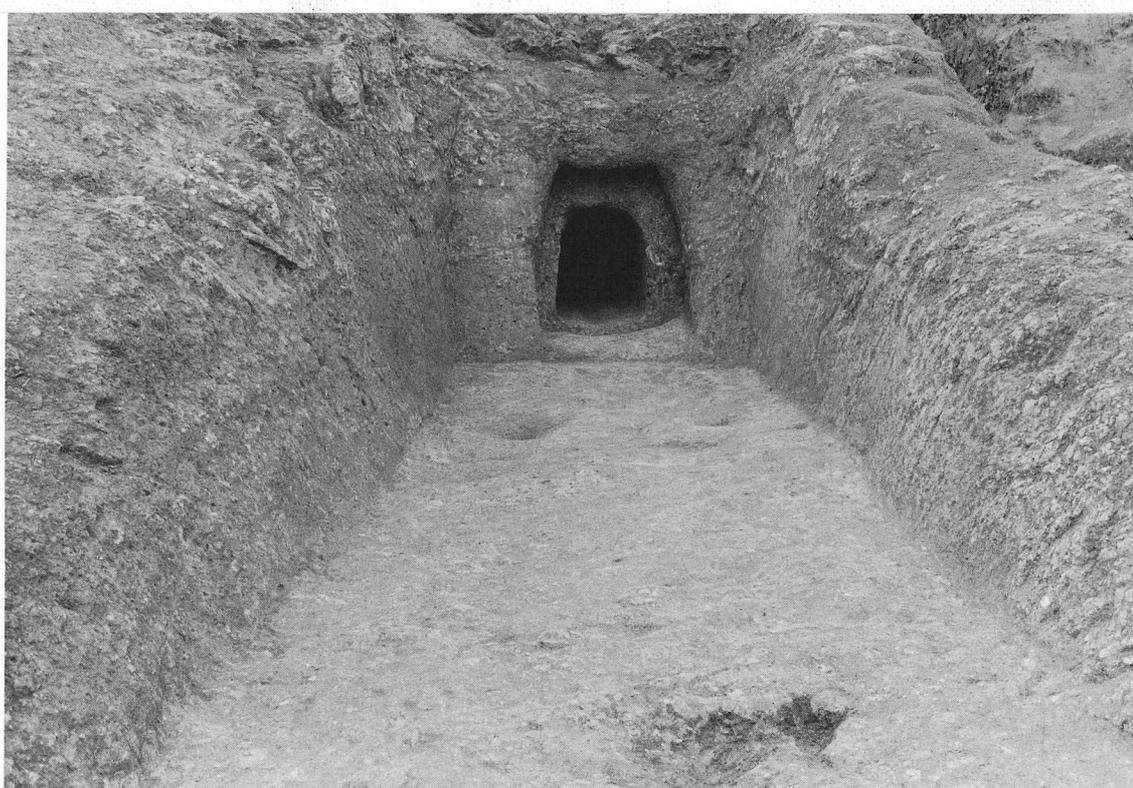


玄室内
遗物出土状况



玄室内
遗物出土状况

図版23



C-8号横穴墓
完掘状況



羨道部及び玄門



前庭遺物出土状況



C-8号横穴墓玄室奥壁



玄室内
須惠器屍床・人骨出土狀況

图版25

C-8号横穴墓
玄室内須恵器屍床
遺物出土状况



玄室内須恵器屍床
遺物出土状况



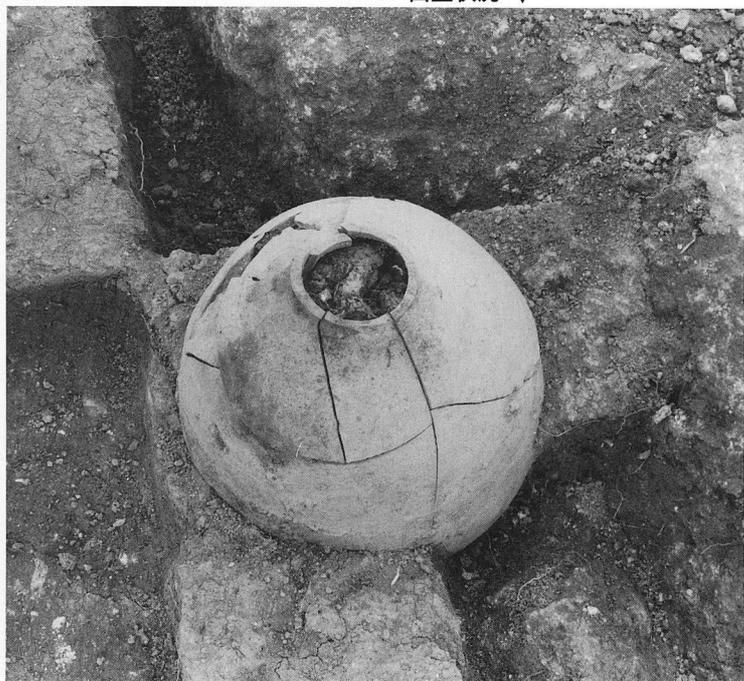
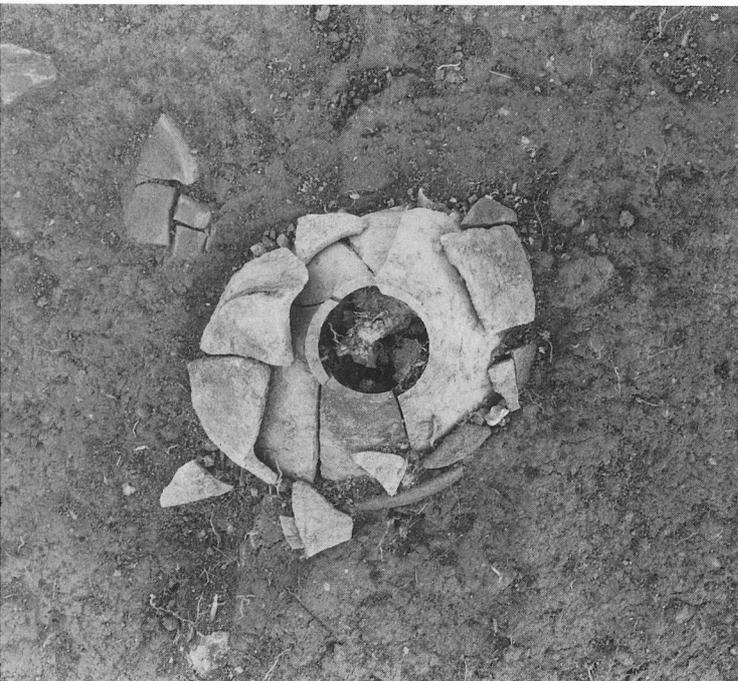
C-9号横穴
完掘状况



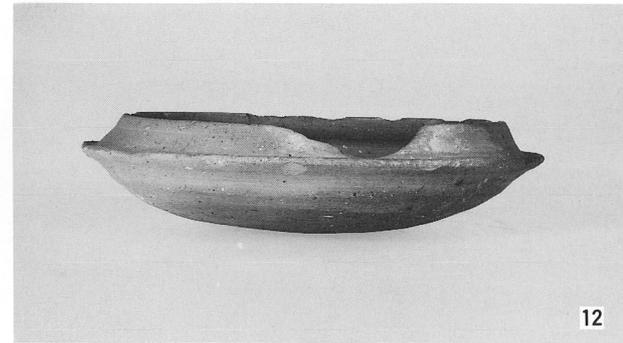
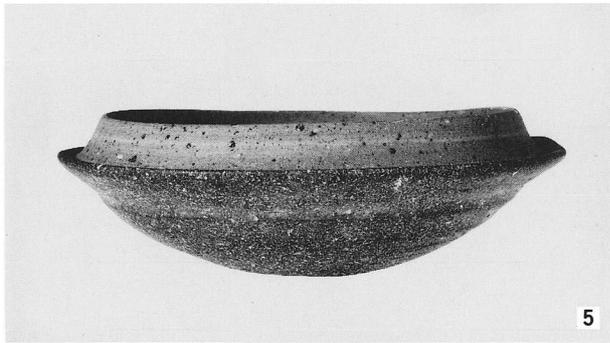
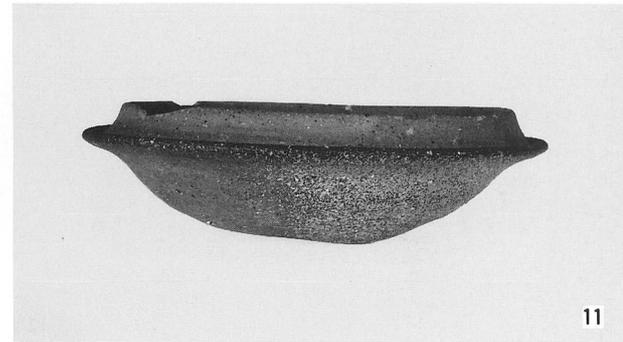
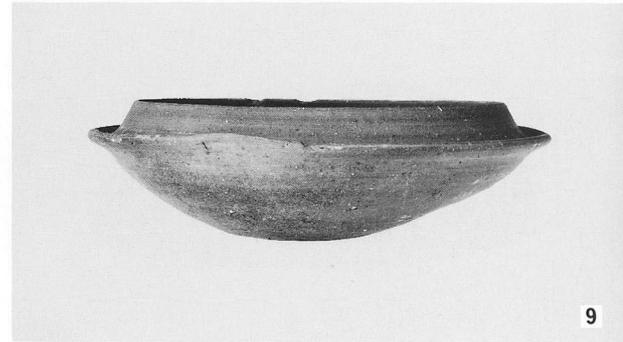
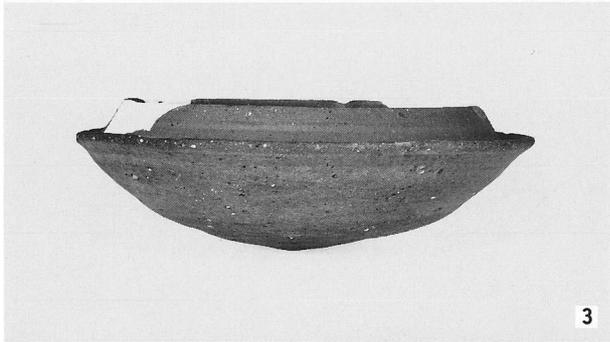
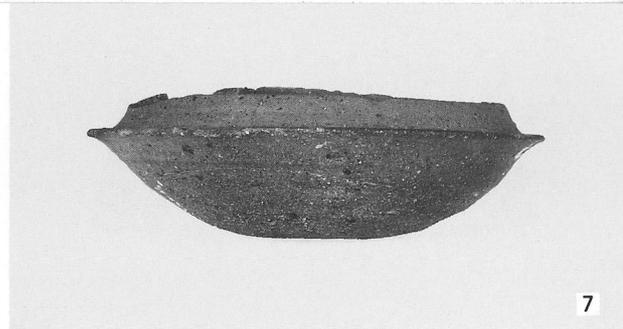


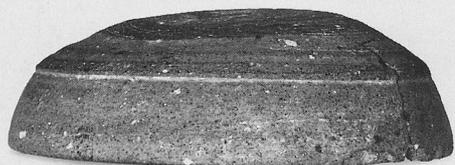
不明遺構 1

B区頂部平安時代土器
出土状況 ↓

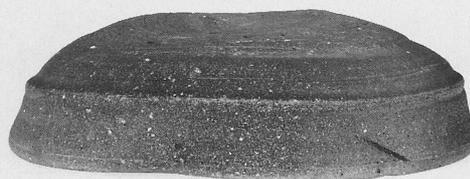


不明遺構 2





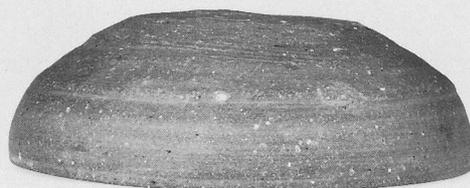
16



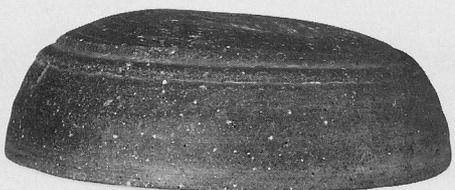
20



17



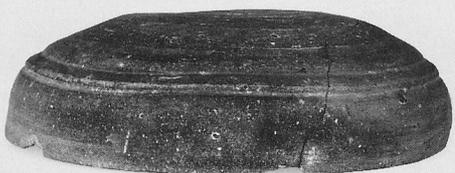
21



18



22



19



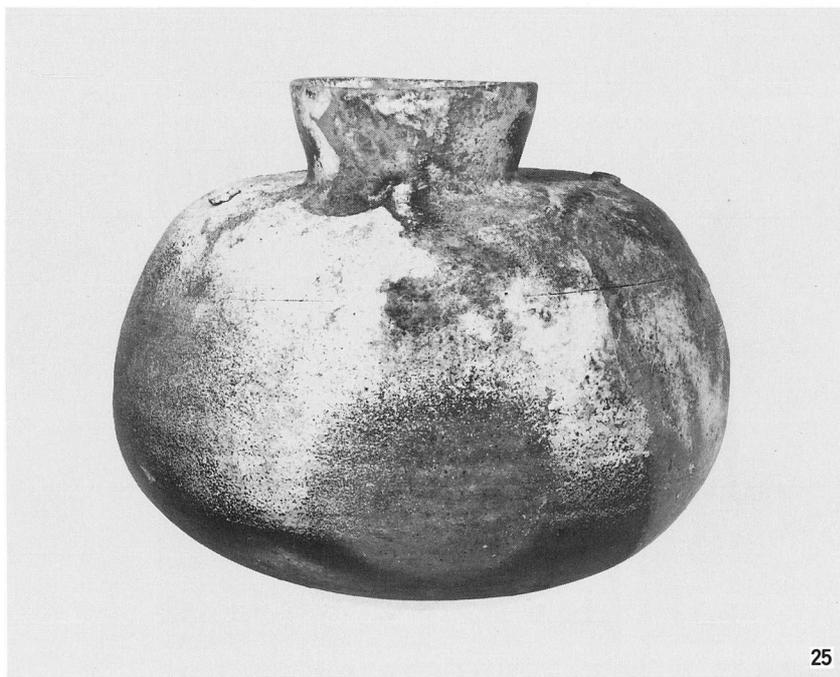
23



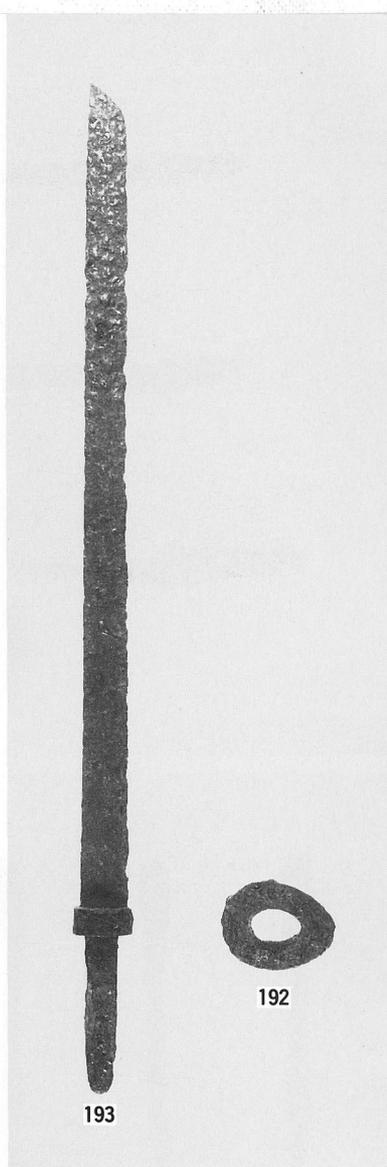
24



25

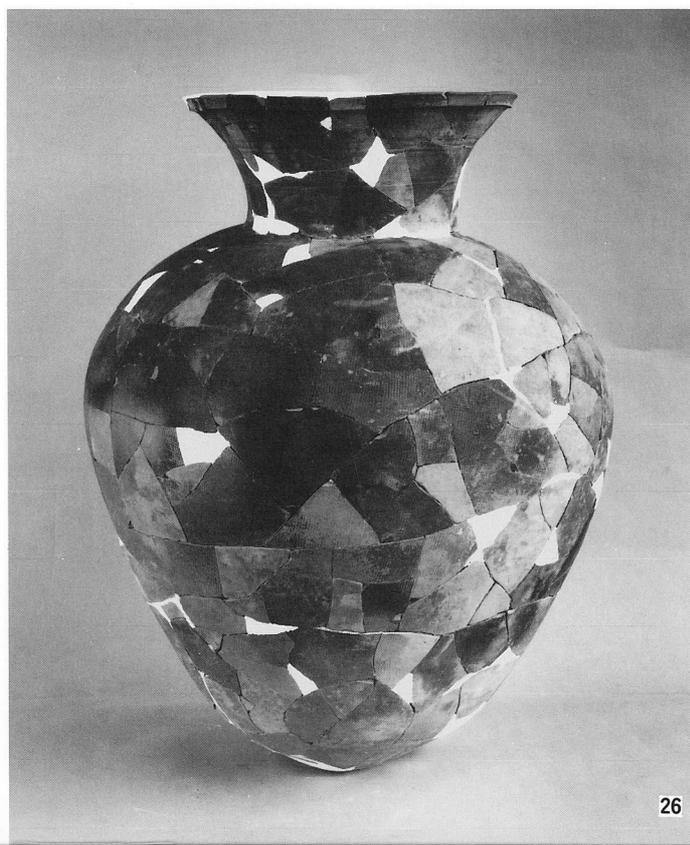


25



193

192



26



27



171



172



173



174



175



176



177



178



179



180



181



182



183



184



185



186



187



188



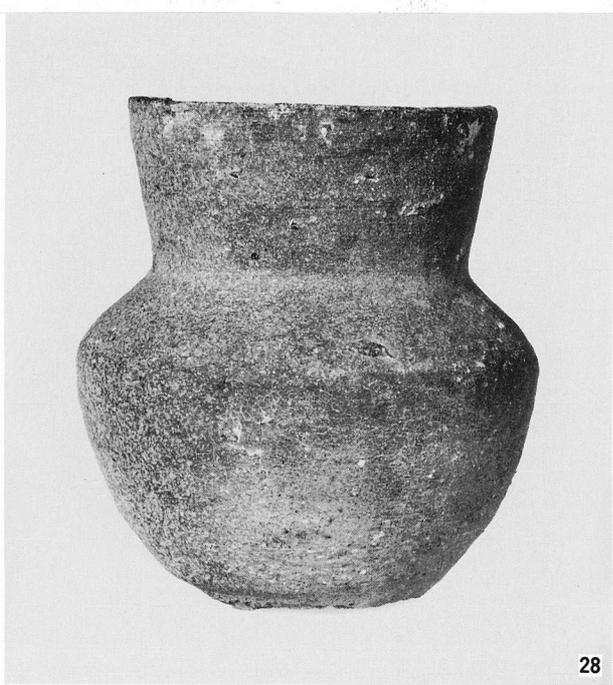
189



190



191



28



31



29



32



30



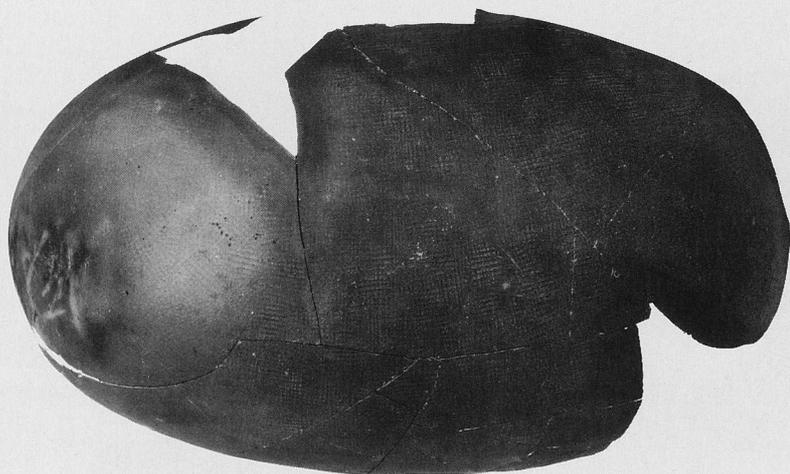
33



34



34



35



194



309



310

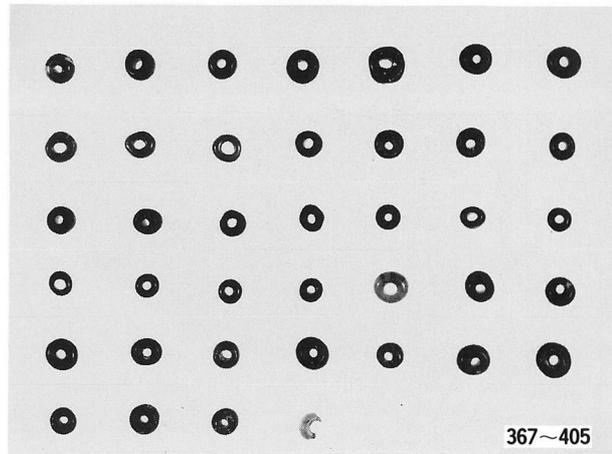
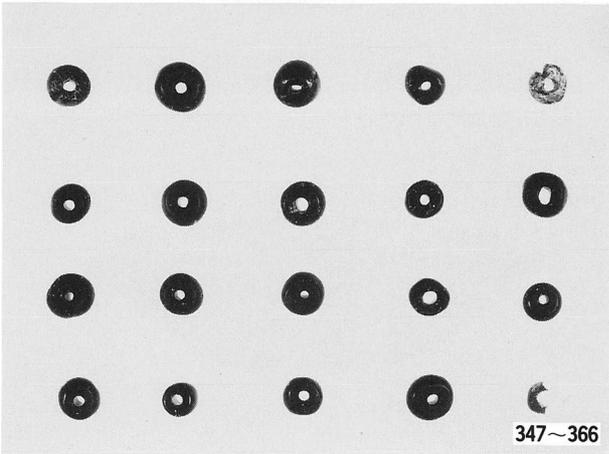
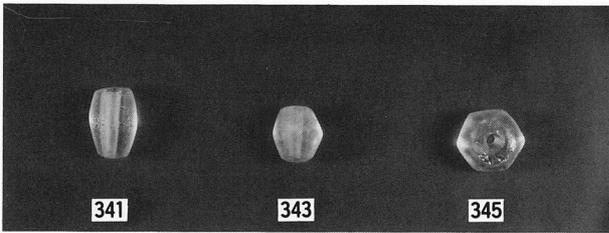
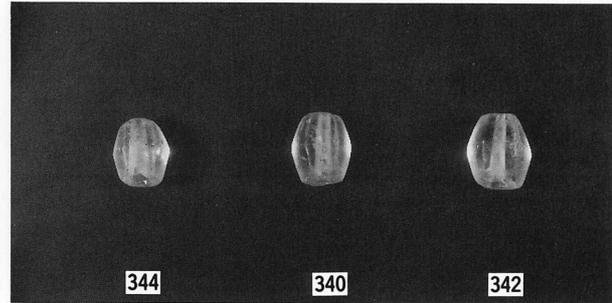
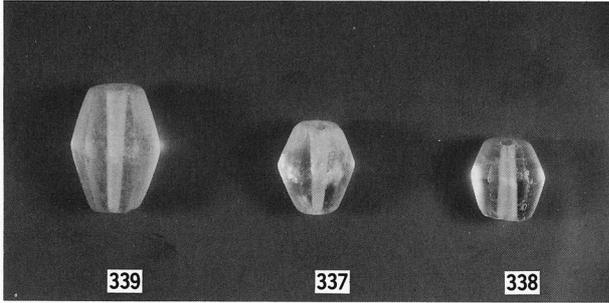
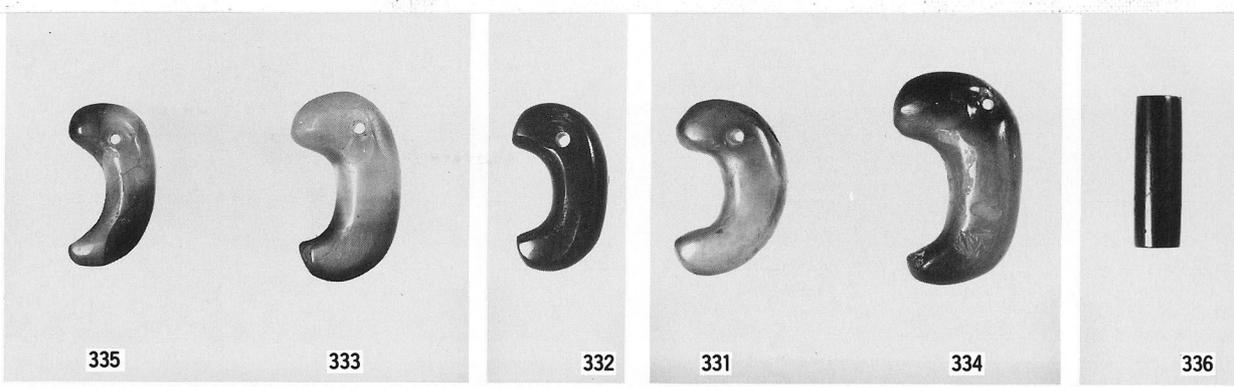


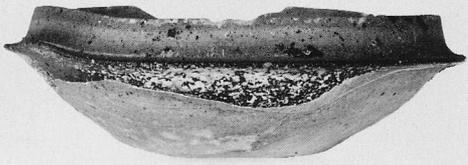
35



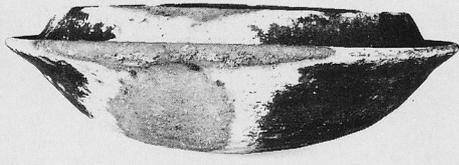
36

图版33

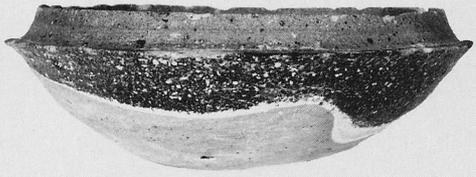




37



43



38



44



39



45



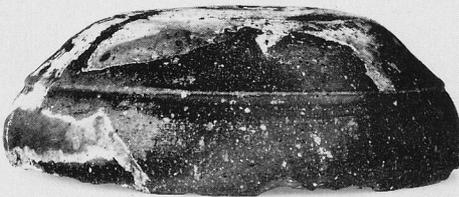
40



46



41



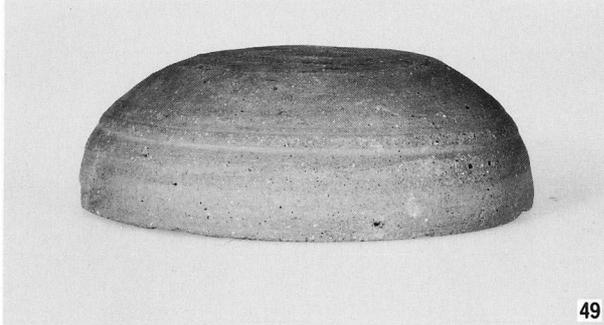
47



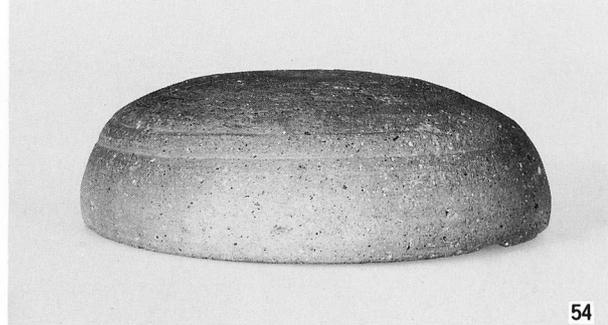
42



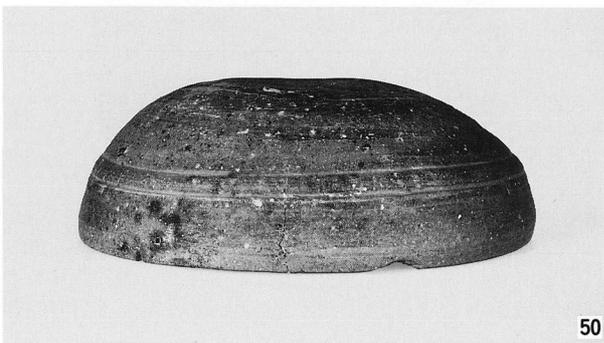
48



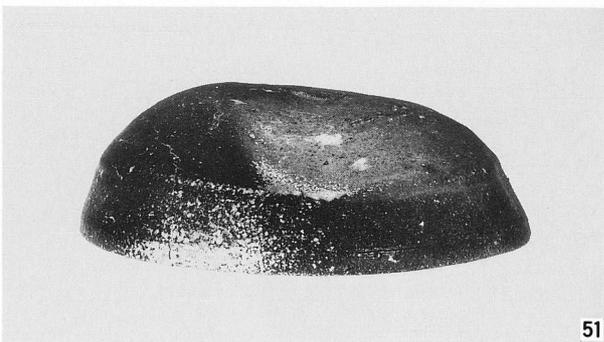
49



54



50



51



52



53



55



56



57



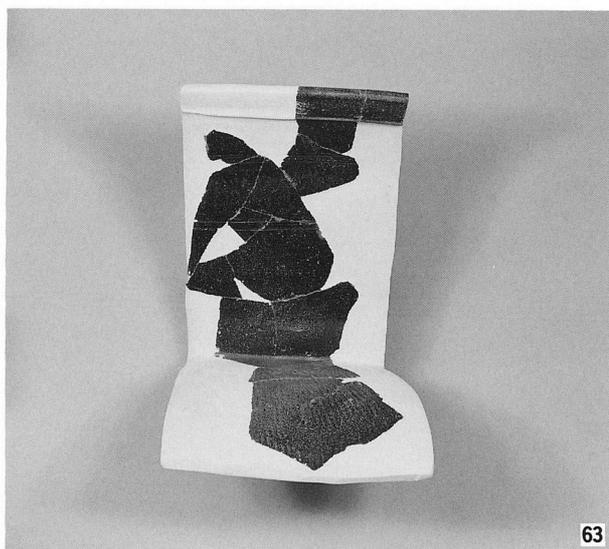
58



62



59



63



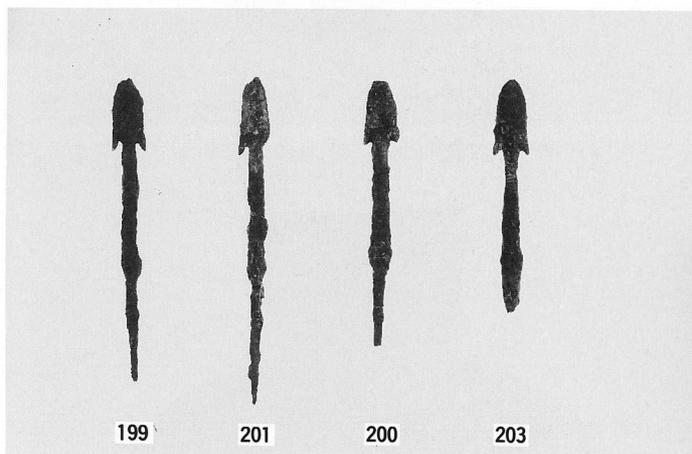
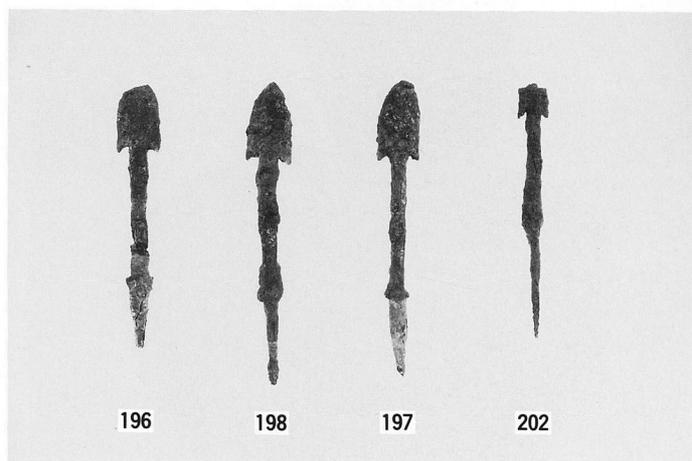
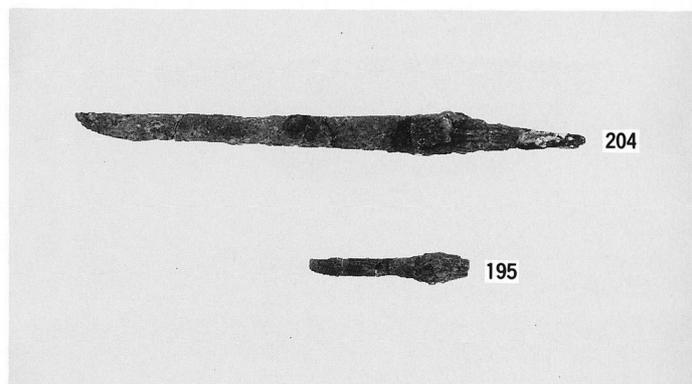
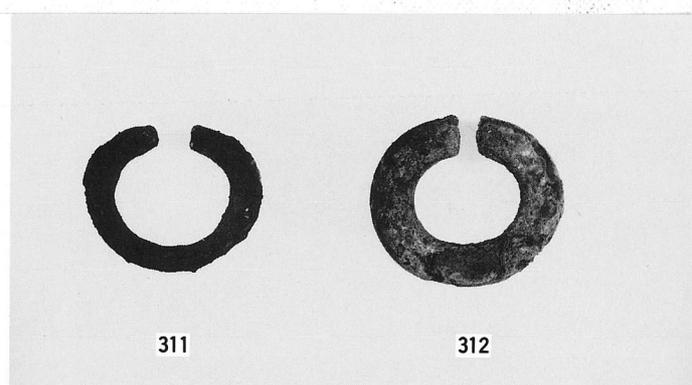
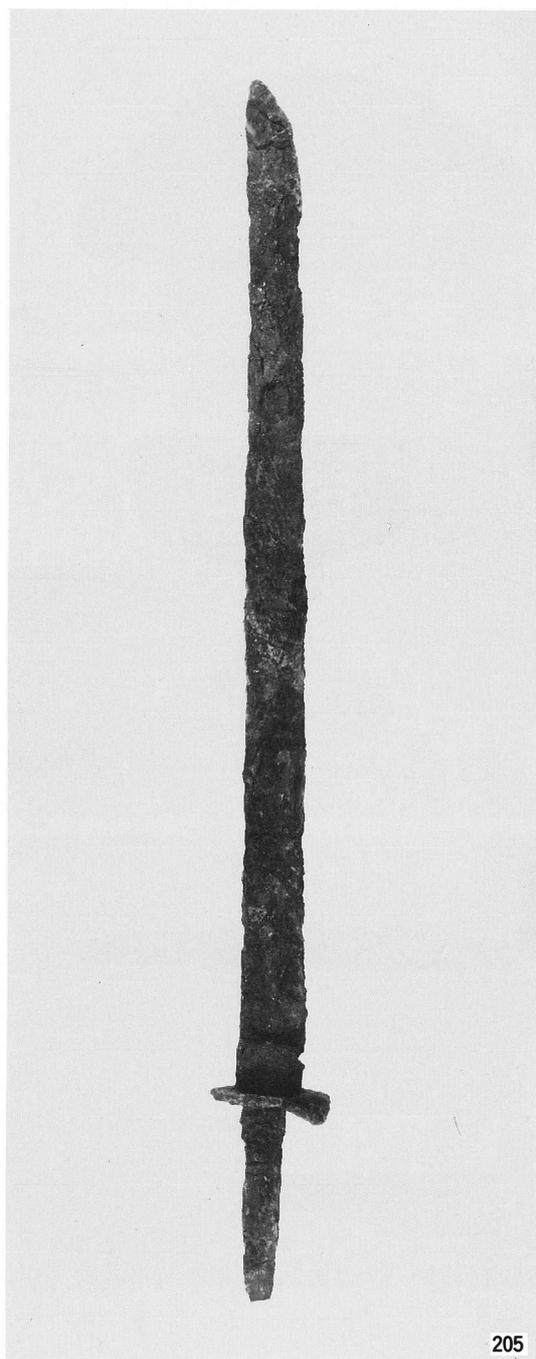
60

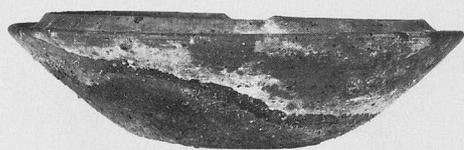


63



61





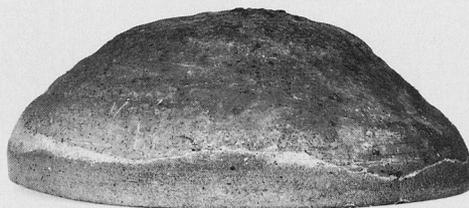
65



68



66



69



71



70



206



207



208



71

图版39



313



314



317



318



315



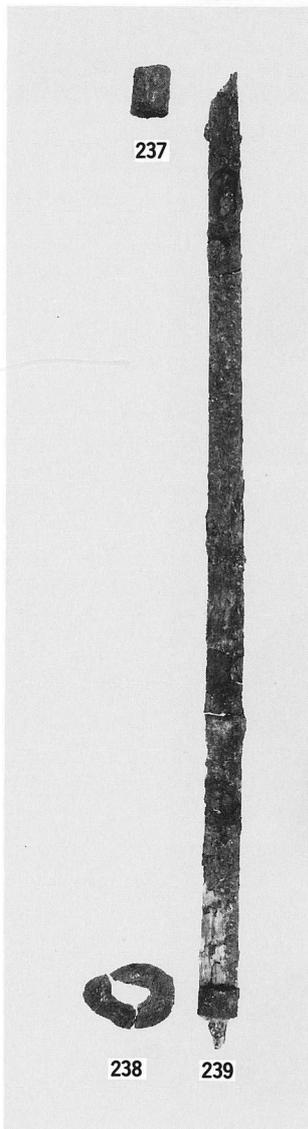
316



406



407



237

238

239



209



210



211



212



213



214



215



216



217



218



219



220



221



222



223



224



225



226



227



228



229



230



231



232



233



234



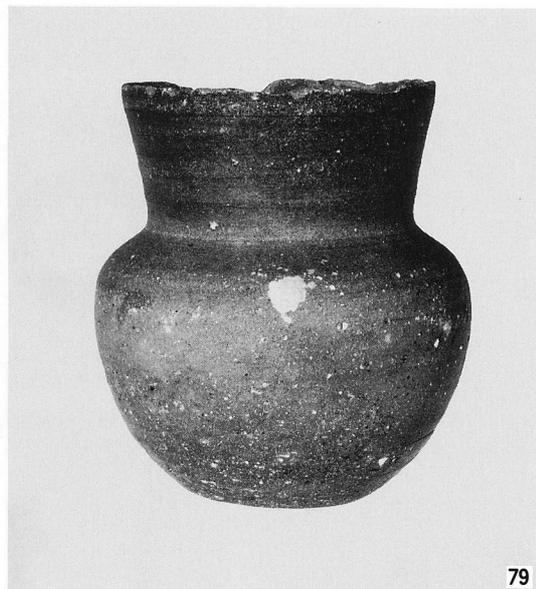
235



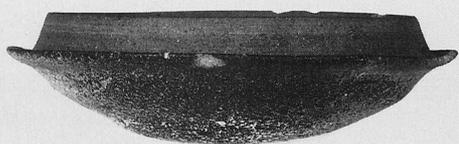
236



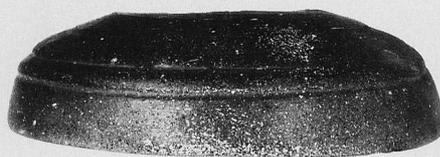
72



79



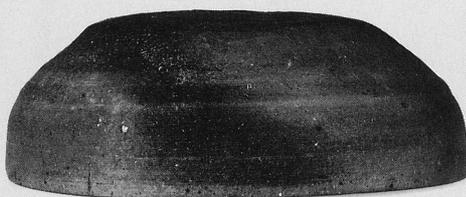
73



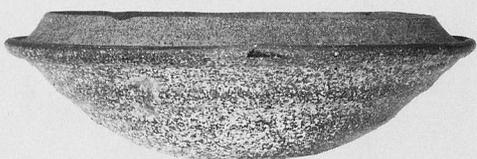
76



74



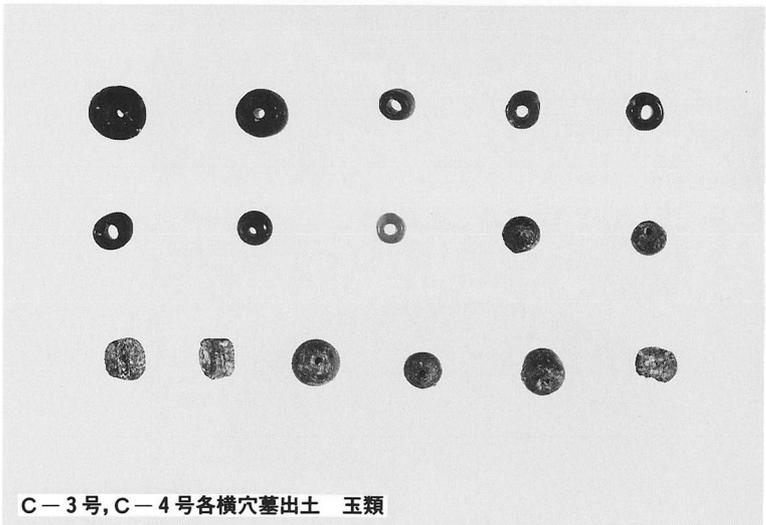
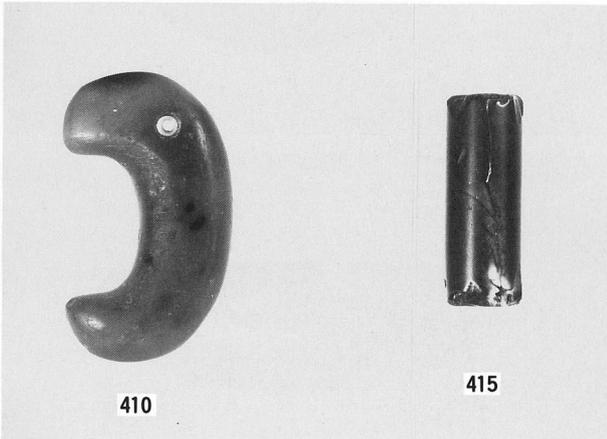
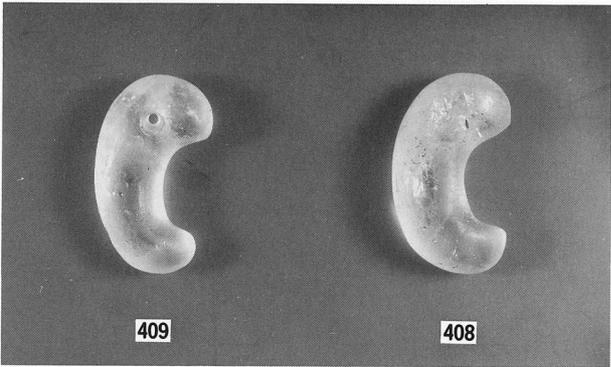
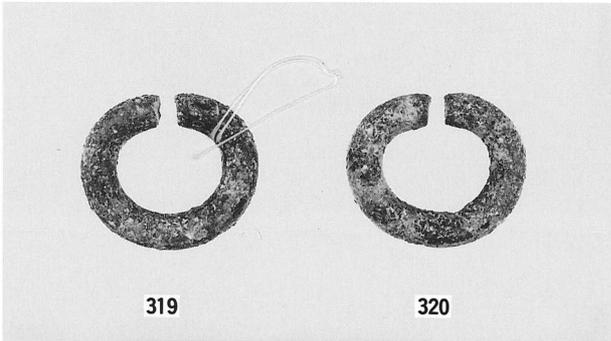
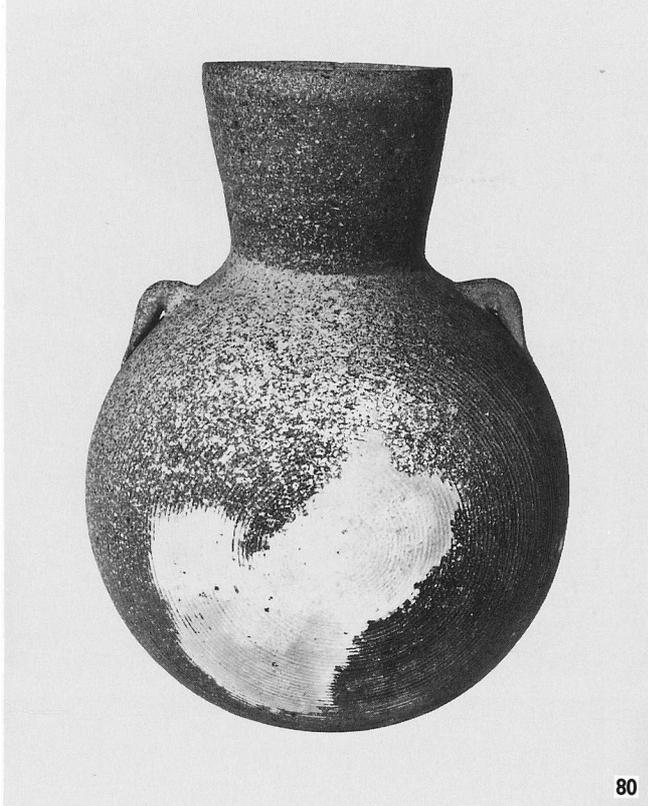
77



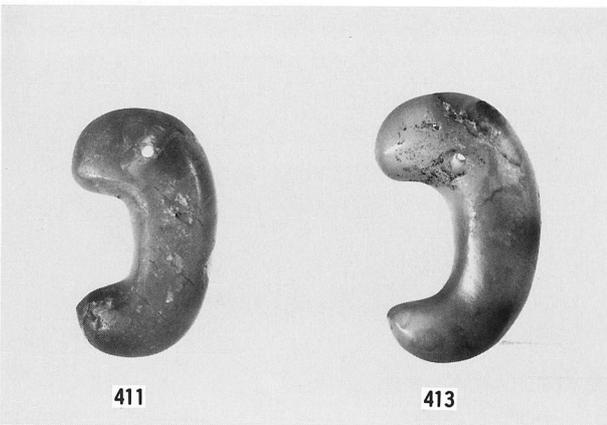
75



78



C-3号, C-4号各横穴墓出土 玉類





81



87



82



88



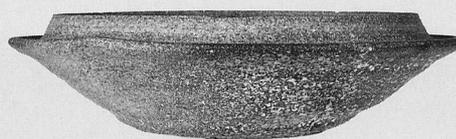
83



89



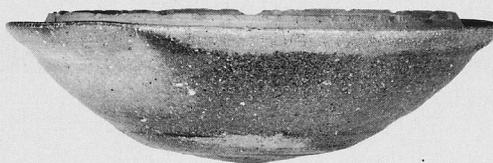
84



90



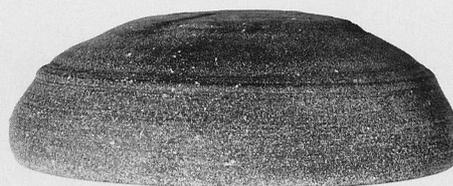
85



91

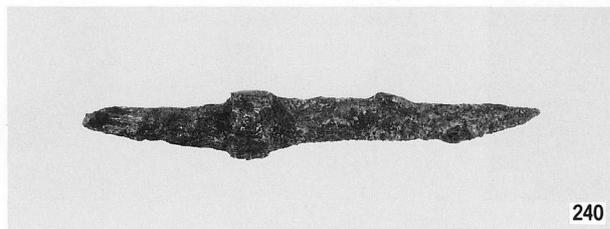


86



94

图版43





100



257



101



251



252~254



255



256



246



247



248



249



250



241



244



245



242



243



417

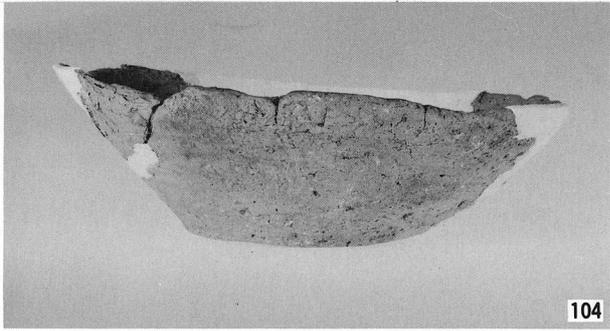


321

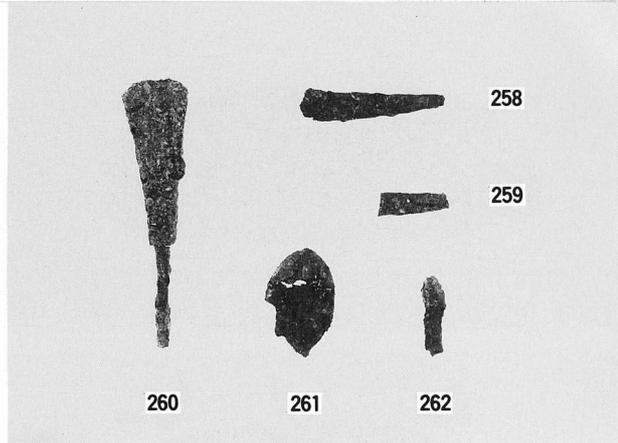


322

图版45



104



258

259

260

261

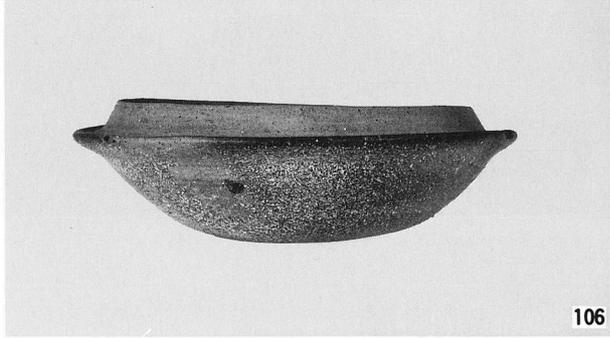
262



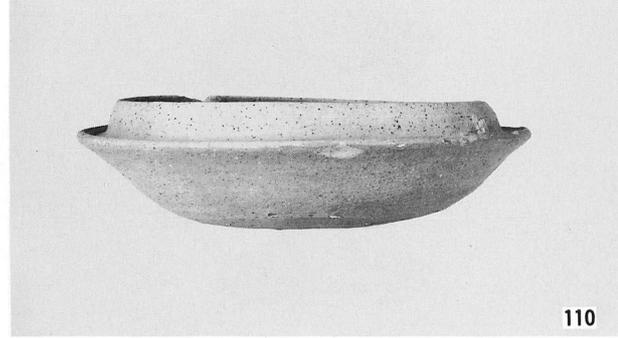
105



109



106



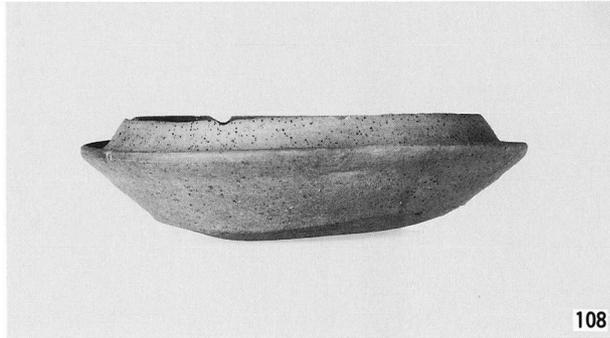
110



107



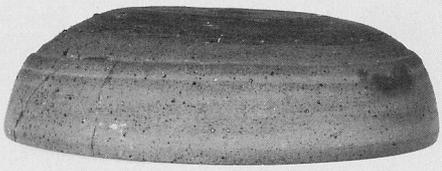
111



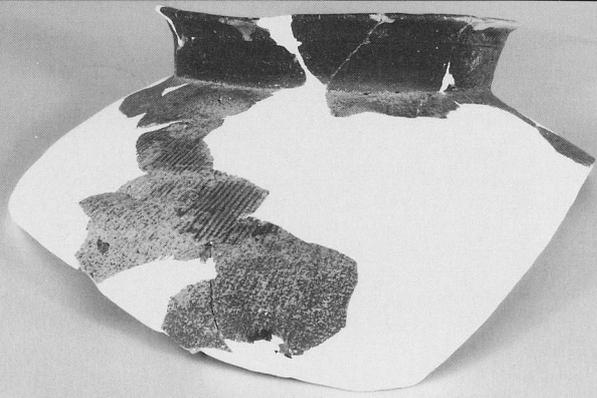
108



112



113



119



114



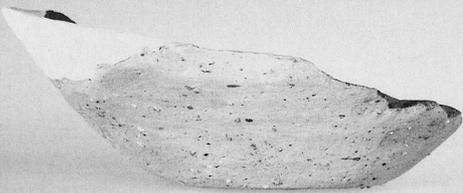
119



115
116



118



117

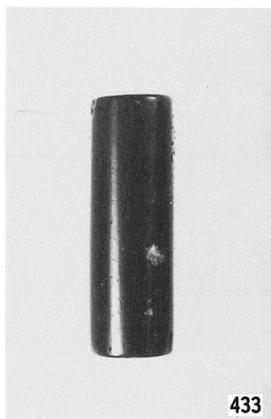


273

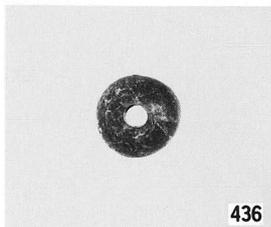


274

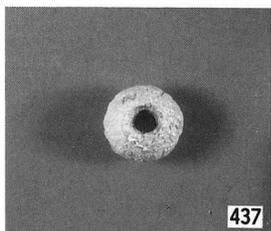
图版47



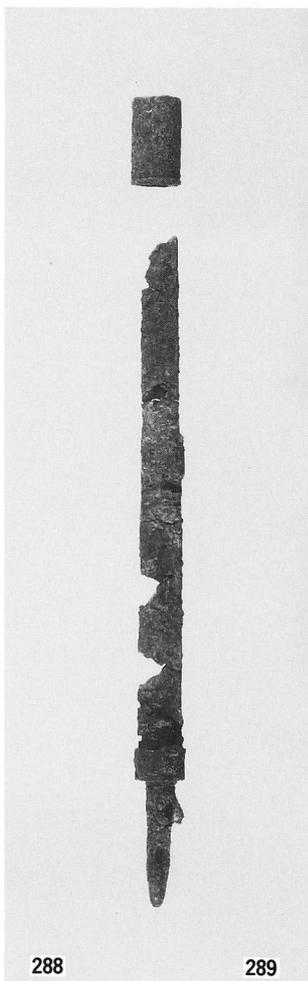
433



436

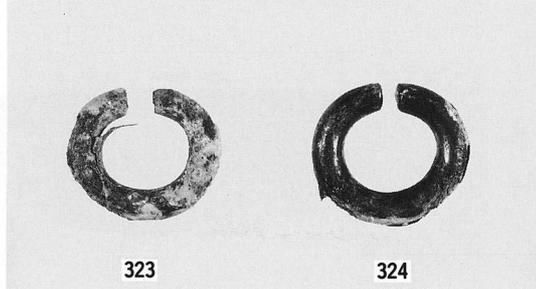


437



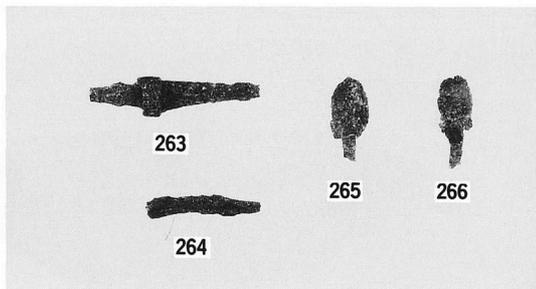
288

289



323

324

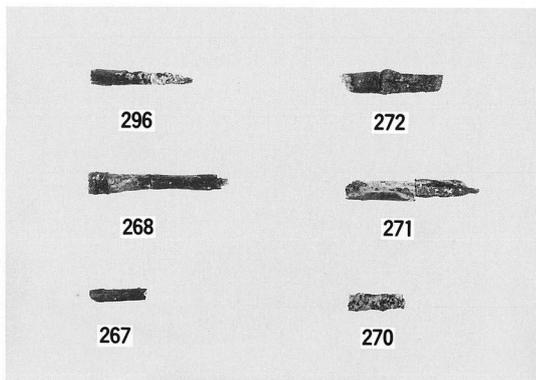


263

265

266

264



296

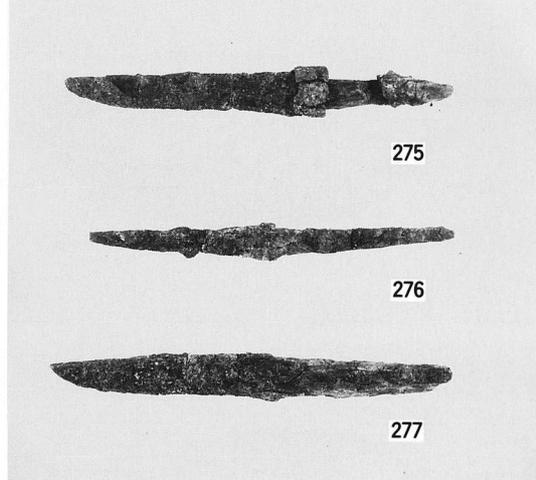
272

268

271

267

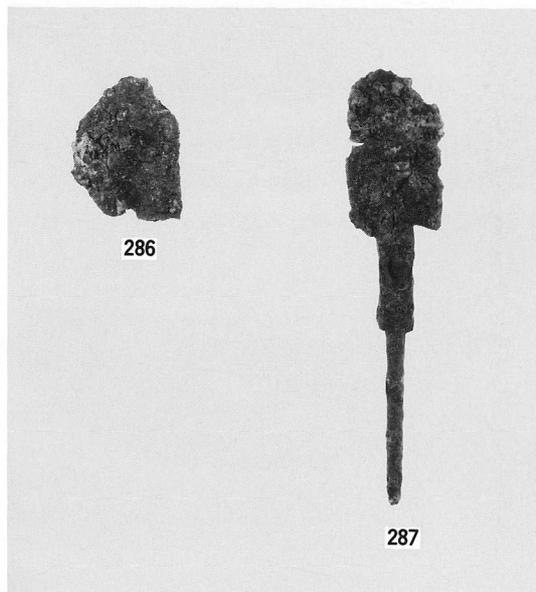
270



275

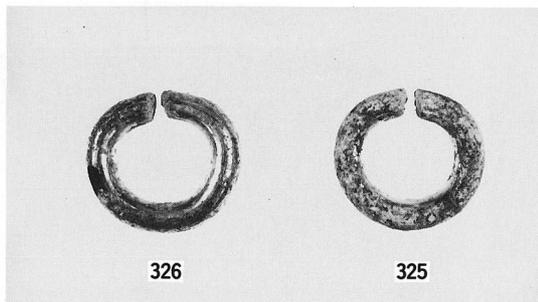
276

277



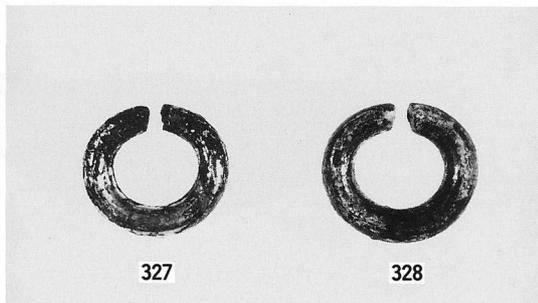
286

287



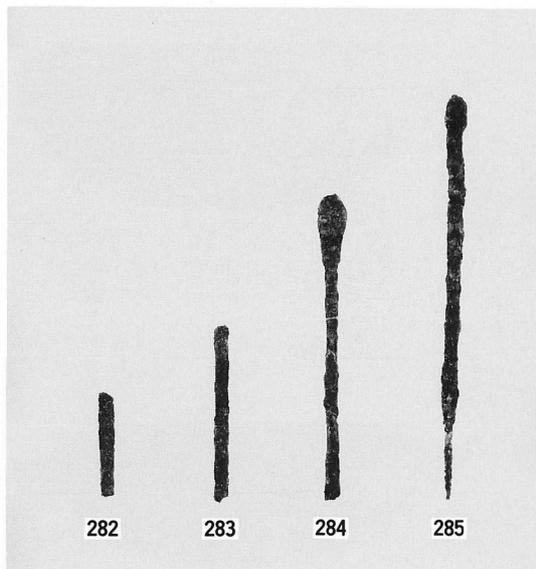
326

325



327

328

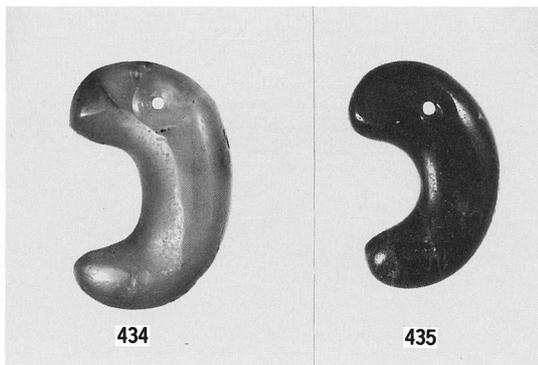


282

283

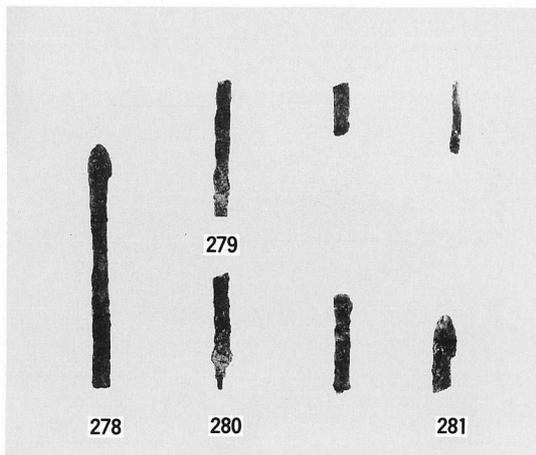
284

285



434

435

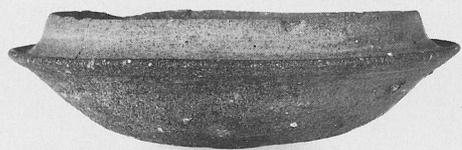


279

278

280

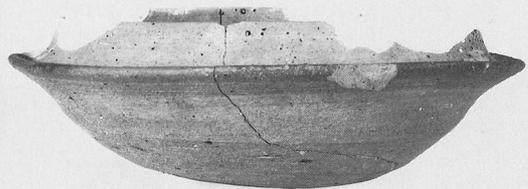
281



121



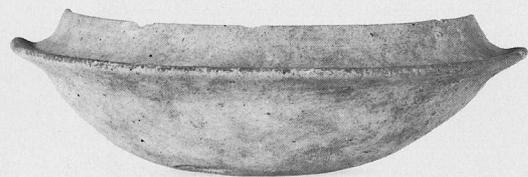
127



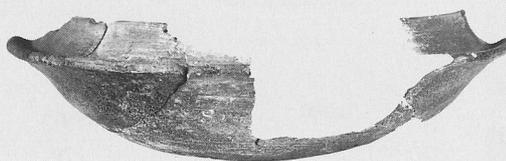
122



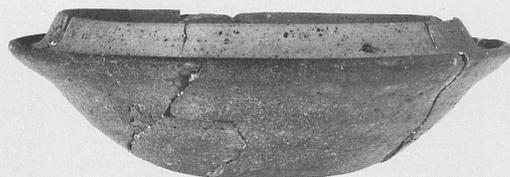
128



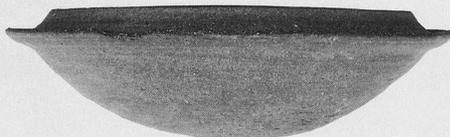
123



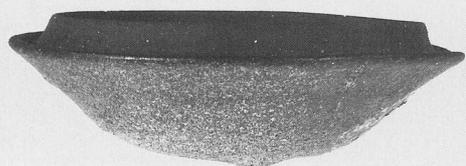
129



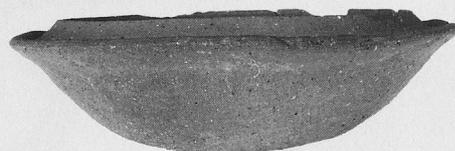
124



133



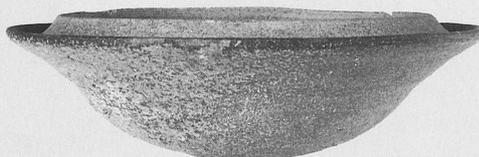
125



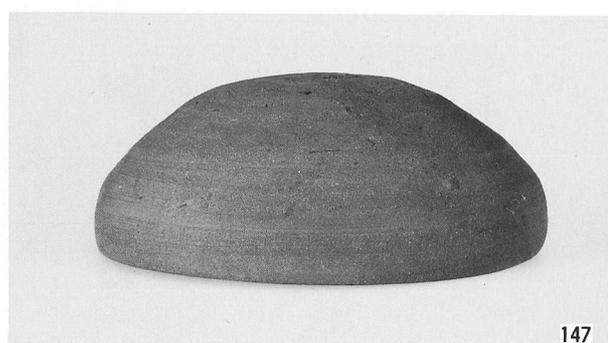
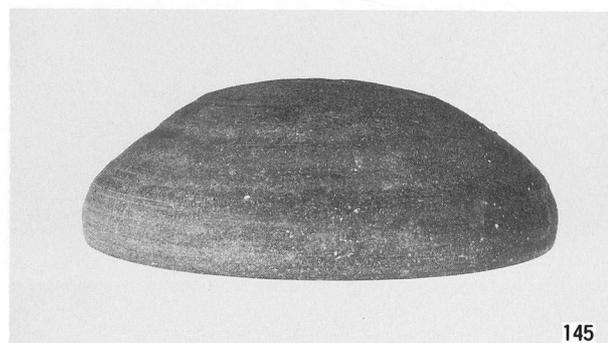
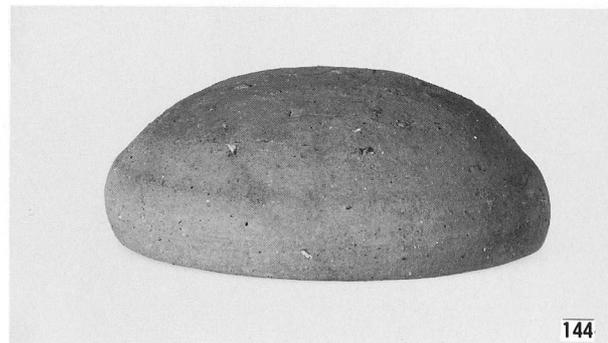
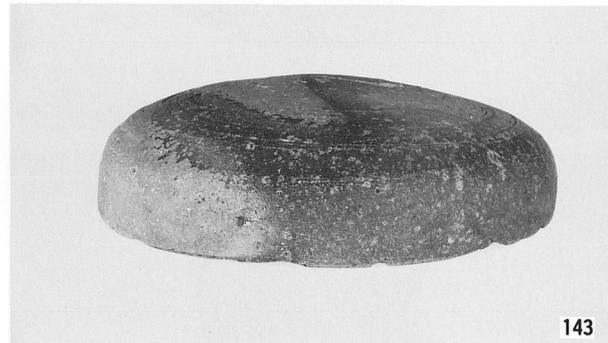
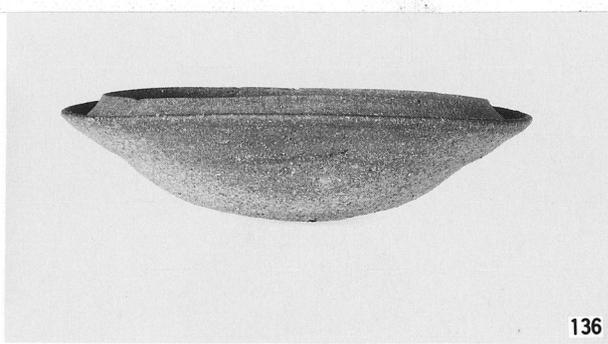
134



126



135





148



149



150



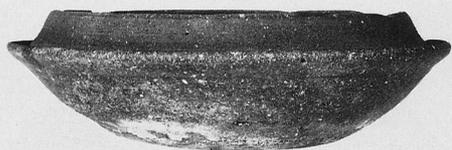
150



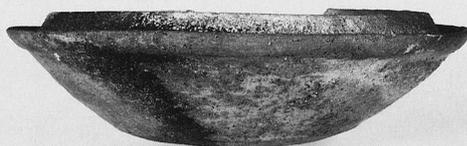
151



153



152



154



155



156



157



158



159



160



161



162



163



290



291



292



329



330



299



294



300



297



293



295



296



298



301



302



303



304



305



306



307



308



164



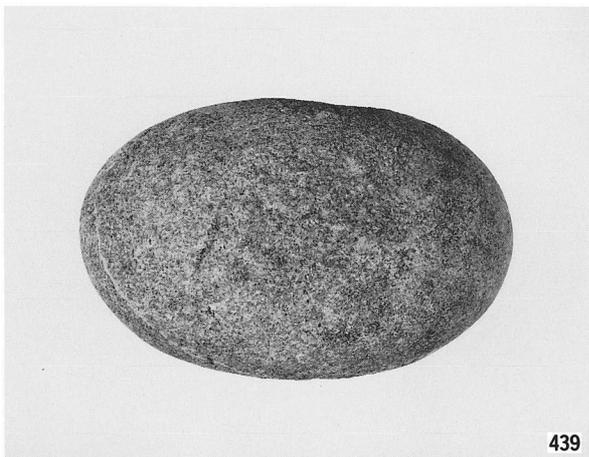
164



438



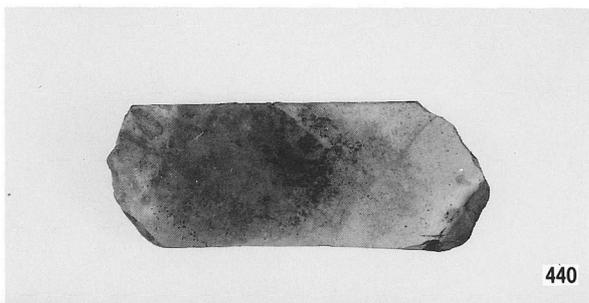
165



439



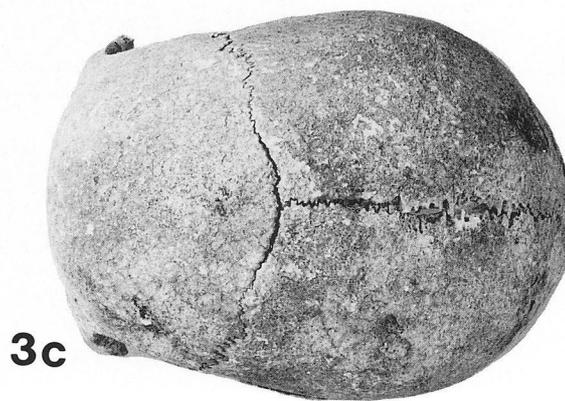
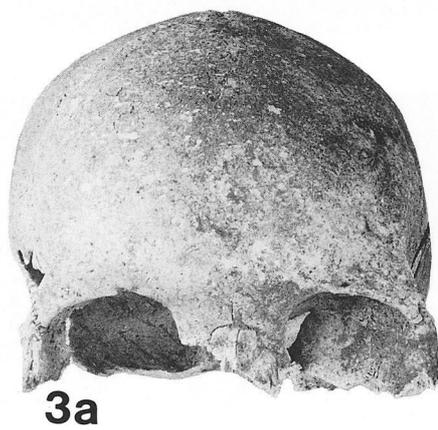
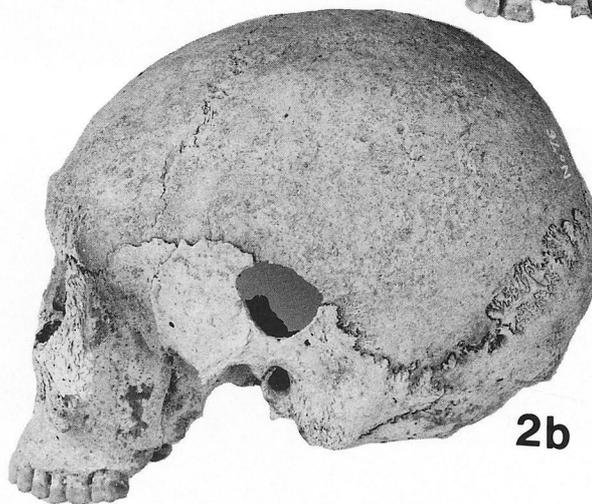
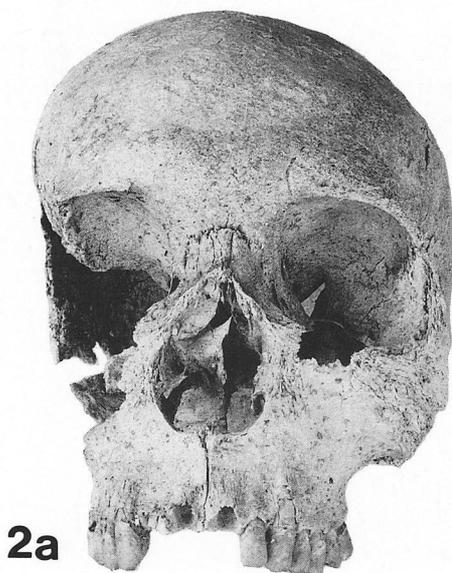
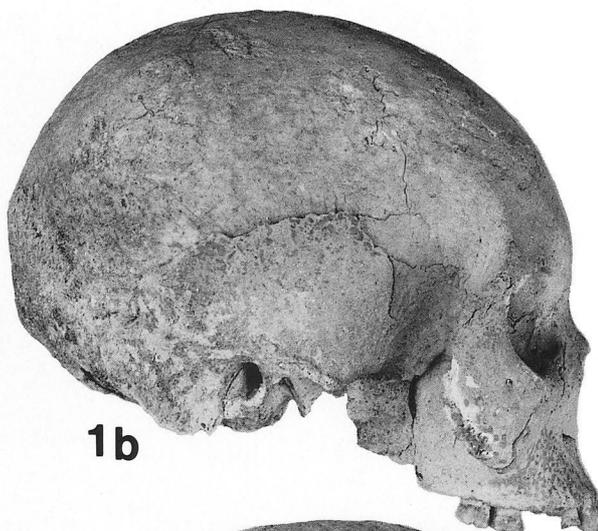
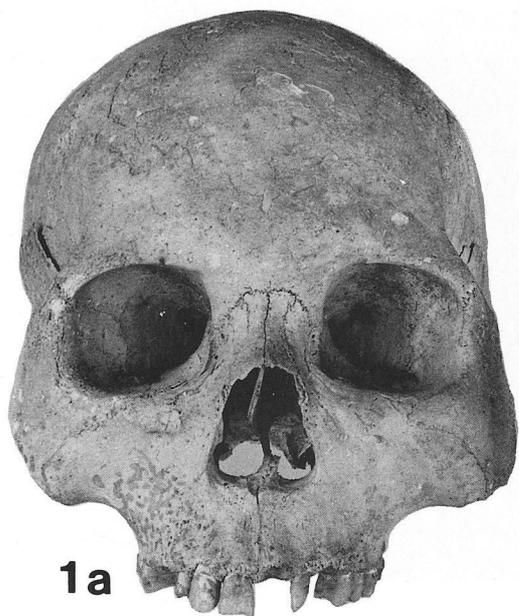
170



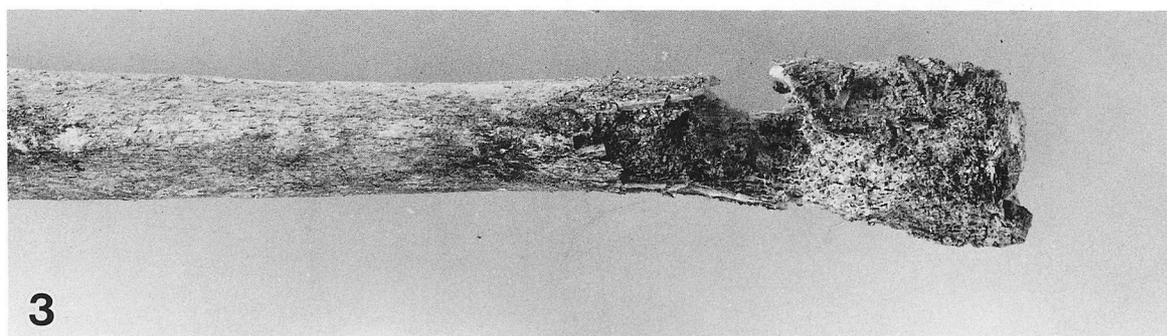
440

付論図版

付論図版 I

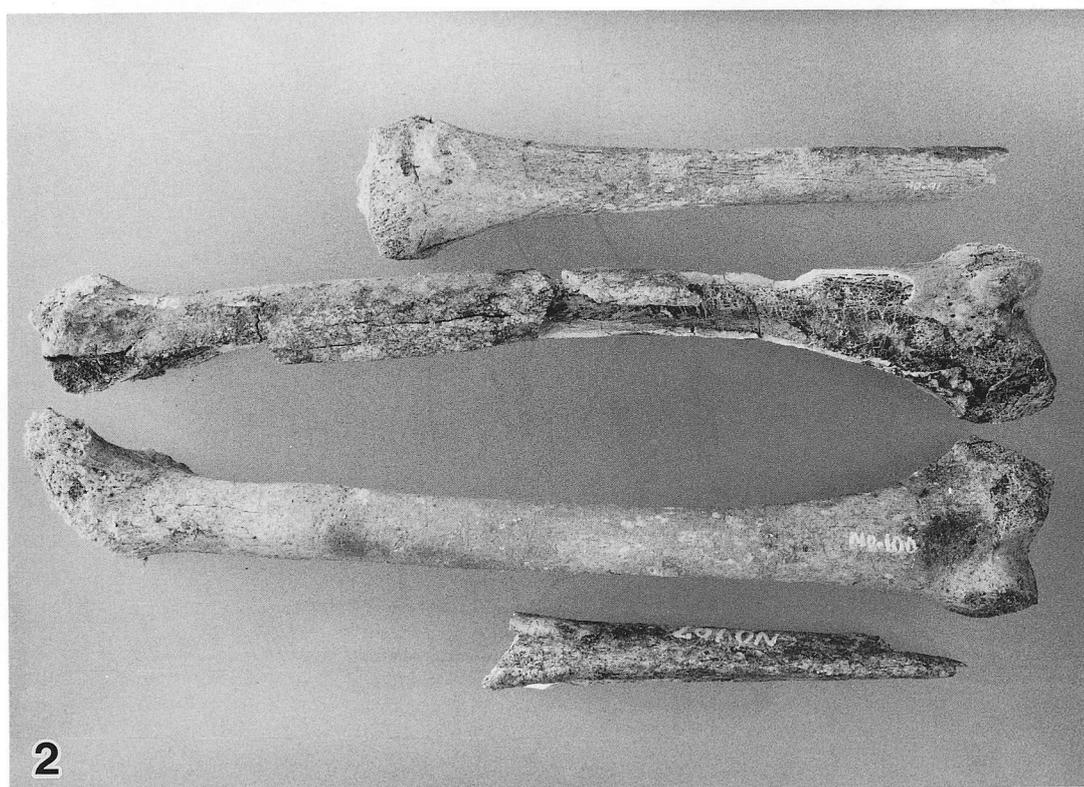


A-2号横穴墓 1a, b : 1号人骨頭蓋, 2a, b : 2号人骨頭蓋, 3a, b, c : 5号人骨頭蓋

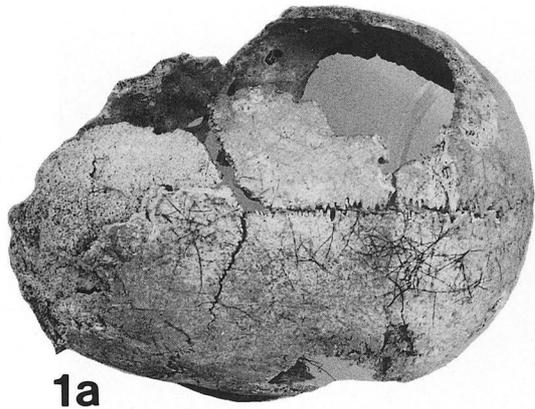


A-2号横穴墓 1:1号人骨上肢骨, 2:1号人骨下肢骨, 3:4号人骨左脛骨(骨髓腔内に砂を認める)

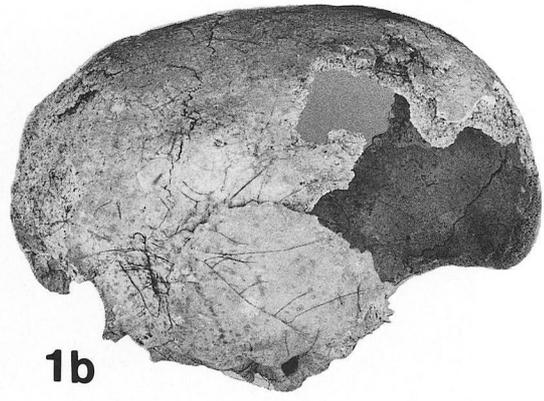
付論図版Ⅲ



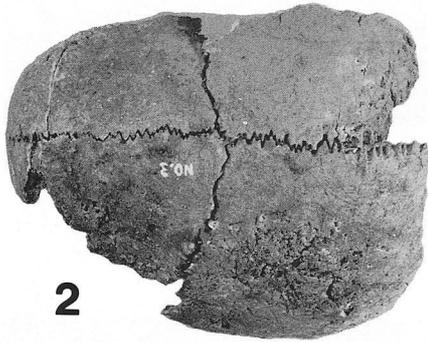
A-2号横穴墓 1:2号人骨上肢骨, 2:5号人骨下肢骨



1a



1b



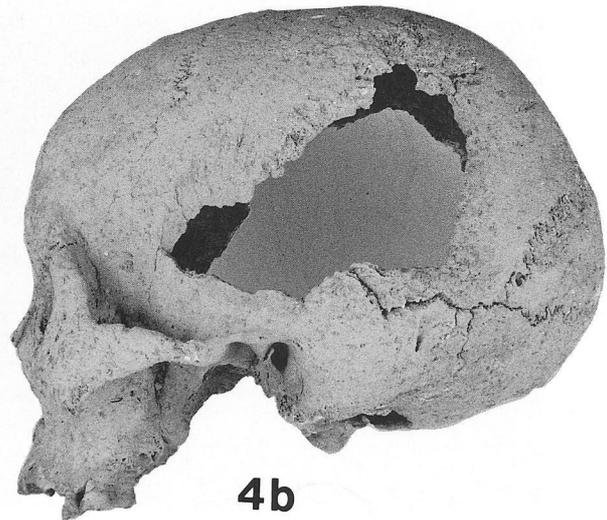
2



3



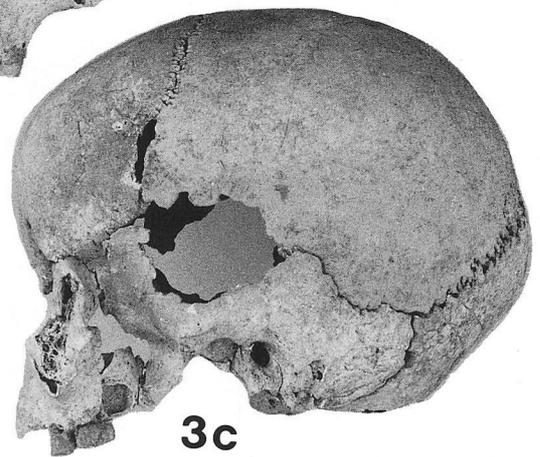
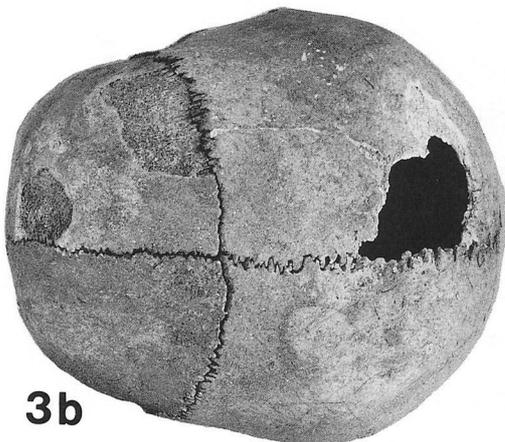
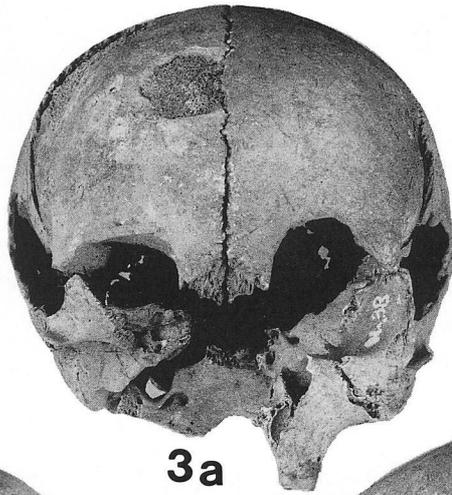
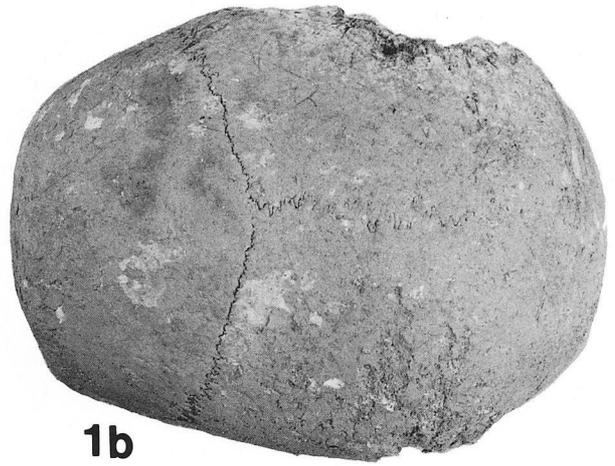
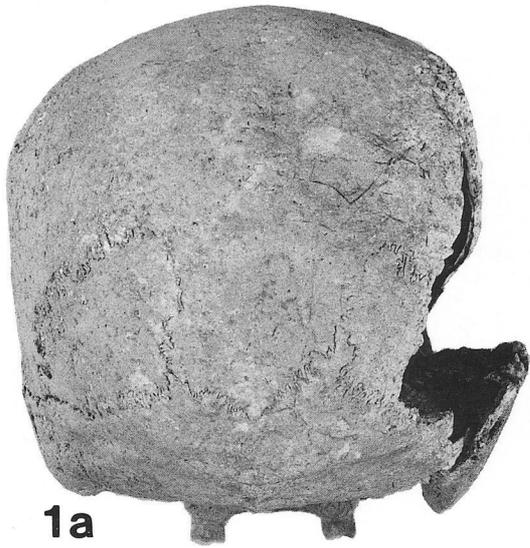
4a



4b

C-8号横穴墓 1a,b:第1頭蓋, 2:第3頭蓋, 3:第4頭蓋, 4a,b:第5頭蓋

付論図版V



C-8号横穴墓 1a,b:第5頭蓋,2a,b:第6頭蓋,3a,b,c:第7頭蓋

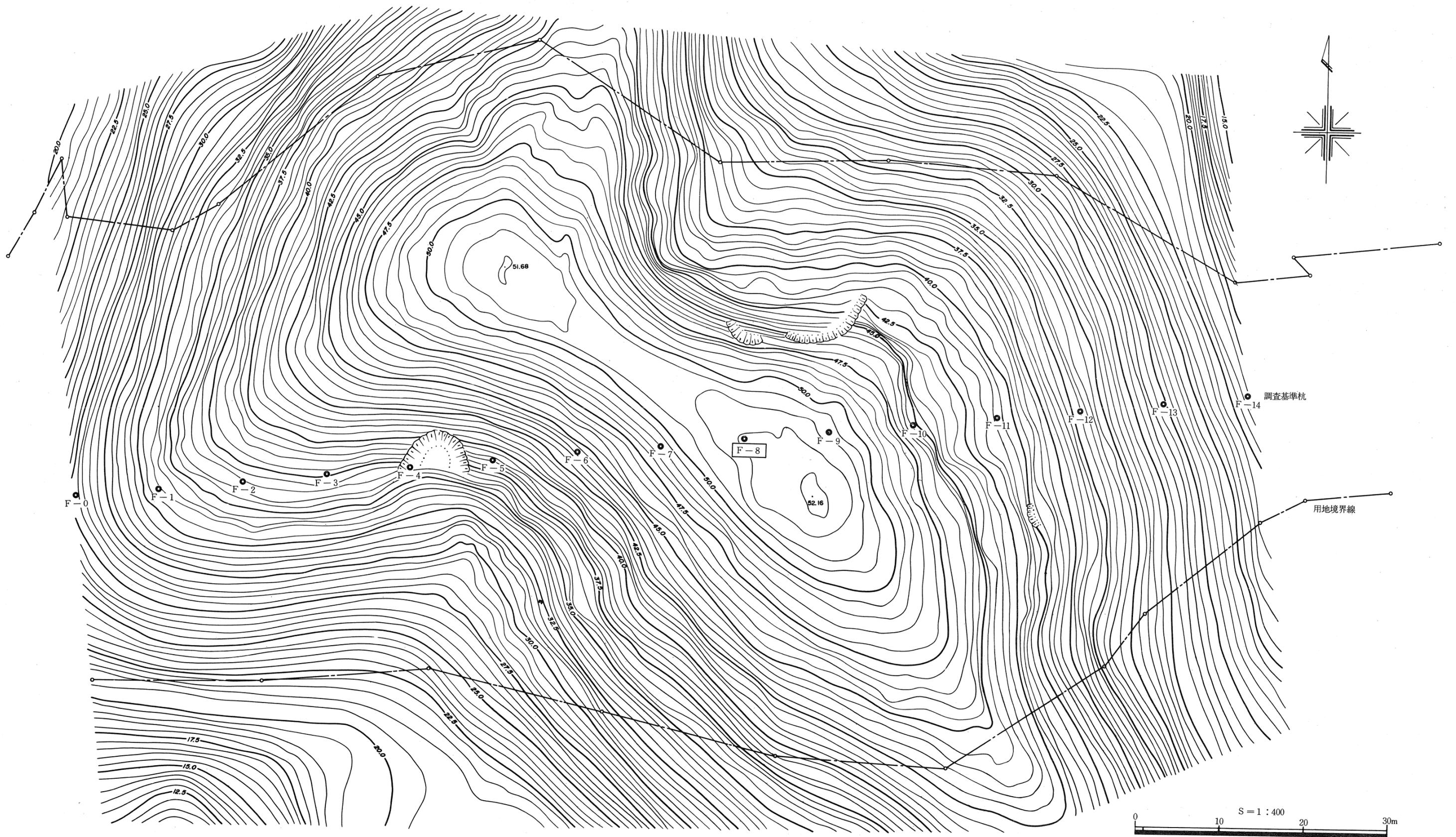
鳥取県教育文化財団報告書23
一般国道9号改築予定地内遺跡調査報告書

大塔山横穴墓群

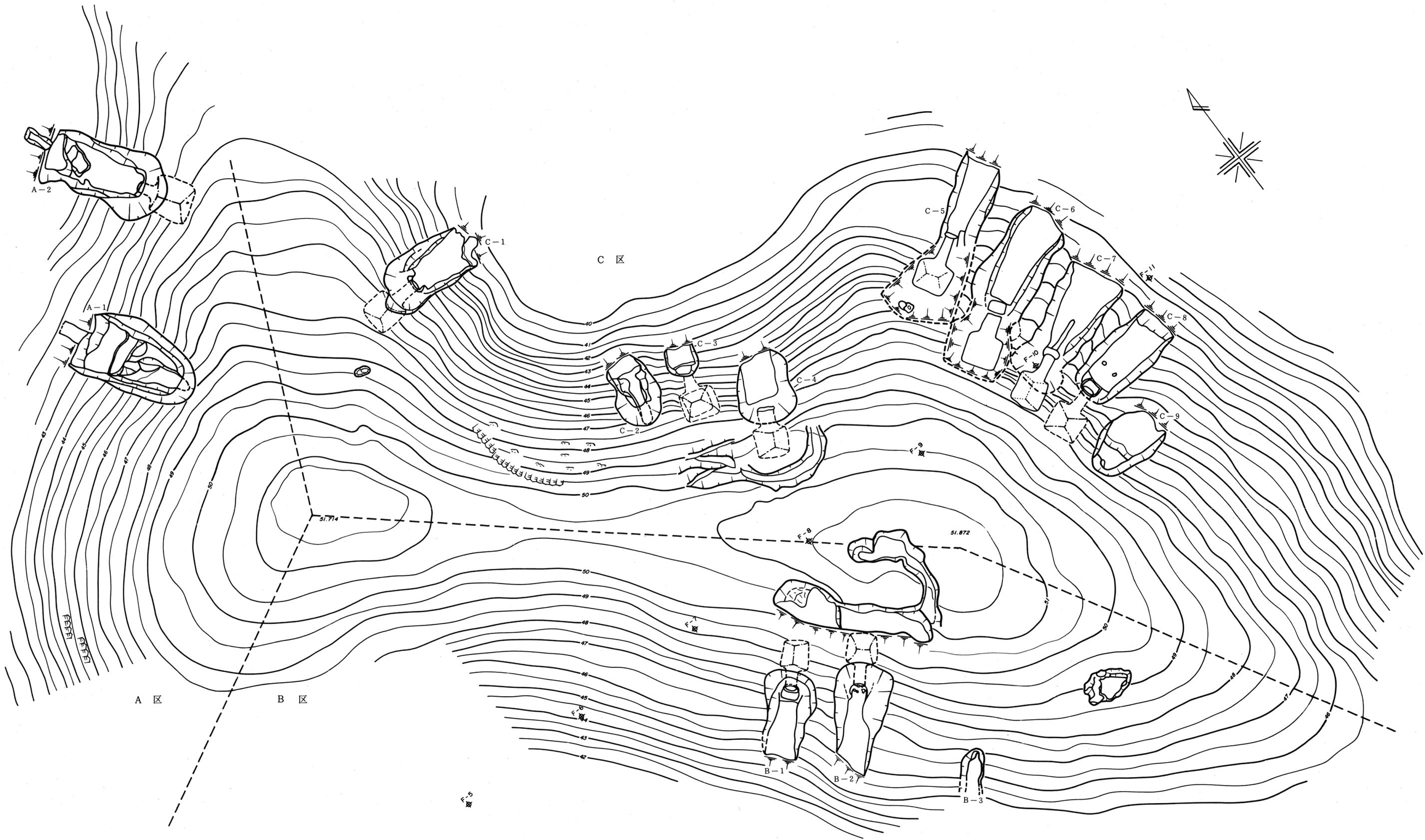
発行 1987・3

発行者 財団法人 鳥取県教育文化財団
〒680 鳥取県社会教育福祉会館内
TEL (0857) 27-5252 (代表)

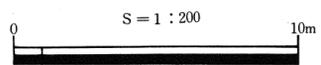
印刷 日ノ丸印刷株式会社
〒680 鳥取市寿町915
TEL (0857) 22-2248 (代表)

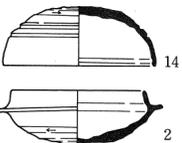
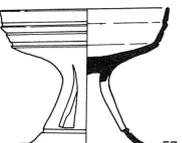
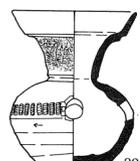
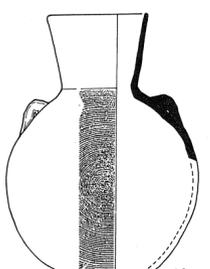
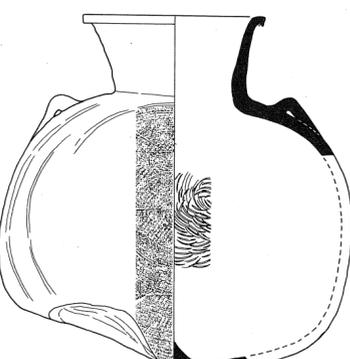
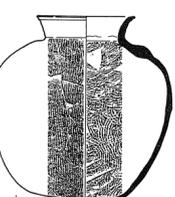
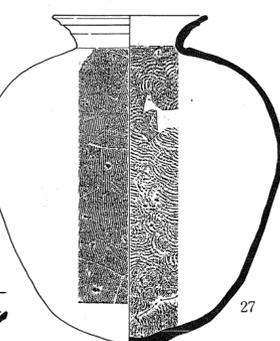
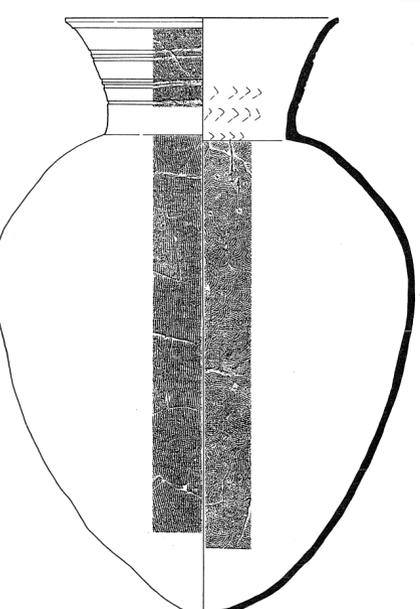
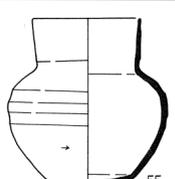
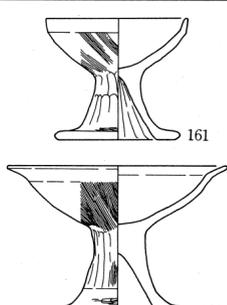
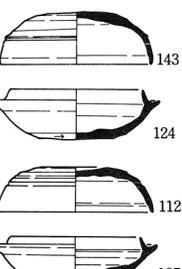
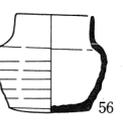
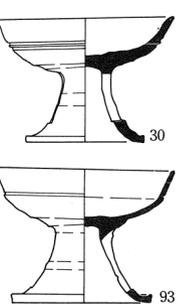
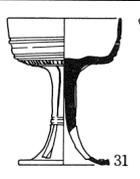
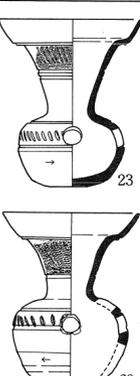
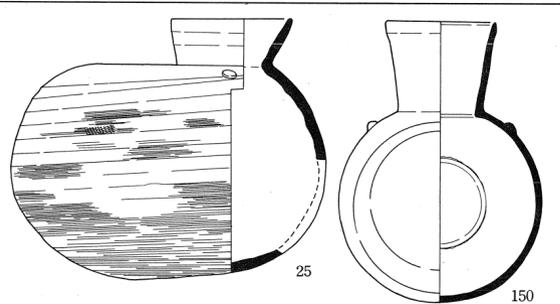
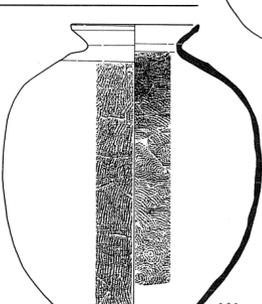
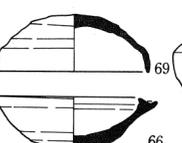
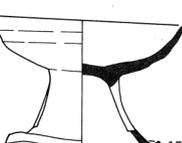
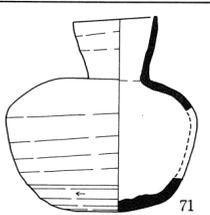
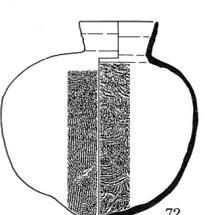
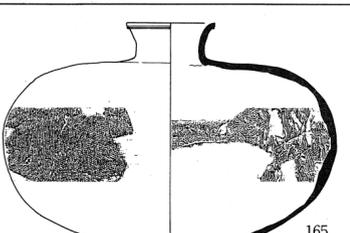


付圖1 大塔山橫穴墓群調查前地形測量圖



付图2 大塔山横穴墓群全体图



	蓋杯	短頸壺	高杯A	有蓋高杯	甗	平瓶	提瓶	甗A	甗B	甗C	壺	土師器・高杯
1 期												
2 期												
3 期												
												

◦27、72、100、101、163、165は、
 0 S=1:8 20cm
 ◦他はすべて、
 0 S=1:4 10cm

付図3 大塚山横穴墓群 土器編年表 (土器右下の番号は遺物番号)